

# アーツカウンシル東京

---

## 令和2(2020)年度事業報告書

# アーツカウンシル東京

---

令和2(2020)年度事業報告書



# 目次

- アーツカウンシル東京の役割と事業展開
- 令和2（2020）年度の活動を振り返って

## I. Tokyo Tokyo FESTIVAL を象徴するプログラム

1	Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13	27
2	東京キャラバン	28
3	TURN	29
4	Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成	32
5	トバコ（都民パフォーマーズコーナー）	35
6	Tokyo Tokyo FESTIVAL プロモーション・ブランディング事業	36

## II. 芸術文化支援事業

7	東京芸術文化創造発信助成、芸術文化による社会支援助成、東京地域芸術文化助成	38
8	東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】活動報告会	45
9	芸術文化活動支援事業「アートにエールを！東京プロジェクト（個人型）」	47
10	芸術文化活動支援事業「アートにエールを！東京プロジェクト（ステージ型）」	48

## III. 芸術文化創造・発信事業

11	伝統芸能公演	49
12	伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2020～	50
13	東京大茶会2020	51
14	神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2020	52
15	プレミアムコンサート ～未来へのハーモニー～	53
16	Music Program TOKYO	55
17	アンサンブルズ東京	67
18	上野「文化の杜」新構想	69
19	六本木アートナイト2020	70
20	MOTサテライト2020 ハイファイブーこころのこえ	72
21	第13回恵比寿映像祭	73
22	芸劇セレクション	76
23	東京芸術祭2020	78
24	東京芸術祭特別公演 ファンタスティック・サイト	82
25	Shibuya StreetDance Week 2020	84
26	キッズ伝統芸能体験	85

27	子供のための伝統文化・芸能体験事業	88
28	パフォーマンスキッズ・トーキョー	90
29	Museum Start あいうえの	93
30	TACT FESTIVAL 2020	95
31	外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム	96
32	外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム	97

## 東京アートポイント計画

33	TERATOTERA	99
34	小金井アートフル・アクション！	101
35	アートアクセスあだち 音まち千住の緑	104
36	HAPPY TURN／神津島	110
37	500年のcommonを考えるプロジェクト「YATO」	113
38	Artist Collective Fuchu [ACF]	116
39	ファンタジア！ファンタジア！ ー生き方がかたちになったまちー	118
40	移動する中心   GAYA	120
41	東京で(国)境をこえる	122

## IV. 東京の文化力による震災からの復興

42	東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 Art Support Tohoku-Tokyo	124
----	--	-----

## V. 人材育成事業

43	タレント・トーキョー 2020	128
44	アーツアカデミー	130
45	Tokyo Art Research Lab (TARL)	132

## VI. 国際ネットワーク事業・企画戦略事業

46	アーツカウンシル・フォーラム	136
47	アート&メディア・ダイアログ	138
48	広報活動	139

# アーツカウンシル東京の役割と事業展開

## 設立趣旨

1. アーツカウンシル東京は、芸術団体や民間団体、NPO 等と協力し、東京における芸術文化創造のさらなる促進や東京の魅力向上を図ります。
2. 国際都市東京にふさわしい個性豊かな芸術文化創造や、創造性に満ちた潤いのある地域社会の構築に貢献していきます。
3. 芸術文化の自主性と創造性を尊重しつつ、専門的かつ長期的な視点にたち、新たな芸術文化創造の仕組み・環境を整えます。

## 世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。

新たな芸術文化創造の基盤整備をはじめ、東京の独自性・多様性を追求したプログラムの展開、多様な芸術文化活動を支える人材の育成や国際的な芸術文化交流の推進等に取り組んでいます。

### I. Tokyo Tokyo FESTIVAL を象徴するプログラム

オリンピック・パラリンピックが開催される東京を、文化の面から盛り上げるため、Tokyo Tokyo FESTIVAL\*として、Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13、東京キャラバン、TURN、Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成といった中核となる文化プログラムを展開し、より多くの都民が文化プログラムに参加できる機会をつくり出していくとともに、芸術文化都市東京の魅力を国内外により一層発信しています。

### II. 芸術文化支援事業〈助成・活動支援〉

東京の芸術文化の魅力を向上させ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化の振興、社会や都市の様々な課題に取り組む芸術活動を助成します。

### III. 芸術文化創造・発信事業〈参加・体験プログラム〉

芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施する事業です。都内各地での文化創造拠点の形成や、子供・青少年等への創造体験の機会の提供により、多くの人々が芸術文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇等の幅広い分野におけるフェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信しています。

#### ■フェスティバルや参加・体験プログラムの開催

伝統文化・芸能、音楽、美術・映像、演劇、舞踊等幅広い分野におけるフェスティバルの開催や子供・青少年、外国人向けの参加・体験プログラムの実施を通して、芸術文化の創造活動を拡充・発信し、継承しています。

#### ■文化創造拠点の形成（東京アートポイント計画）

地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す取組です。日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクトを実施し、その担い手となるNPO育成や活動基盤を整えながら、東京の多様な魅力の創造・発信を目指します。

#### ■東京の文化力による震災からの復興

東京都との共催で芸術文化を活用した東日本大震災被災地支援のための事業です。被災地域のコミュニティに対して、現地のアートに関わるNPO等の団体やコーディネーターと連携しながら、アートプログラムを実施し、地域の多様な文化環境の復興を支援します。

## IV. 人材育成事業

未来を見据え、東京の芸術文化の現場を牽引する多様な人材を育成しています。

## V. 国際ネットワーク・企画戦略事業

海外の芸術文化団体や文化施設・機関等とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力向上のきっかけづくりを行います。東京の芸術文化環境を向上させる様々なテーマに基づいた調査研究を新たなプロジェクトを立ち上げて実施するとともに、多彩な東京の芸術文化の魅力およびアーツカウンシル東京の取組を国内外に発信しています。

### <組織概要>

- ・職員数：56人
- ・総予算：60億8千万円

### \* 「Tokyo Tokyo FESTIVAL」とは

オリンピック・パラリンピックが開催される東京を文化の面から盛り上げるため、多彩な文化プログラムを展開し、芸術文化都市東京の魅力を伝える取組です。

文化でつながる。未来とつながる。

THE FUTURE IS ART

**Tokyo Tokyo**  
FESTIVAL

### 文化でつながる。 未来とつながる。

東京はアートの力を信じている。

それは私たちのこれからを描く力だ。

それは違いを受け止め、通じ合おうとする力だ。

2020年。

東京はその力を世界に示したいと思う。

伝統と現代が、

そして世界中の文化が交差する

東京だからできること。

Tokyo Tokyo FESTIVAL

それは、アートでつながる

未来とつながる文化の祭典。

### THE FUTURE IS ART

Tokyo believes in the power of art:

the power to shape our future,

the power to accept and celebrate our differences.

Come 2020,

the world will discover the wonders of art,

in a city where tradition meets innovation,

where cultures interact.

Tokyo Tokyo FESTIVAL

Explore a future of possibilities with art.

# 令和2（2020）年度の事業を振り返って

アーツカウンシル東京は、芸術文化の力で東京の魅力を高めることに寄与するため、毎年、事業の充実、見直しを行ってきました。特に2020年度は、東京2020大会を契機として、東京が歴史の積み重ねとともに培ってきた文化と今を生きる芸術活動の営みを、世界に向けて示すことを意図して、多くの事業を準備していました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症が世界的な拡がりとなり、芸術文化活動は停滞し、多くの事業が延期や中止、変更を余儀なくされました。

## ■事業の延期・中止

2020年に向けて進めてきたTokyo Tokyo FESTIVALは、東京2020オリンピック・パラリンピックの延期により、期間を1年延長しました。これに伴い、中核を彩る事業として2,436件の公募の中から選定した「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」は、前年度に実施の1プログラムを除く12プログラムを繰り延べしました。また、リーディング事業である「東京キャラバン」は、次年度での開催に向けて映像収録等の準備に取り組みました。

その他、「東京大茶会」、「外国人向け伝統文化芸能体験」、「伝承のたまてばこ」などは、中止という判断に至りました。

## ■変更した事業

内容を変更したり、オンラインの活用により開催方法を見直すことによって実施した事業が、多くありました。

「アンサンブルズ東京」は、ワークショップやイベントは中止し、集大成となる映像作品をオンラインで公開しました。

「大江戸寄席と花街のおどり」は、実施時期を年度末に変更して開催し、10年間の幕を閉じました。

「東京芸術祭」は、一部の来日公演は中止としながら、オンライン用の作品制作、実演とオンライン配信を混雑させた制作などを行い、実演と合わせて40を超えるプログラムを実施しました。

「六本木アートナイト」、「Shibuya StreetDance Week」、「タレント・トーキョー」、「東京アートポイント計画」のワークショップ等は、オンラインに変更し、芸術文化活動の新たな楽しみ方、可能性を拓きました。外国人が来日できない状況で日本の伝統芸能を発信する「オンライン能」は、国内外で多数の視聴がありました。

## ■支援の重要性

「キッズ伝統芸能体験」や「パフォーマンスキッズ・トーキョー」は、感染症対策を講じた上で、ワークショップおよび公演を実施し、継続していくことの重要性を再認識しました。

芸術文化活動が思い通りに行えず、窮状が顕在化する中で、助成などの必要性が高まりました。「東京芸術文化創造発信助成」では申請件数や初めての申請が大幅に増加しました。また、文化の灯を絶やさないための対策として実施した「アートにエールを！東京プロジェクト」にも、多くの応募がありました。

新型コロナウイルス感染拡大という歴史的な事態によって、芸術文化の必要性や、芸術文化の創造と継承、機会の拡大など環境整備を担うアーツカウンシル東京の意義が、さらに認識させられた1年でした。芸術文化活動を継続し、さらに工夫を加えることで、社会を変えていくことが求められました。

今後も、アーツカウンシル東京が国際都市東京を支える一翼を担う役割を、果たしていきます。

公益財団法人東京都歴史文化財団  
アーツカウンシル東京  
機構長

三好勝則

## 東京キャラバン

▶ 詳細 p.28



「東京キャラバン in 埼玉」パフォーマンス映像収録（2020年）映像撮影：青木兼治

## TURN

▶ 詳細 p.29



TURN交流プログラム（パボとユミ×上町工房）  
撮影：富田了平



TURN LAND（クラフト工房ラモノ）  
撮影：おおかわらあさ子



第13回TURNミーティング 撮影：鈴木竜一郎



TURN on the EARTH～わたしはちきゅうのこだま～  
撮影：加藤甫



フラッグプロジェクト支援  
「隅田川 森羅万象 墨に夢」  
撮影：川瀬一絵



海外発文化プロジェクト支援  
新作インスタレーション「現象の色」



海外発文化プロジェクト支援  
日本・台湾・香港 3か国コラボレーション宇宙初演  
超空想科学奇譚食用人間  
～トリコジカケの中華料理～



市民創造文化活動支援  
浮世絵 THE WORLD  
—市民が作る浮世絵世界—

トパコ（都民パフォーマーズコーナー）



第8回トパコの様子

## 東京芸術文化創造発信助成（単年助成プログラム）

▶ 詳細 p.38



Co. Ruri Mito  
「Where we were born」 撮影：bozzo



ドキュ・メント実行委員会  
ドキュ・メント（2020） 撮影：鈴木快彰

## 東京芸術文化創造発信助成（長期助成プログラム）

▶ 詳細 p.38



有限会社 quinada  
松井周の標本室 回遊型展示「セルフサービス」  
©Ryo lwase

## 芸術文化による社会支援助成

▶ 詳細 p.38



NPO 法人シニア演劇ネットワーク  
演劇関係者のためのバリアフリー講座  
「視覚障がい者への観劇サポート」

## 東京地域芸術文化助成

▶ 詳細 p.38



阿佐谷ジャズストリート実行委員会  
阿佐谷ジャズストリート2020

## 東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】活動報告会

▶ 詳細 p.45



第9回「福島三部  
作と資金調達」



第10回「映画表現としてのライブ・パフォーマンス～プロジェクト『音から作る映画』と連続講座『映画以内、映画以後、映画境界』を振り返る～」

## 伝統芸能公演

「大江戸寄席と花街のおどり その十」

[▶ 詳細 p.49](#)



和太鼓



太神楽



落語



花街のおどり

## 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2020

[▶ 詳細 p.52](#)



毘沙門天と赤城神社 編



花街・神楽坂と“流しの芸能” 編



神楽坂を歩く 編



神楽坂で奏でる 編

## プレミアムコンサート～未来へのハーモニー～

▶ 詳細 p.53



福生公演（東京オリンピックファンファーレ（1964））



瑞穂町公演（演奏風景）



立川公演（演奏風景）



西東京公演（演奏風景）

## Music Program TOKYO

▶ 詳細 p.55



プラチナシリーズ第5回 ©飯田耕治



まちなかコンサート



東京文化会館ミュージック・ワークショップ  
©Mino Inoue



東京文化会館リラックス・パフォーマンス ©堀田力丸

## アンサンブルズ東京

▶ 詳細 p.67



オンラインワークショップ  
(芳垣安洋と Orquesta Nudge! Nudge!)



オンラインワークショップ (角銅真実)



ハンドサイン動画 (大友良英)



ワークショップアンサンブル動画

## 上野「文化の杜」新構想

▶ 詳細 p.69



文化の杜の音めぐり



UENOYES 2020 "HOME & AWAY"

## 六本木アートナイト2020

▶ 詳細 p.70



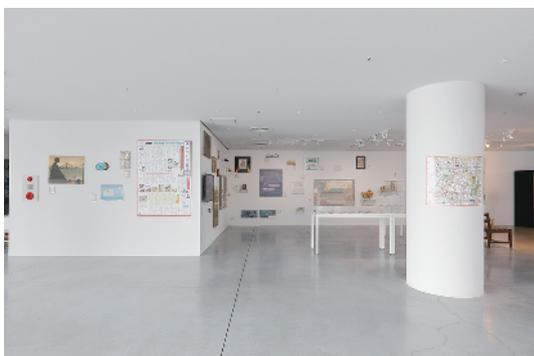
六本木アートナイト スピンオフ・プロジェクト  
 「六本木アートナイトの未来像を考える【国内編】 都市型国際芸術祭のコロナ禍下でのチャレンジとは？」の様子



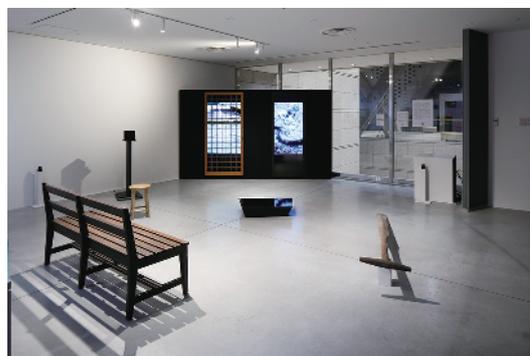
六本木アートナイト・デジタル メインビジュアル

## MOTサテライト2020 ハイファイズーころのこえ

▶ 詳細 p.72



〈ワタリドリ計画〉麻生知子・武内明子の絵画・陶・木彫・手彩色絵葉書作品の展示風景



高橋琢哉+松山真也《雷が鯨の夢を見た話》2020年



〈ワタリドリ計画〉麻生知子・武内明子  
 〈手彩色深川旅カルタ〉2020年



地下1F 情報コーナーの展示風景

## 第13回恵比寿映像祭「映像の気持ち」

▶ 詳細p.73



赤松正行+ARARTプロジェクト(北村穰)《モーメント・オブ・ブルーム》2012-2021年



カワイオカムラ《ムード・ホール - インスタレーション2021 -》2021年



渡辺豪《Aevum》2009-2012年／タグチ・アート・コレクション蔵  
© Go Watanabe, Courtesy of ANOMALY



YEBIZO MEETS トーク&ワークショップの様子  
「アナログ手法とデジタル技術を組み合わせたネオクラフトアニメーションから、新世代のアニメーションを考える。」

## 芸劇セレクション

▶ 詳細p.76



『赤鬼』 作・演出 野田秀樹  
東京芸術劇場シアターイースト  
撮影：篠山紀信



『村のドン・キホーテ』  
東京芸術劇場プレイハウス  
撮影：平間至



芸劇dance workshop 2020  
北尾巨(Baobab)ダンスワークショップ発表公演  
『東京ディグ/ライズ 2』  
撮影：GO(go-photograph.com)

## 東京芸術祭2020

▶ 詳細 p.78



『とびだせ！ガリ版印刷発信基地』 撮影：黒田菜月



『日の名残り』 撮影：石川純



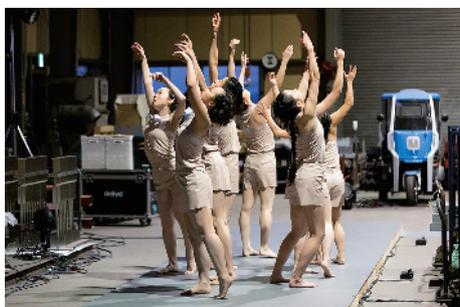
『真夏の夜の夢』 撮影：田中亜紀



野外劇  
『NIPPON・CHA! CHA! CHA!』 撮影：住田磨音

## 東京芸術祭特別公演 ファンタスティック・サイト

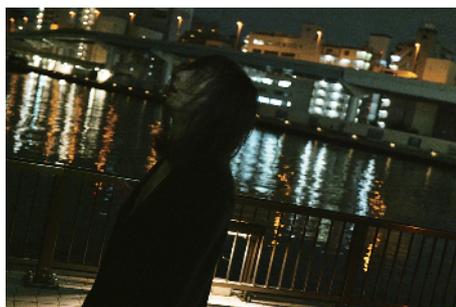
▶ 詳細 p.82



フィルム&パフォーマンス「Undercurrents」  
大橋可也&ダンサーズ  
『Tune To A Dead Channel : Departure / Arrival』  
映像：宮澤響（Alloposidae LLC）



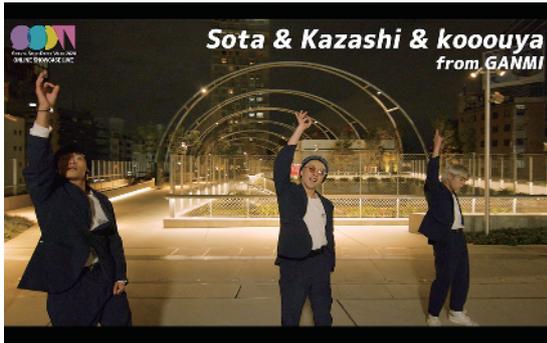
フィルム&パフォーマンス「Undercurrents」  
黒田育世『病める舞姫』  
映像：宮澤響（Alloposidae LLC）



フィルム&パフォーマンス「Undercurrents」  
岩淵貞太『A Water Vein』  
映像：宮澤響（Alloposidae LLC）

# Shibuya StreetDance Week 2020

[▶ 詳細p.84](#)



ONLINE SHOWCASE LIVE



ONLINE DANCE WITH music



ONLINE HIPHOP LEARNING



ONLINE DANCE LESSON

© Shibuya StreetDance Week 2020

## キッズ伝統芸能体験

[▶ 詳細p.85](#)



お稽古の様子 長唄（三味線）撮影：武藤奈緒美



お稽古の様子 日本舞踊 撮影：武藤奈緒美



発表会の様子 能楽（謡・仕舞）撮影：菅原康太



発表会の様子 三曲（箏曲）撮影：武藤奈緒美

## 子供のための伝統文化・芸能体験事業

▶ 詳細 p.88



令和2年度 子供のための伝統文化・芸能体験事業の様子

## パフォーマンスキッズ・トーキョー

▶ 詳細 p.90



PKT 狛江エコルマホール  
撮影：羽鳥直志



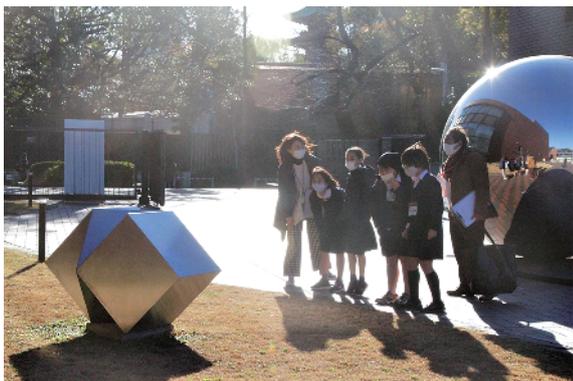
PKT 羽村市生涯学習センターゆとろぎ  
撮影：わたなべもも



PKT 東大和市民会館ハミングホール  
撮影：金子愛帆

## Museum Start あいうえの

▶ 詳細p.93



学校プログラム うえのウェルカム



ダイバーシティ・プログラム やさしい日本語プログラム



ファミリー・プログラム 上野へGO!ステップ1 オンライン



ファミリー・プログラム 上野へGO!ステップ2 リアル

## TACT FESTIVAL 2020

▶ 詳細p.95



TACT FESTIVAL2020 EX タクト・フェスティバル スピンオフ公演  
伊藤キム×森下真樹『マキム！ーカラダとコエとオンガクと』  
photo by bozzo

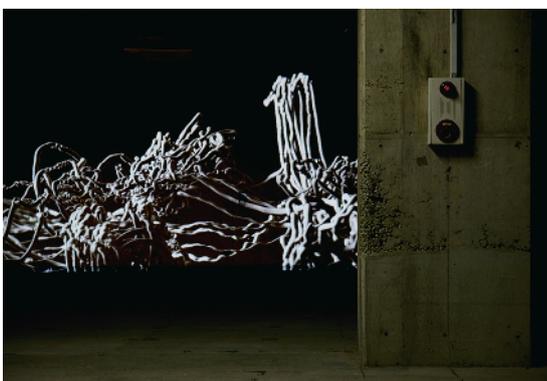


静御前（「オンライン能『船弁慶』—伝説の英雄、日本文化の波動を東京から世界へ—」より） 撮影：大槻聖志



平知盛（「オンライン能『船弁慶』—伝説の英雄、日本文化の波動を東京から世界へ—」より） 撮影：大槻聖志

## TERATOTERA



TERATOTERA 祭り2020 Collective ~共生の次代~

# 小金井アートフル・アクション!

[▶ 詳細p.101](#)



えいちゃんくらぶ活動日



pen友プロジェクト おばあさんのくらし 記憶の水脈をたどる展



学校連携事業 東村山市立南台小学校「相棒と旅に出てみよう」

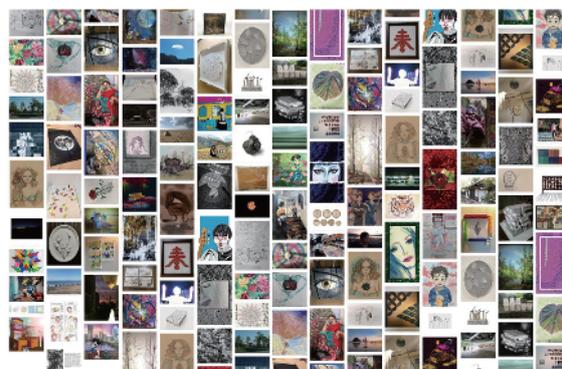


# アートアクセスあだち 音まち千住の縁

[▶ 詳細p.104](#)



Memorial Rebirth 千住 大巻電機K.K.活動日



イミグレーション・ミュージアム・東京 オンライン美術館 (作品公募展)



千住だじゃれ音楽祭  
千住の1010人 from 2020年「世界だじゃれ音Line音楽祭」



仲町の家



拠点「くると」



島の庭びらき



500年のcommonを考えるプロジェクト「YATO」



YATOの縁日 撮影：品田裕美



デリバリー影絵ワークショップ オンライン相談会



しずむおと 土器の楽器演奏会

## Artist Collective Fuchu [ACF]

▶ 詳細p.116



Artist Collective Fuchu presents 「おとのふね」収録風景



まなばあーと活動日

## ファンタジア！ファンタジア！—生き方がかたちになったまち—

▶ 詳細p.118



ファンファンレター 撮影：高岡弘



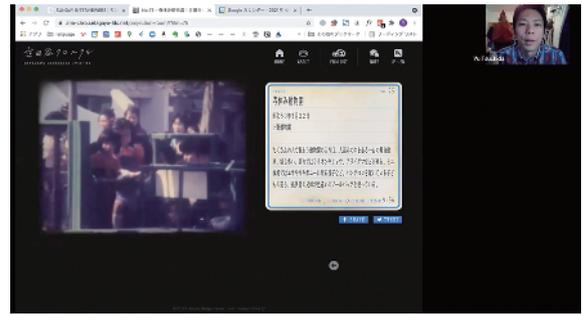
ファンファン倶楽部活動日



ファンファン倶楽部活動日



超衆芸術スタンドプレー 夜明けから夜明けまで  
撮影：縣健司



サンデー・インタビューーズ活動日

東京で(国)境をこえる



kyodo 20\_30 活動日

# 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 Art Support Tohoku-Tokyo

▶ 詳細p.124



ぐるぐるミックス in 釜石



とうほくのこよみのよぶね



つながる湾プロジェクト  
海底タイムカプセル引き上げ



ラジオ下神白—あのとときあのまちの音楽から  
いまここへ



10年目をきくラジオ モノノーク

# タレンツ・トーキョー2020

▶ 詳細 p.128



タレンツ・トーキョー2020

# アーツアカデミー

▶ 詳細 p.130



芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座



東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

# Tokyo Art Research Lab (TARL)

▶ 詳細 p.132



レクチャー 手話と出会う  
～アートプロジェクトの担い手のための手話講座(基礎編)～  
撮影：齋藤彰英



ディスカッション  
撮影：齋藤彰英



東京プロジェクトスタディ1  
撮影：加藤甫



東京プロジェクトスタ  
ディ3

## アーツカウンシル・フォーラム

▶ 詳細 p.136



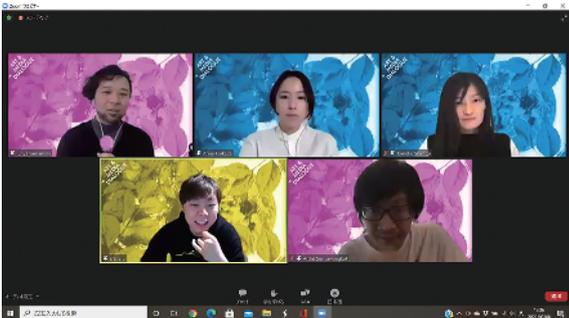
「明日を拓くマネジメント」 ©宮本廉太郎



「明日を拓くパートナーシップの力」 ©小笠原彩

## アート&メディア・ダイアログ

▶ 詳細 p.138



第1回「アジア型カルチュラル・レジスタンス」



第2回「地球規模のエコロジーから再考する人間社会」



グラフィック・レコーディング（制作：清水淳子）

# 1 Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13

## 【事業趣旨（目的）】

本事業は、斬新で独創的な企画や、より多くの人々が参加できる企画を幅広く募り、Tokyo Tokyo FESTIVAL の中核を彩る事業として実施する。

国内外から応募のあった2,436件から選定した13の企画を、「Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13」と総称し、2019年秋から2021年9月までの間に東京都内で順次展開する。

実施にあたっては、東京都及びアーツカウンシル東京の主催事業として、提案者側を受託者として制作等を委託する。

## 【開催状況】

令和2（2020）年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、平成31（2019）年度に実施した1件を除き、予定されていた全ての企画の実施を延期し、令和3（2021）年度の実施とした。

### 1. 事業実施延期の発表（4/8）

以下の事業について、実施延期することを発表。

企画名	企画者名	当初の実施予定時期
The Constant Gardeners	Jason Bruges Studio（イギリス）	2020年夏
隅田川怒涛	特定非営利活動法人トッピングイースト	「春」2020年4月13日(月)~19日(日) 「夏」2020年8月17日(月)~23日(日)
世界無形文化遺産フェスティバル 2020	公益社団法人全日本郷土芸能協会	2020年4月18日(土)、19日(日)
DANCE TRUCK TOKYO	全日本ダンストラック協会	2019年9月~2020年9月 ※一部実施済み
TOKYO SENTO Festival 2020	TOKYO SENTO Festival 2020実行委員会	2020年5月26日(火)~9月6日(日)
TOKYO REAL UNDERGROUND	特定非営利活動法人ダンスアーカイヴ構想	2020年4~6月
バビリオン・トウキョウ 2020	バビリオン・トウキョウ2020実行委員会	2020年6~9月
光の速さ-The Speed of Light-	Marco Canale（アルゼンチン）	2020年5月
放課後ダイバーシティ・ダンス まさゆめ	ADD 実行委員会 目 [mé]	2019年9月~2020年8月 ※一部実施済み 2020年夏
漫画「もしも東京」展	漫画「もしも東京」展実行委員会	2020年夏
シークレット企画	(未発表)	(未発表)

※「Light and Sound Installation “Coded Field”」（企画者：ライゾマティクス）は2019年11月16日（土）に実施済み

### 2. 令和3（2021）年度の実施時期発表（10/26）

全体を仕切り直し、あらためて令和3（2021）年春以降に本格実施することを発表。

企画名	企画者	延期後の実施時期（予定）
The Constant Gardeners	Jason Bruges Studio（イギリス）	2021年夏
隅田川怒涛	特定非営利活動法人トッピングイースト	2021年春、夏
世界無形文化遺産フェスティバル2020（企画名変更予定）	公益社団法人全日本郷土芸能協会	2021年夏
DANCE TRUCK TOKYO	全日本ダンストラック協会	2021年3月~8月 ※2019年に5カ所実施済み ※無観客公演として2020年9月に収録を実施
TOKYO SENTO Festival 2020	TOKYO SENTO Festival 2020 実行委員会	2021年5月26日(水)~9月5日(日)
TOKYO REAL UNDERGROUND	特定非営利活動法人ダンスアーカイヴ構想	2021年春
バビリオン・トウキョウ2020	バビリオン・トウキョウ2020 実行委員会	2021年7月1日(木)~9月5日(日)
光の速さ-The Speed of Light-	Marco Canale（アルゼンチン）	2021年5月
放課後ダイバーシティ・ダンス まさゆめ	ADD 実行委員会 目 [mé]	2021年1月~8月 ※2019年9月よりワークショップ開始、 2021年1月以降再開予定 2021年夏
漫画「もしも東京」展	漫画「もしも東京」展実行委員会	2021年夏
シークレット企画	(未発表)	(未発表)

## 2

## 東京キャラバン

## 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
事業協力	埼玉県
総監修	野田秀樹（劇作家・演出家・役者）
観覧者数	0人

## 【事業趣旨（目的）】

劇作家・演出家・役者である野田秀樹氏の発案により、多種多様なアーティストが出会い“文化混流”することで、新しい表現が生まれるというコンセプトを掲げた新たなムーブメント。東京2020 オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを先導する東京都の文化事業として、平成27（2015）年度より開始し、平成29（2017）年度からは東京2020公認文化オリンピックアードとして本格始動した。全国各地に「東京キャラバン」が出現し、「文化サーカス」を繰り広げていくとともに、国や地域を越えた交流を継続的に図っていく。

## 【開催状況】

令和2（2020）年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で「東京キャラバン in 代々木」の開催を中止したため、事業の中止にかかる調整および手続きを行い、また、令和3（2021）年に開催を予定している大規模なパフォーマンスの実施を見据えて、事業の実施に必要な準備を行った。

## 1. 東京キャラバン in 埼玉 パフォーマンス映像収録

開催日時	令和2（2020）年11月22日（日）
会場	大宮公園・埼玉百年の森
参加アーティスト	糸井幸之介／深井順子（FUKAIPRODUCE羽衣）、黒田育世（振付家・ダンサー）、石川朝日（俳優）、大石丈太郎（俳優）、澤田慎司（俳優）、代田正彦（俳優）、日高啓介（俳優）、山森大輔（俳優）、Steelpan Band - Pele - & Colors、皆野民俗芸能奏楽研修会（秩父音頭・大神楽）、小松陽佳留（衣装）、青木兼治（映像）
内容	令和3（2021）年に開催を予定しているパフォーマンスの創作に向けて、令和元（2019）年に大型台風の影響により開催中止となった「東京キャラバン in 埼玉」のパフォーマンスを、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら映像に収録した。

## 3

## TURN

## 【事業概要】

開催期間	令和2年（2020）4月～令和3年（2021）3月
会場	アーツカウンシル東京ROOM302、東京都内 ほか
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人Art's Embrace、国立大学法人東京芸術大学
監修	日比野克彦（アーティスト、東京芸術大学美術学部長・先端芸術表現科教授）
参加者数	5,035人

## 【事業趣旨（目的）】

障害の有無、世代、性、国籍、住環境などの背景や習慣の違いを超えた多様な人々の出会いによる相互作用を、表現として生み出すアートプロジェクト。東京2020オリンピック・パラリンピックの文化プログラムを先導する東京都の文化事業として、平成27（2015）年度より開始。平成29（2017）年度からは東京2020公認文化オリンピックアードとして本格始動した。様々な分野の機関と連携および協力してプログラムを展開していくことで、一人ひとりが異なる“その人らしさ”を尊重できる関係性のある豊かな社会の創造を目指す。そして、日本における新しいダイバーシティの試みとして国内外で展開し、発信するとともに、TURNの考え方や仕組み、場をレガシーとして継承していく。

## 【開催状況】

令和2（2020）年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じてオンライン等による遠隔での実施方法および実施体制を整備し、アーティストと障害者支援施設やコミュニティ等との「交流プログラム」および「TURN LAND」の展開を推進するとともに、「TURN ミーティング」および「TURN」事業の運営を補助する「サポーター」等を養成するプログラムを実施した。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止した「TURN フェス2020」の中止にかかる調整および手続きを行う一方で、リサーチプログラム「TURN ラボ」の実施や「TURN ジャーナル」の発行等を通じて、本プロジェクトの意義を発信し、今後の展開につなげた。

## 1. TURN交流プログラム

開催期間	4月～令和3年（2021）3月
内容	都内を中心とした福祉施設や社会的支援を必要とする人が集うコミュニティなどの連携拠点にアーティストが赴き、拠点利用者や拠点職員、家族等と出会いながら相互に関係する交流プロセスを構築する。令和2（2020）年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、従来の対面型の交流に加え、ウェブ会議システム等を活用した遠隔での交流を試みた。アーティスト独自の視点で、その場集う人々の個性や魅力を見出し、福祉的ケアとは異なる文化的対話を通じて、アートの新たな可能性を探った。また、各地で展開される「TURN交流プログラム」を円滑かつ確実に実施することを目的に、養成プログラムを経たサポーターをコーディネーターとして配置し、アーティストと交流先のつなぎ役となって現場を推進した。
参加アーティスト ※50音順	飯塚貴士、井川丹、伊勢克也、岩田とも子、永岡大輔、パボとユミ、マチャーデフ、松本力、丸山素直
連携拠点（交流先） ※50音順	アブローズ南青山（港区）、エベレストインターナショナルスクール・ジャパン（杉並区）、大田区立障がい者総合サポートセンター（大田区）、上町工房（世田谷区）、TDU・雫穿大学（新宿区）、はあとびあ原宿（渋谷区）、ハーモニープリスクール（台東区）、福祉ホームさくらんぼ（豊島区）、桃三ふれあいの家（杉並区）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部プログラムを中止。

## 2. TURN LAND

「TURN」の活動が日常的に実践される場である「TURN LAND」を、アーティストと交流先などの都内各所で展開した。

## (1) 交流先施設のLAND化

福祉施設やコミュニティが、アーティストとともに参加型のプログラムを企画。場所がもつ従来の機能に、市民が集まることができる地域にひらかれた文化施設としての役割が加わり、TURNを日常的に実践する場をつくる。令和2（2020）年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、従来の対面集合型に加え、ウェブ会議システム等を活用したオンラインによるプログラム展開を試みた。

交流先施設	日 程	会 場	プログラム名	アーティスト	ゲスト	参加料
気まぐれ八百屋 だんだん	8/13	ウェブ会議システム等 を活用したオンライン	おとな凶鑑番外編	野口竜平	ユキハシトモヒコ	無料
	9/20		第1回町にでるんば		—	
	9/27		記録のための勉強会	—	鈴木健太	
	2/13		町にでるんばにアイデアをの せるんば	野口竜平	—	
	2/28		第6回おとな凶鑑	—	佐々木のか	
ハーモニー	2/27	ウェブ会議システム等 を活用したオンライン	お金をとらない喫茶展3	深澤孝史、ナカガワエ リ	テンギョウ・クラ、石 塚ゆみこ、櫻井文也、 シマダカズヒロ	無料
クラフト工房La Mano	5/16、6/28、 8/15、11/8、 3/14	ウェブ会議システム等 を活用したオンライン	テレ手のプロジェクト2020 —綿花から糸へ..—	五十嵐靖晃	トミザワタカヤ	
	12/12	クラフト工房 La Mano	手のプロジェクト2020—綿 花から糸へ..—			
	2/16	ウェブ会議システム等 を活用したオンライン	ラマノの勉強会『記録と広報 を考える』	—	中田一会、加藤甫	
板橋区立小茂根 福祉園	1/20	ウェブ会議システム等 を活用したオンライン	リモート文通式劇場—こもね 座『4コマバイオーム』	大西健太郎、宮田篤	—	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プログラムの一部を中止。

## (2) TURN LAND (田無)

日 程	会 場	内 容	研究代表者	アーティスト	交流先施設
12/18	国立大学法人 東京大学大学院 農学生命科学 学研究所附属 生態調和農学 機構	不登校や引きこもりを経験し社会復帰 を目指す青少年および知的障害を持つ 青年・成人を参加者に迎え、アートを 学生命科学研究科准教授)、 深野祐也(東京大学大学院農 学生命科学研究科助教)	安永円理子(東京大学 大学院 農学生命科学研究科准教授)、 深野祐也(東京大学 大学院農 学生命科学研究科助教)	岩間賢	TDU・零穿大学、社 会福祉法人さくらの園

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、プログラムの一部を中止。

## (3) TURN 運営本部

NPOを中心とする事務所機能と、TURN フェス等の運営を補助する「サポーター」の養成を目的としたプログラムを実施。今後のTURN 事業実施を見据えて、ウェブ会議システムを利用して実施した。

## 3. TURN フェス

リーディングプロジェクトとして始動してから6年間の集大成となる大規模な「TURN フェス」を国内外のアーティストや多様な施設、機関と協働しながら複数会場で開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症等の影響により実施を中止した。

## 4. TURN ラボ

「視覚や聴覚に障害を持つ人との協働」や「多様な人との対話の可能性」等TURNのテーマに関わるリサーチを、アーティストや各方面の専門家たちが行うことで、多様な価値観への理解を広げ、TURNの今後の展開を考察した。

日 程	会 場	内 容	リサーチャー	アドバイザー
7/27、8/21、 9/28、10/19、 11/19、12/14、 1/28、2/15、 3/22	ウェブ会議シス テム等を活用し たオンライン	「TURN ラボ研究会」を開催し、リサー チャーのリサーチ内容の共有やアドバ イザーからの知見の共有など意見交換 を重ねた。	山 蔦 栄 太 郎・ 橋 本 瞭 ( 株 式 会 社 Ubitone)、本多達也 (Ontenna プロ ジェクトリーダー、富士通株式会社)、 島 影 圭 佑 ( 株 式 会 社 オ ト ン グ ラ ス )、 佐 藤 慎 也 ( 建 築 家 、 日 本 大 学 理 工 学 部 建築学科教授)、富塚絵美 (アーツ イスト)	梶谷真司 (哲学者、東京大学大学院 総合文化研究科教授)、 三科聡子 (宮城教育大学教育学部准 教授)

## 5. TURN ミーティング

TURNの可能性を共有し、語り、考えあう場。参加アーティストや交流先など、TURNプロジェクトの関係者とともに、様々な分野で活躍する専門家などをゲストに招き、TURNについてトーク等を繰り広げた。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりオンラインで開催した。

開催日時	配信会場	ゲスト	内 容	観覧者(人)	参加料
第11回 9/19 14:00~ 15:30	アーツカウンシル 東京 ROOM302	森敦史 (筑波技術大学総務課広報・ 情報化推進係)、 マダム ボンジュール・ジャンジ (ドラァグクイーン)	ゲストに、盲ろう者の意思疎通の方法とICT技術を用いた支援について研究している森敦史を迎え、監修者の日比野克彦と対談を行った。新型コロナウイルス感染症の影響により「人が集うこと」そのものが問われる現在における様々なコミュニケーションの方法と、それによって生まれる人と人の関係性やその可能性について思考を深めた。対談中には言葉によるコミュニケーションだけでなく、粘土の造形を通して、お互いの世界観の交換を試みた。また、ドラァグクイーンのマダム ボンジュール・ジャンジによる絵本の読み聞かせのパフォーマンスを行った。	1,850	無料
第12回 11/29 17:30~ 19:00		高島由美子 (手話通訳士)、那須英彰 (俳優、手話ニュースキャスター)、 モンキー高野 (手話フレンズ代表)、 マチーデフ (ラッパー、作詞家、ラップ講師)	俳優・手話ニュースキャスターの那須英彰、手話フレンズ代表のモンキー高野、手話通訳士の高島由美子をゲストに招き、TURN監修者の日比野克彦とともに、「ろう文化」をキーワードにクロストークを展開。手話の表現の魅力や、ろう者と聴者のコミュニケーションの違いについて、思考を深めた。トーク中には、那須が即興のお芝居を披露する場面もあった。また、ラップクリエイターのマチーデフによるラップパフォーマンスを行った。	2,297	無料
第13回 3/6 15:00~ 16:30		駒崎広幸 (「埼玉T.Wings」、日本 ブラインドサッカー協会所属)、 鳥居健人 (「free bird mejirodai」、 参天製薬株式会社所属)	ブラインドサッカー選手の駒崎広幸と鳥居健人をゲストに迎え、第一部では動画を交えた活動紹介を行い、第二部ではTURN監修者の日比野克彦とともに、聴覚と空間把握の仕方から様々な身体感覚、他者とのコミュニケーションの方法について思考を深めた。トークではスポーツとアートのあいだに共通する「想像する力」に話が広がった。	494	無料

## 6. 海外および国内展開

プログラム名	参加アーティスト	日 程	会 場	主 催	協 力	参加料
TURN on the EARTH~わたしはちぎゅうのこだま~	五十嵐靖晃、瀧口幸恵、 岩田とも子、永岡大輔、 大西健太郎、小野龍一、 中村奈緒子、徳本萌子、 松橋和也、高岡太郎、 許允、布下翔基、そねまい	【オンラインワークショップ】6月25日 ~9月6日 【トーク (オンライン交流「こだまの会」)】 8月31日 【展覧会】7月23日~ 9月6日	【オンラインワークショップ】 オンライン 【トーク (オンライン交流「こだまの会」)】 オンライン 【展覧会】 東京藝術大学大学美術館本館 展示室3、4	国立大学法人東京芸術大学、東京都、公益財団法人東京歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人Art's Embrace	国立トレス・デ・フェブレロ大学、エクアドル中央大学、ウィフレド・ラム・アート・センター (ハバナ・ピエンナール事務局)、プロワフ美術大学、財団法人国家文化芸術基金、財団法人文化台湾基金会、台北当代芸術館	無料
TURN on the EARTH~わたしはちぎゅうのこだま~普通寺展	五十嵐靖晃、岩田とも子、 布下翔基、そねまい	【オンラインワークショップ】12月25日 ~2月7日 【展覧会 (会場展示)】 2月21日~3月7日 【展覧会 (三次元バーチャル展示)】 2月5日 ~3月31日	【オンラインワークショップ】 オンライン 【展覧会 (会場展示)】 旧普通寺僧行社 【展覧会 (三次元バーチャル展示)】 ウェブサイト 【講演会】 講演を収録したDVDを配布	香川県、香川大学創造工学部、国立大学法人東京芸術大学、東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人Art's Embrace	普通寺市、総本山普通寺、香川県立普通寺第一高等学校	無料

## 【参加者の声】

## ●第11回 TURN ミーティング

- ・今回の試みはとても素晴らしかった。難聴者で手話と文字どちらも読み取っていたが、通訳者の切り取りや音声認識結果の表示など素晴らしくわかりやすく、今後も続けてもらえたら参加できると感じた。ぜひ、パッケージ化してほしい。

## ●第12回 TURN ミーティング

- ・音声ガイドがあることで、盲の人の存在を感じた。何気なく見ている映像だが、盲の人へ伝えるべき情報、またそれを的確に伝える方法に少し気付くことができた。
- ・ワイプ同時通訳、音声通訳、UDトーク、実際の音声、盲者への音声ガイドなど、全てが同時進行できることで皆が対等に情報保障される企画は大変素晴らしく、今後も全ての映像メディアで取り入れてほしい。

## 【発行者】

TURN PAPER、TURN NOTE 2020、TURN ジャーナル SUMMER 2020 - issue04、TURN ジャーナル AUTUMN 2020 - issue05、TURN ジャーナル WINTER 2020 - issue06、TURN ジャーナル SPRING 2020 - issue07

## 4

## Tokyo Tokyo FESTIVAL 助成

## 【事業概要】

東京都が主導する文化プログラムの考え方を踏まえ、2020年に向け、より多くの人々が文化プログラムに参加できること、また2020年以降の東京の芸術創造環境の向上を目的とした助成事業を実施する。

## 【事業趣旨（目的）】

〈フラッグプロジェクト支援〉

民間企業や芸術団体など様々なセクターによる話題性・祝祭性のある大規模なプロジェクトや、2020年以降につながるレガシーを創出するプロジェクトを支援する。

〈市民創造文化活動支援〉

都民の日常的かつ主体的な芸術文化活動を支援する。

〈海外発文化プロジェクト支援〉

海外からのアーティスト等の新たな芸術創造につながる活動を支援し、東京が国際的な創造活動拠点として魅力ある都市となるとともに、都民が多様な表現に触れる機会を提供する。

〈未来提案型プロジェクト支援〉

アートとサイエンスの融合により、新しい表現の創造にチャレンジするプロジェクトを支援する。

## 【開催状況】

当該助成は今年度が最後の公募となった。採択件数は62件。フラッグプロジェクト支援、市民創造文化活動支援、海外発文化プロジェクト支援、未来提案型プロジェクト支援の4カテゴリー全体を総括すると、採択案件としては文化プログラムとしての新規性やダイナミズムが感じられるもの、適時性があるものなどを中心に採択された。その他の申請の傾向としては、インバウンド向けの事業や国際交流イベントなどが目立った。なお、当該助成については、2018年度採択より実施対象期間を2020年9月までとしていたが、コロナ禍により2021年9月まで実施期間を延長したものの、海外招聘事業など中止を余儀なくされた企画も少なくなかった。

## ■令和2（2020）年度実績

申請件数：152件

採択件数：62件

交付決定総額：305,959,000円

## 〔内訳〕

## 1. フラッグプロジェクト支援

申請件数：66件

採択件数：25件

交付決定総額：112,270,000円

申請団体名	申請活動名
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会	江戸東京の芸能 その美と心
東京型家実行委員会	「東京型家」
芸能山城組公演実行委員会	芸能山城組 AKIRA 公演 「逢燦杰極譚」
IDIOT SAVANT theater company	あきる野だって東京なんだ！ vol.2ー世界につなげ！市民と考えるこれからの東京！！ー「やす坊とのらぼう菜」(仮)
東映株式会社	神・鬼・麗 三大能∞2020
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	落合陽一&日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクトVOL.4《耳で聴かない音楽会2020》
公益財団法人ソニー音楽財団	こども音楽フェスティバル
イメージフォーラム	イメージフォーラム・フェスティバル2020
寺田倉庫株式会社	TOKYO CANAL LINKS 2020
アエノコト in Tokyo 2020実行委員会	七夕の響応 ～アエノコト in Tokyo 2020
公益社団法人日本三曲協会	和の音色を継いで未来へ
東京アート&ライブシティ構想実行委員会	東京アート&ライブシティプロジェクト
株式会社precog	「TRUE COLORS THEATER」(仮)

申請団体名	申請活動名
合同会社トリウッド	ヨーロッパ企画『ドロステのはてで僕ら（仮）』上映・英語版制作プロジェクト
「美しい国そこつ広場」実行委員会	「美しい国そこつ広場」プロジェクト（仮称）
認定NPO法人あっちこっち	Dining room tales
Art For All 実行委員会	Para - Art & Movie Festival in Tokyo 2020
有限会社グッドフェローズ	熾光群「天神さまのほそみち」
株式会社東京演劇集団風	第100回公演「標的の女と10人の愛人」
ROCKSTAR 有限会社	コンドルズ東京公演2020スペシャル（仮）
TOKYO NIGHT THEATER 2020運営委員会（株式会社コンパス）	TOKYO NIGHT THEATER 2020
一般社団法人Get in touch	月夜のからくりハウスまぜこぜ一座プロジェクト
一般社団法人流山児カンパニー	夏の夜の夢～嗚呼！大正浪漫編～
「隅田川 森羅万象 墨に夢」実行委員会	「隅田川 森羅万象 墨に夢」オープニングプログラム
愛と平和の音楽祭 実行委員会	愛と平和の音楽祭

## 2. 市民創造文化活動支援

申請件数：38件

採択件数：16件

交付決定総額：74,596,000円

申請団体名	申請活動名
特定非営利活動法人杉並区民オペラ	多世代交流型ミュージカル「王女の忘れ物」
合同会社 別視点	マニアフェスタ エントリーゲート
わーどダンスフェスティバル実行委員会	わーどダンスフェスティバル in TOSHIMA2020 ～『ダンスで繋ごう世界とわたし』～
ガールズバンドステージコンテスト実行委員会	第5回ガールズバンドステージコンテスト高校生大会
東京カラオケまつり実行委員会	東京カラオケまつり2020
株式会社アマナ	Portrait of Japan 2020
株式会社SECAI	浮世絵 THE WORLD - 市民が作る浮世絵世界 -
八王子よこやま南マーチングフェスティバル実行委員会	第1回 八王子よこやま南マーチングフェスティバル
コドモチョウナイカイ事務局	デザインでつどう コドモデザインフォーラム
LAND FES	LAND FES DIVERSITY
とっておきの音楽祭 in Machida 実行委員会	とっておきの音楽祭 in Machida 2020
NEXT-BABEL CO-PRODUCTION 実行委員会	NEXT-BABEL CO-PRODUCTION
一般社団法人異言語Lab.	異言語Lab.
特定非営利法人演劇百貨店	下馬団地プロジェクト：「生きること／死ぬこと」をめぐるコミュニティシアター
コバケンとその仲間たちオーケストラ	コバケンとその仲間たちオーケストラ in 2020第九演奏会
一般社団法人非営利芸術活動団体コマンドN	神田・日本橋川 天馬船プロジェクト

## 3. 海外発文化プロジェクト支援

申請件数：32件

採択件数：17件

交付決定総額：110,861,000円

申請団体名	申請活動名
スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド実行委員会	スキヤキトーキョー2020
亜細亜の骨	日本・台湾・香港 3か国コラボレーション世界初演『食用人間—進撃の台湾料理—（仮）』
ゆかり企画	新作インスタレーション「現象の色」
ワタリウム美術館	国際美術展「アンフレームド2020」まちに飛び出すアート
ゲーテ・インスティトゥート東京ドイツ文化センター	The Glass Room Experience
有限会社ボッシュンエッツ	FESTIVAL TANDEM meets JAPAN CONNECTION FESTIVAL
アンドラプロジェクト	アンドラプロジェクト
特定非営利活動法人芸術文化ワークス	Arts Works Project - Meet in Tokyo
21世紀アフリカカルチャー振興委員会	AFRICAN Contemporary 2020
一般社団法人マルタス〇+	「THREE」 in TOKYO ～ 向井山朋子 × レニエー・ヴァン・ブルムレン～
KOI NIPPON	リトアニア：創造と現代2020 'Fluxus and happiness'
ワンアジアフェスティバル実行委員会	Oneasia Festival 2020
国際能プロジェクト実行委員会	「Nature Unwrapped：サウンド・オブ・ライフ IN 東京」
Awa'Tori 合同会社	FACE.A-J (Fashion And Culture Exchange. Africa-Japan)
「Border Line in TOKYO巡礼」実行委員会	Border Line in TOKYO巡礼
株式会社アーキタンツ	アーキタンツ20周年記念事業
Poetry Reading Tokyo	東京国際ポエトリーフェスティバル2020

## 4. 未来提案型プロジェクト支援

申請件数：16件

採択件数：4件

交付決定総額：8,232,000円

申請団体名	申請活動名
一般社団法人運動会協会	未来の運動会2020
科学技術広報研究会（JACST）隣接領域と連携した広報業務部会	ファンダメンタル バザール
青木尚哉グループワークプロジェクト	公演名（仮）：震える身体
echo project	echo project

## ■地域文化活動支援

東京都内の62区市町村を対象に、自治体および区市町村の外郭団体が主催し、地域の芸術文化団体が参加する事業を対象に支援する。

令和2（2020）年度実績

申請団体数：2団体

採択団体数：2団体

交付決定総額：2,000,000円

申請団体名	申請活動名
文京区	文京区秋の文化祭
港区	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた港区発掘ご当地曲盆踊り大会

※申請団体名および申請活動名は、申請時のものであり、実際の名称と異なる場合があります。

## 5

## トパコ（都民パフォーマーズコーナー）

## 【事業概要】

## 第8回トパコ

開催日	令和3（2021）年3月27日（土）、28日（日）
会場	渋谷ストリーム前 稲荷橋広場
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
協力	東急株式会社
出演者	79人（11団体）

- ・ Tahitiandance team HINATEA（タヒチアンダンス）
- ・ good luck（ダブルダッチ）
- ・ Kadamb Japan（インド舞踊 カタックダンス）
- ・ 森のCLUB日本舞踊（日本舞踊）
- ・ KANA Bellydance Arts（ベリーダンス）
- ・ RAMS（ダンス）
- ・ The Loose Bossa（音楽）
- ・ Primavera（フラメンコ）
- ・ GARAN43/35°（よさこい）
- ・ 東京YOSAKOIチーム 燦-SUN-（よさこい）
- ・ 津軽三味線集団 弦音巴（津軽三味線）

観覧者数	0人（無観客） トパコ登録アマチュア団体数：215団体（令和3（2021）年3月時点）
------	--

幅広い世代が集まる渋谷の中心部を舞台に、東京都内で活躍するアマチュア団体によるパフォーマンスを披露した。また平成29（2017）年度にスタートし、令和2（2020）年度限りで終了することになっていたため、集大成として2日間にわたり11組が出演する回となった。コロナ禍での実施のため、当初想定していた有観客での開催ではなく、無観客開催とし、発表の様子を収録して別途アーカイブ公開を行った。

## 【事業趣旨（目的）】

民間企業等と連携し、自社ビル等の場を開放してもらい都民の芸術文化活動の発表の機会を創出する事業。2020年に向け、様々な人が文化プログラムへ参画すること、また従来の枠組みや場所にとらわれない文化プログラムの展開に繋げていくことを目的とする。会場提供企業等も含め、より多くの人の文化プログラムへの興味を喚起することも目指す。

## 【参加者の声】

出演団体（計11団体）にアンケートを実施。うち10団体より回答あり。

☑ 「トパコに出演して満足しましたか？」

→10団体中、全ての団体が「出演して満足」と回答。

## 6

Tokyo Tokyo FESTIVAL  
プロモーション・ブランディング事業

## 【事業概要】

開催期間 令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月  
 会場 都内各所  
 主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
 公式ウェブサイト <https://tokyotokyofestival.jp/>

## 【事業趣旨（目的）】

各種広報やプロモーションイベント等を実施し、Tokyo Tokyo FESTIVAL を効果的にプロモーション・ブランディングすることで、文化の面から大会開催気運の醸成を図るとともに、芸術文化都市東京の魅力を発信する。

## 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ、Tokyo Tokyo FESTIVAL を効果的にプロモーション・ブランディングするため、以下の取組を実施した。

## (1) 新ポスタービジュアルの作成

コロナ禍の状況を踏まえ、コンセプトコピーの「THE FUTURE IS ART」を軸とした新たなポスタービジュアルを作成。

## (2) インタビュー企画の実施

Tokyo Tokyo FESTIVAL を構成する文化プログラムのアーティストやスタッフ等10人に、コロナ禍における苦労や新たな取組等を取材し、公式ウェブサイト上に日英2言語でインタビュー記事を掲載。

インタビュー記事出演者	公開日
東京芸術祭総合ディレクター・宮城聡	前編：10/30 後編：11/20
東京都交響楽団演奏統括部・館岡吾弥	10/30
特定非営利活動法人「芸術家と子どもたち」事務局長・中西麻友	11/30
TURN 監修／アーティスト・日比野克彦	前編：11/30 後編：12/11
Shibuya StreetDance Week 2020アンバサダー／アーティスト・三浦大知	12/25
能楽師・友枝雄人	1/29
東京都現代美術館参事・長谷川祐子	1/29
東京都江戸東京博物館副館長・小林淳一	2/26
日本芸能実演家団体協議会会長／狂言師・野村萬	3/19
アーティスト／ライゾマティクス主宰・真鍋大度	3/30

## (3) ラジオ番組の放送

J-WAVE『Tokyo Tokyo FESTIVAL CREATIVE FILE』（毎週土曜日／午前11時35分～45分）を放送し、様々なプログラムの情報や魅力を紹介。（放送実績は下記参照）

## (4) Twitter 広告の掲載

公式ウェブサイトへの訪問者の増加を目的としたTwitter 広告を実施。

## (5) その他

公式ウェブサイトおよびTwitter公式アカウントによる情報発信、都立文化施設の装飾、広報グッズの配布等により、幅広い層に向けてプロモーションを実施。

## 【J-WAVE『Tokyo Tokyo FESTIVAL CREATIVE FILE』放送実績】

No.	OA	放送内容	ゲスト出演者
1	4/4	東京都交響楽団 / 東京都「TOKYO MET SaLaD MUSIC FESTIVAL 2020」	館岡吾弥（東京都交響楽団）
2	4/11	東京文化会館「創遊・楽落“夜”らいぶ・音楽家と落語家のコラボレーション - vol.53」	里神大輔（東京文化会館）
3	4/18	東京都写真美術館「日本初期写真史 関東編 幕末明治を撮る」	三井圭司（東京都写真美術館）
4	4/25	東京芸術劇場「NEO-SYMPHONIC JAZZ at 芸劇」	前田圭蔵（東京芸術劇場）
5	5/2	DULL-COLORED POP	谷賢一（作家・演出家・翻訳家・DULL-COLORED POP 主宰）
6	5/9	ロロ「窓辺」	三浦直之（ロロ主宰・劇作家・演出家）
7	5/16	ノーマルスクリーン	秋田祥（「ノーマルスクリーン」ディレクター）
8	5/23	東京文化会館「東京文化会館 リラックス・パフォーマンス ～世代、障害を越えて楽しめるオーケストラ・コンサート～」	里神大輔（東京文化会館）
9	5/30	新井卓	新井卓（アーティスト）

## Tokyo Tokyo FESTIVAL を象徴するプログラム

No.	OA	放送内容	ゲスト出演者
10	6/6	範宙遊泳	山本卓卓(「範宙遊泳」主宰・劇作家・演出家)
11	6/13	東京都交響楽団「おうちでオーケストラ」	鈴木誠(東京都交響楽団)
12	6/20	東京都庭園美術館「建築をみる2020 東京モダン生活 東京都コレクションにみる1930年代」	吉田奈緒子(東京都庭園美術館)
13	6/27	BECV	石橋友也(アーティスト)
14	7/4	東京都写真美術館「写真とファッション 90年代以降の関係性を探る」	伊藤貴弘(東京都写真美術館)
15	7/11	アーツカウンシル東京「Art Support Tohoku-Tokyo2011→2021」	瀬尾夏美(アーティスト・一般社団法人NOOK)
16	7/18	江戸東京たてもの園「ぬくもりと希望の空間～大銭湯展」	小林愛恵(江戸東京たてもの園)
17	7/25	東京都江戸東京博物館「オンライン版えどはく寄席」	松井かおる(東京都江戸東京博物館)
18	8/1	東京都現代美術館「おさなごころを、きみに」	森山朋絵(東京都現代美術館)
19	8/8	東京都庭園美術館「旧朝香宮邸 東京都庭園美術館コンサート2020」	藤野英樹(東京都庭園美術館)
20	8/15	東京文化会館「第18回東京音楽コンクール2020」	里神大輔(東京文化会館)
21	8/22	東京都写真美術館「森山大道の東京 ongoing」	武内厚子(東京都写真美術館)
22	8/29	東京芸術劇場「パイオルガンコンサート」	小林英之(東京芸術劇場オルガニスト)
23	9/5	東京都江戸東京博物館「市民からのおくりもの2019 平成30年度 新収蔵品から」	小酒井大悟(東京都江戸東京博物館)
24	9/12	東京芸術劇場「芸劇dance workshop2020『東京ディグ/ライズ2』」	北尾巨(Baobab主宰・振付家・ダンサー・俳優)
25	9/19	東京都写真美術館「エキソニモ UN-DEAD-LINK アン・デッド・リンク インターネットアートへの再接続」	田坂博子(東京都写真美術館)
26	9/26	東京芸術劇場/アーツカウンシル東京「東京芸術祭2020」	宮城聡(東京芸術祭総合ディレクター・演出家・SPAC・静岡県舞台芸術センター芸術総監督)
27	10/3	東京文化会館「プラチナ・シリーズ 第2回 安倍圭子・歩み続けるマリンバ界のバイオニア」	里神大輔(東京文化会館)
28	10/10	東京都美術館「Museum Start あいうえの」	河野佑美(東京都美術館)
29	10/17	アーツカウンシル東京「Shibuya StreetDance Week2020」	三浦大知(ミュージシャン・Shibuya StreetDance Week 2020 アンバサダー)
30	10/24	東京都写真美術館「生誕100年 石元泰博写真展 生命体としての都市」	山田裕理(東京都写真美術館)
31	10/31	東京芸術劇場/アーツカウンシル東京「東京芸術祭ワールドコンペティション」	山崎奈玲子(東京芸術祭)
32	11/7	東京芸術劇場「芸劇dance 田中泯『村のドン・キホーテ』」	田中泯(ダンサー)
33	11/14	東京都現代美術館「VIRTUAL ART BOOK FAIR」	中島佑介(TOKYO ART BOOK FAIRディレクター)
34	11/21	アーツカウンシル東京「アンサンブルズ東京」	大友良英(音楽家)
35	11/28	東京都庭園美術館「生命の庭 8人の現代作家が見つけた小宇宙」	浜崎加織(東京都庭園美術館)
36	12/5	東京文化会館「《響の森》Vol.47『ニューイヤーコンサート2021』」	里神大輔(東京文化会館)
37	12/12	東京都美術館「上野アーティストプロジェクト2020『読み、味わう現代の書』」	田村麗恵(東京都美術館)
38	12/19	東京都現代美術館「石岡瑛子 血が、汗が、涙がデザインできるか」	藪前知子(東京都現代美術館)
39	12/26	東京都写真美術館「瀬戸正人 記憶の地図」	瀬戸正人(写真家)
40	1/2	東京都江戸東京博物館「和宮 江戸へふれた品物 みた世界」	徳川典子(徳川記念財団学芸部長・徳川宗家十八代次女)
41	1/9	東京都現代美術館「MOT アニュアル2020 透明な力たち」	小高日香理(東京都現代美術館)
42	1/16	東京芸術劇場「芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー 第7回演奏会」	前田圭蔵(東京芸術劇場)
43	1/23	東京都庭園美術館「20世紀のポスター [図像と文字の風景]—ビジュアルコミュニケーションは可能か?」	田中雅子(東京都庭園美術館)
44	1/30	アーツカウンシル東京「オンライン能『船弁慶』—伝説の英雄、日本文化の波動を東京から世界へ—」	友枝雄人(能楽師)
45	2/6	東京都現代美術館「MOT サテライト2020 ハイファイブ—こころのこえ」	中野詩(東京都現代美術館)
46	2/13	東京都美術館「没後70年 吉田博展」	小林明子(東京都美術館)
47	2/20	東京芸術劇場「東京芸術劇場30周年記念展覧会・2020年度豊島区美術企画展 池袋への道—近世の歴史資料、池袋モンパルナス、森山大道」	前田圭蔵(東京芸術劇場)
48	2/27	東京都江戸東京博物館「国立ベルリン・エジプト博物館所蔵 古代エジプト展 天地創造の神話」	杉山哲司(東京都江戸東京博物館)
49	3/6	アーツカウンシル東京「六本木アートナイト スピンオフ・プロジェクト『六本木アートナイト デジタル“RAN TV”』」	片岡真実(六本木アートナイト実行委員長)
50	3/13	東京芸術劇場「パンドラの鐘」	前田圭蔵(東京芸術劇場)
51	3/20	東京文化会館「東京文化会館 パースデーコンサート」	里神大輔(東京文化会館)
52	3/27	東京都写真美術館「澤田知子 狐の嫁いり」	澤田知子(写真家)

# 7 東京芸術文化創造発信助成、芸術文化による社会支援助成、東京地域芸術文化助成

## 【事業概要】

東京の芸術文化の魅力を向上させ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化の振興、社会や都市の様々な課題に取り組む芸術活動の助成を行っている。

## 【事業趣旨（目的）】

### 東京芸術文化創造発信助成（【単年助成プログラム】【長期助成プログラム】）

東京の都市の魅力向上に寄与する多様な創造活動とその担い手を支援するため、東京を拠点とする芸術団体や芸術家等に対して活動経費の一部を助成した。

【単年助成プログラム】では、都内において実施される公演・展示・アートプロジェクト等の創造活動や、都内または海外で実施される国際的な芸術交流活動、また芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動の助成を行った。

【長期助成プログラム】では、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進すると共に、芸術団体のステップアップの後押しを目的に、最長3年間の支援を実施した。また、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動に対しても助成を実施した。

### 芸術文化による社会支援助成

東京を拠点とする芸術団体や福祉団体、NPO等を対象とし、様々な社会環境にある人が共に参加し、個性を尊重し合いながら創造性を発揮することのできる芸術活動や、芸術文化の特性を活かし社会や都市の様々な課題に取り組む活動を助成した。

### 東京地域芸術文化助成

東京を拠点とする芸術団体、保存会、継承団体等を対象とし、都内の無形民俗文化財を活用した地域の文化振興に資する公演活動等や、特定の地域における文化資源を活用した、地域の魅力を国内外に発信する活動を助成した。

## 令和2（2020）年度実績

### 東京芸術文化創造発信助成

申請件数：単年助成プログラム348件、長期助成プログラム24件

採択件数：単年助成プログラム124件、長期助成プログラム4件

交付決定総額：162,372千円

### 単年助成第1期 [助成事業対象期間：令和2（2020）年7月1日～令和3（2021）年6月30日]

活動分野	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	団体	高橋悠治作品演奏会実行委員会	高橋悠治作品演奏会III
		東京現音計画	東京現音計画#15～ミュージシャンズセレクション5：有馬純寿2
		川島素晴 works 実行委員会	川島素晴 works vol.4 by 木ノ脇道元
		クロッシングス	Crossings ~ Showcase Vol.2, Stockholm × Tokyo × Object ~ Crossings ~ Showcase Vol.3, Oslo × Tokyo × Video Art ~ Crossings ~ Showcase Vol.4, Vienna × Tokyo × Liquid Art ~
		公益財団法人東京二期会	東京二期会オペラ劇場『フィデリオ』
		spac-e	spac-e #3b：コンサート「DOUBLE 二重」と電子音響付き器楽作品演奏のためのワークショップ
		一般社団法人アンサンブル・ノマド	アンサンブル・ノマド定期演奏会第70～71回「ともに生きる vol.2～3」
		CIRCUIT	鈴木治行・室内楽個展（仮）
		「ベルリンー東京 実験音楽ミーティング」実行委員会	ベルリンー東京 実験音楽ミーティング2
		一般社団法人東京シンフォニエッタ	東京シンフォニエッタ2020年度定期演奏会（第47・48回）
	HardcoreAmbience委員会	視聴覚響室 by HardcoreAmbience	
	ブリリアント・コーナース	Brilliant Corners Aalborg, Berlin, Copenhagen and Tokyo	
	女性作曲家会議	ダイアログ：アート&ウーマン（仮）	
	個人	木下正道	ウルトラハイエッジ弦楽四重奏の夕べ
近藤圭		第3回「問う」現代曲ホルンリサイタル（仮）	
佐原詩音		佐原 詩音 作曲個展 vol.3 おはなしとおんがく	
玉田企画		『ある秋のできごと（仮）』	
演劇	団体	一般社団法人チェルフィッチュ	チェルフィッチュ「消しゴム山」東京公演
		口口	「いつだって可笑しいほど誰もが誰かが愛し愛されて第三小学校」リクリエーション

活動分野	団体/個人	申請者名	申請事業名
演劇	団体	公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	人形たちとの「星の王子さま」(仮称)
		合同会社かもめマシーン	かもめマシーン「かもめ」公演
		合同会社10月17日	FUKAIPRODUCE 羽衣第25回公演『スモール アニマル キッス キッス』
		ゆうめい	ゆうめい
		劇団子供鉦人	ギャラクシー銀座
		good morning N° 5	祝・結成 13周年記念公演!! 「男殺し崩しの極意 (仮)」
		合同会社アルシュ	庭劇団ベニノ「ダークマスター」アメリカツアー
		一般社団法人DRIFTERS INTERNATIONAL	Q/市原佐都子「妖精の問題」アジアツアー
舞踊	団体	Co.Ruri Mito	Co. Ruri Mito 新作公演「Where We Were Born」
		岩淵貞太 身体地図	岩淵貞太 身体地図ダンス公演2020'Gold Experience'
		「ダンスがみたい!」実行委員会	ダンスがみたい! 22 日本国憲法を上演する
		青木尚哉グループワークプロジェクト	交差する時空 (仮)
		M-laboratory	M-laboratory 2020新作「#DAWNORDUSK」東京公演
		東雲舞踏	Tokyo Butoh Circus 2021
		踊る「熊谷拓明」カンパニー	ダンス劇「さえない空気が運んだ幸福」(公演)
		Baobab	Baobab「UMU」タンツメッセツアー
		一般社団法人ダンス・ニッポン・アソシエイツ	Dance New Air 2020
		株式会社LAST TRAIN GETTER	日仏トップダンサーによるマスターサイファー、バトル、ワークショップ「ALL 4 HOUSE」
		クリエイティブ・アート実行委員会	インテグレイテッド・ダンス・カンパニー響・Kyo 第8回公演
美術・映像	団体	neoneo 編集室	東京ドキュメンタリー映画祭2020 (仮)
		ドキュ・メント実行委員会	第4回 ドキュ・メント
		一般社団法人Token	未来の遺構
		株式会社バスユニット	灰色の回答
		毛利悠子「サンパウロ」実行委員会	第34回サンパウロ・ビエンナーレ
		Spice Films	! 8 exclamation-8 special screening in Taiwan
	個人	佐藤史治	「すべておぼえる」(仮)
		大原崇嘉	ヴァルールの導き展 (仮)
		宮本智之	Water/proof
		飯嶋桃代	Recoveryroom - ましまし、いねつるかも (仮)
		大成哲	Tets Ohnari & Ryuta Iida / Collabo vol. 01 (仮)
伝統芸能	団体	特定非営利活動法人ACT.JT	東京2021「立合狂言会～狂言的式能」(仮)
		公益社団法人日本三曲協会	日本三曲協会定期公演 第7回「日本の響」三曲に描かれる能楽の世界<II>
		一般社団法人松の会	第34回 檀の会
		「徹の笛」実行委員会	徹の笛 - 第11回福原徹演奏会-
		創邦21	創邦21 第17回作品演奏会
		一般社団法人伶楽舎	伶楽舎 第十五回雅楽演奏会
		古典の会	第4回「古典の会」演奏会
		み絲之會	み絲之會第6回公演
		特定非営利活動法人魁文舎	声明の会・千年の聲「螺旋曼荼羅海会」北米ツアー
		オーラJ	邦楽創造集団オーラJチュニジア公演(仮)
	個人	天籟能の会	日韓芸能の協同による新作能「望恨歌」上演プロジェクト
		「今藤政太郎作品演奏会」実行委員会	復曲のタベ (仮)
		藤本昭子	地歌ライブ第100回記念公演 ~グランドファイナル
		小濱明人	第三回 小濱明人 尺八リサイタル
		佐久間二郎	第9回佐久間二郎能の会「三曜会」
		山村若静紀	舞と語りのタベ~女義舞 Special (仮)
		藤山大樹	藤山大樹 江戸手妻 東京公演2021 (仮)
複合	団体	青山実験工房実行委員会	青山実験工房公演 第6回
		三野新写真/演劇プロジェクト制作実行委員会	三野新作品「クバへ」(仮) 制作・公開・出版
		トランスフィールドスタジオ	Sand (a)isles in Manila
	個人	篠田千明	バンコクバイエンニエル超常現象館2020

令和2(2020)年度 東京芸術文化創造発信助成 単年助成第1期 採択結果の概要

●音楽分野

音楽分野は、申請件数が昨年度の第1期と比べて約2倍に増加し、事業の内容もクラシック、ジャズ、現代音楽、異なる分野とのコラボレーションなど多様化しています。全申請の7割に当たる28件が初申請でしたが、そのうち9件を採択としました。今回から受付を開始した個人申請には、作曲家や演奏家から企画性の高い申請が多数みられました。

●演劇分野

申請団体の約4割が初申請で、今回は特に活動成熟・トップ期にあたる団体からの申請が増えましたが、採択事業は8割以上を活動基盤形成期および活動拡大・発展期の団体が占めています。採択事業の中では、初の

海外ツアーや新たな演劇表現の創造と公演規模拡大の両立、後進の育成等、若手団体のステップアップにつながる挑戦や将来を見据えた取組、国際的な影響力を持ち得る意欲的な事業が目立ちました。

●舞踊分野

今期は申請件数が微増しました。活動拡大・発展期にあるアーティストからの申請は充実した内容のものが多く、採択率も高く、継続的な支援を行っている団体の成長が反映されました。また、フェスティバル的な事業が多く採択されたことも今期の特色です。一方、舞踊分野でも個人申請の受付を開始したことにより、若いアーティストからの申請が増加しました。残念ながら個人申請の採択事業はありませんでしたが、独創的な企画やテクノロジーを活用した実験的なものもあり、今後、若手が経験を積むことで成長することを期待します。

●美術・映像分野

8割強が初申請で、平面表現や彫刻、インスタレーション等の展覧会形式の活動に加え、映画・映像分野の申請が例年より多くありました。その中で新しい価値観を見出そうとする取組に優れた事業が多く、採択となりました。個人申請は例年同様4割強を占め、活動ステージ別では若手・中堅のアーティストや芸術団体が6割以上でした。フェスティバルやアーティスト・ラン・スペースのような創造や発表の拠点形成に取り組む活動も存在感を強めました。また、テクノロジー、デザイン、ミクストメディア等、多岐に渡る手法による様々な活動の申請がありました。

●伝統芸能分野

申請種目は、雅楽、聲明、能楽、狂言、地歌箏曲、三曲、尺八、長唄、上方舞、日本舞踊、演芸、和妻、創作邦楽、現代邦楽など、多岐に渡るものでした。全体的な傾向として、今回は古典の型を重視する活動が目立ちました。申請件数の3割が初申請でその半数以上が採択となっています。個人申請では、これから伝統芸能分野で実績を重ねていこうとする若手からの申請が増えています。審査基準の「継承性」の面で優れた事業が多く高い採択率になりました。

●複合分野

複合分野（核となる分野を特定できない芸術活動）は、22件の申請があり4件が採択となっています。申請内容は多岐に渡りますが、日本の建築家とフィリピンのアーティストによるサイトスペシフィックなプロジェクトや、日本の演出家によるタイでのピエンナーレ参加企画など、アジアで実施する優れた活動が目立ちました。また、作曲家、詩人、美術家、能楽師による能楽堂での公演、写真と言語表現を横断する演劇的作品など、複合分野ならではの独創性、国際性をもった企画を採択しています。

単年助成第2期 [助成事業対象期間：令和3（2021）年1月1日～12月31日]

活動分野	団体/個人	申請者名	申請事業名
音楽	団体	芥川也寸志メモリアル オーケストラ・ニッポニカ	オーケストラ・ニッポニカ 第37回演奏会、第38回演奏会
		TRANSIENT	松平頼暁 90歳を前に ～室内楽作品による個展～
		オーケストラ・プロジェクト	オーケストラ・プロジェクト2020（延期公演）
		現代奏造 Tokyo	現代奏造 Tokyo 第6回定期演奏会 / 第3回室内楽演奏会
		一般社団法人アートフォーラム NOAN	Tokyo Consolation “コロナ後の東京を癒す”
		公益財団法人東京二期会	二期会ニューウェーブ・オペラ劇場「セルセ」
		Project NAKA	Project NAKA 第一回公演 「めぐる」
	個人	ミュージック・フロム・ジャパン推進実行委員会	ミュージック・フロム・ジャパン 2021年音楽祭
		安江佐和子	安江佐和子 perc. プロデュース 「il Sole」 / Y × S Crossing #04
		シルヴェストリン・アレッシオ	「百人一首のための注釈」
演劇	団体	椎名豊	Yutaka Shiina International Jazz Project
		かまどキッチン	かまどキッチン#02「海2」
		しあわせ学級崩壊	しあわせ学級崩壊 2021年度本公演（仮）
		タカハ劇団	タカハ劇団第17回公演「美談殺人（仮）」
		EPOCH MAN	EPOCH MAN
		公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座	結城座旗揚げ385周年記念公演 第一弾 十三代目結城孫三郎襲名披露公演「十三夜あるいは月の輝く夜に一ウィリアム・シェイクスピア作「十二夜」より」（仮）
		スペースノットブランク	スペースノットブランク「ささやかなさ」
		譜面絵画	「Terra Australis Incognita」東京公演
		演劇ユニット LABO!	ANOTHER
		一般社団法人 Q	MADAMA BUTTERFLY（仮）
		演劇集団ブラチナネクスト	台湾・台南市 新営アートフェスティバル「鯨よ 私の手に乗れ」招聘公演（仮）
		Theatre Company カクシンハン	カクシンハン「タイタス・アンドロニカス」ポーランド・グダニスク市における国際シェイクスピアフェスティバル第25回招聘公演（仮）
		舞踊	団体
一般社団法人 天使館	「櫻の樹の下には - 笠井勲を踊る -」		
特定非営利活動法人 days	イデビアン・クルー新作公演「メルヘン義務」（仮題）		

活動分野	団体/個人	申請者名	申請事業名
舞踊	団体	Baobab	Baobab 第13回公演 Re:born project vol.2 『アンバランス』(仮)
		DANCE PJ REVO	DANCE PJ REVO ヨーロッパツアー公演
		一般社団法人ニポロール	Dance in ASIA 2021
		山麓	ギリシャ公演・aerowaves×YDC×KIAC: Exchange Program (仮)
		大駱駝艦/キャメルアーツ株式会社	「ゴールドシャワー」東京公演 (仮)
		OrganWorks	振付家育成講座 Terra Co. 成果公演 「Period#3」
美術・映像	団体	ひととひと	展覧会「女が5人集まれば血もわれる」(仮)
		一般社団法人nor	Creative Lebel nor 新作個展 syncrowd (仮称)
		宮永愛子展実行委員会	宮永愛子展「聖(ひじり)の空間」(仮)
	個人	寺田健人	企画展「人間臭さを勝ち取るための実践」(仮)
		松井えり菜	池袋モンパルナス(仮)
		アレクサンドル・タルバ	「バーチャルの具体性」
		平野利樹	London Design Biennale 2021 での「Reinventing Texture」インスタレーション作品展示
		白根昌和 (KAZ SHIRANE)	ヴェネツィア建築ビエンナーレ2021, TIME SPACE EXISTENCE
伝統芸能	団体	現代邦楽作曲家連盟	第34回現代邦楽作曲家連盟作品演奏会
		「囃子の響き～江戸の風便り～」実行委員会	囃子の響き～江戸の風便り～
		The 箏 Koto実行委員会	The 箏 KOTO 第2回 箏の技術革新
		一般社団法人伶楽舎	伶楽舎 子どものための雅楽コンサート2021
		東京神楽坂組合	第三十七回 神楽坂をどり
		お囃子ライブ	お囃子ライブvol.9
	個人	清虚洞一絃琴宗家四代 峯岸一水	一絃琴 楽仙から現代へ (仮)
		三遊亭遊馬	三遊亭遊馬独演会
		鏡味味千代	太神楽曲芸およびフランス語・英語落語 カナダツアー (仮)
複合	団体	一般社団法人もんでん	第7回両国アートフェスティバル2021
		ヌトミック	ヌトミック『JR常磐線下り列車』(仮)
		HB. Collective	À la fin du cher paysage / 愛しき景色の果てで
		シアターコモンズ実行委員会	シアターコモンズ'21
		亜細亜の骨	夢の物語 (仮)
		有限会社遊工房	「アイミタガイ」—東京・London若手作家AIR交換活動、その実践と評価・London編

令和2(2020)年度 東京芸術文化創造発信助成 単年助成第2期 採択結果の概要

●音楽分野

第1期に引き続き申請件数が昨年度の2倍に増加し、クラシック、ジャズ、現代音楽、複数の分野とのコラボレーションなど事業内容も多様になっています。全申請の約7割に当たる26件が初申請でした。継続的な事業については、当助成の基本方針「各ステージにおける助成方針」に照らして慎重に検討しました。なお、「国際的な芸術交流活動」での申請数が減少しているのは新型コロナウイルス感染拡大の影響と思われます。

●演劇分野

申請件数は第1期と同規模で、活動成熟期からの申請が最も多くおよそ4割を占めました。しかし採択の内訳としては活動基盤形成期と活動拡大発展期で8割に及び、そのほとんどが初申請です。また、「国際的な芸術交流活動」については申請件数は少なかったものの、活動基盤形成期、活動拡大発展期の団体が、それまでの活動や関係づくりの成果としてヨーロッパから招聘されたものが採択となりました。

●舞踊分野

第1期と比較すると申請件数は若干減少しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、海外招聘事業が少ない傾向は続いています。審査に当たっては、活動基盤形成期にある若手の将来性のある振付家・舞踊家の活動を積極的に評価するとともに、活動拡大・発展期、活動成熟期にある団体の事業も、海外での滞在制作・交流、若手育成の観点が見られる点などを評価し採択しました。また、舞踊界では若手振付家の育成が急務ですが、それに資する取り組みを行う事業も採択となりました。

●美術・映像分野

8割強が初申請で、展覧会形式の創造活動が多くを占め、その他に映画、建築、写真、デザイン、メディアアート、工芸、マンガ、フラワーアートと様々な表現領域から申請がありました。全体のほぼ半数が個人申請で、活動ステージ別では活動基盤形成期および活動拡大・発展期の申請が6割以上でした。社会的な視点を伴ったアーティストイニシアティブの活動に優れたものが多く、採択となりました。国際的な活動の申請件数は少し減りましたが、大型国際展に関わる意欲的な申請がありました。

●伝統芸能分野

申請件数が平均から4割程度減り、その内4分の3近くが初申請でした。また全体のほぼ半数が個人申請でした。申請種目は、雅楽、邦楽囃子、日本舞踊、創作邦楽、現代邦楽、太神楽、落語、複数種目を組み合わせたも

のなどで、今回は特に演芸分野からの申請が目立ちました。同時に、実績あるベテランによる伝統芸能の創造面での意欲的な活動も増えています。審査基準の「継承性」の面で優れた事業が多く、高い採択率になりました。

●複合分野（核となる分野を特定できない芸術活動）

複合分野は、15件の申請があり6件が採択となっています。申請内容は多岐に渡り、最新のテクノロジーを駆使した新たな表現作品や発表形態を目指すもの、能楽や神楽等の古典芸能や民俗芸能を現代芸術分野の表現に活かす試み、また、芸術表現を音、身体、生物等の表現以前の存在から問い直すような試みなど様々な企画がありました。核となる分野を特定し難い、複合分野ならではの水準の高い申請が多く、今後も芸術分野の枠を超えた独創的な企画に期待します。

長期助成 [助成事業対象期間：令和2（2020）年4月1日～令和4（2022）年6月30日（2年間）  
または令和2（2020）年4月1日～令和5（2023）年6月30日（3年間）]

活動分野	申請団体名	申請事業名
演劇	一般社団法人 shelf	交差／横断するテキスト：ミステリーとミスティカルのあいだで（仮） The Crossing Text: Between Mystery and Mystical
	一般社団法人チェルフィッチュ	ノン・ネイティブ日本語話者との協働プロジェクト（仮）
複合	有限会社 quinada	松井周の標本室
	一般社団法人オフィスアルブ	Echoes of Calling

令和2（2020）年度 東京芸術文化創造発信助成 長期助成 採択結果の概要

【長期助成プログラム】では、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスを含めて支援することで創造活動を促進するとともに、芸術団体のステップアップの後押しを目的に、2年間または3年間の継続的な支援を行います。また、芸術創造活動だけでなく、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動に対しても助成します。平成29年度からは、【長期助成プログラム】による支援を終了した団体を招いた活動報告会を実施するなど、本プログラムによる成果を広く発信することも試んでいます。

今年度は、申請件数24件に対して、採択件数は4件となりました。審査においては、公募ガイドラインに明記している助成の基本方針に照らし合わせ、採択事業を決定しました。

令和2（2020）年度実績

芸術文化による社会支援助成

申請件数：42件

採択件数：16件

交付決定総額：10,794千円

社会支援助成第1期 [助成事業対象期間：令和2（2020）年7月1日～令和3（2021）年6月30日]

申請団体名	申請事業名
knock-knock	ミュージアムに行こう
特定非営利活動法人シニア演劇ネットワーク	演劇関係者のためのバリアフリー講座「視覚障がい者への観劇サポート」
特定非営利活動法人みんなのダンスフィールド	ワーク・イン・プログレス【共創表現ファシリテーションに挑む】 -研究・創作・社会実践は循環してすすむ-
うたうははごころ	おとなが楽しむ親子演劇公演「歌え！踊れ！育て！ははごころの庭」
特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター	「クライメート・スピーク（Climate Speaks）」プログラム～気候危機を考える若者の詩作とパフォーマンス～
コドモチョウナイカイ事務局	デザインでつくる コドモチョウナイカイまつり2020「DESIGN-PIC 2」
一般社団法人あびラッキー	新しい表現：新しい生き方～障害のある人と高齢者の交流ワークショップを通して～（仮）
「抱っこ紐に次男、ベビーカーに長男」では無理ゲーなダンジョンの攻略方法	「抱っこ紐に次男、ベビーカーに長男」では無理ゲーなダンジョンの攻略方法
DA/LEDA	わたしのこもりうた
一般社団法人深川アートバラ	深川アートバラおしゃべりな芸術祭

令和2（2020）年度 芸術文化による社会支援助成 第1期 採択結果の概要

申請のあった27件のうち17件が初申請の団体によるものです。これまでと同様に、何らかの社会的障壁がある人たちの包摂を目指す取組が多い中、気候問題や地域振興の課題に向き合う取り組みも見受けられました。また、芸術家自身が社会課題に向き合うことで、その解決に資するとともに、新たな作品創造を目指す企画も増えてき

ています。審査にあたっては、設定された課題が現代日本社会で共有しうるものであることを前提に、その課題に対する企画内容の適合性を第一としつつ、先駆性や独創性、効果の広がり、継続的発展性などを総合的に判断し、採択事業を決定しました。

社会支援助成第2期 [助成事業対象期間：令和3（2021）年1月1日～12月31日]

申請団体名	申請事業名
特定非営利活動法人東京ソテリア	アルテ・エ・サルテ「マラー／サド」～日伊精神障害者共同演劇プロジェクト～
合同会社 Chupki	バリアフリー上映推進のためのアーカイブ構築とシンポジウムの開催
有限会社劇団銅鑼	劇団銅鑼公演『いのちの花』
一般社団法人ひとつながり	対人援助職による演劇ワークショップ ー演劇でコミュニティづくりー
Office Yokota	0才からのジャズコンサート 板橋
アルテナラ	アルテナラ世田谷2021

令和2（2020）年度 芸術文化による社会支援助成 第2期 採択結果の概要

申請のあった15件のうち10件が初申請の団体です。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、これまで比較的多かった参加・体験型事業の計画を立てにくい状況であることが、申請件数減に少なからず影響していると考えられます。審査にあたっては設定された社会課題に対する実施内容の適合性等を評価し、6件を採択しました。そのうち4件は、何らかの形で精神保健分野の支援を必要とする人の包摂を目指す取り組みを行う事業となっています。

令和2（2020）年度実績

東京地域芸術文化助成

申請件数：23件

採択件数：12件

交付決定総額：5,883千円

[助成事業対象期間：令和2（2020）年4月1日～令和3（2021）年3月31日]

	申請団体名	申請事業名
一次募集	「クラシック音楽を楽しむ街・荻窪」の会	第33回 荻窪音楽祭
	代々木果迺会	代々木果迺会別会「一之輔落語×竹灯笼能『石橋』」
	東京アートアンティーク 実行委員会	東京アートアンティーク2020 ～日本橋・京橋美術まつり
	下北沢音楽祭実行委員会	下北沢音楽祭
	せたがや梅まつり実行委員会	せたがや梅まつり
	阿佐谷ジャズストリート実行委員会	阿佐谷ジャズストリート2020
	飛鳥山薪能実行委員会	第18回飛鳥山薪能
二次募集	TOKYOシャンソンフェスティバル実行委員会	TOKYOシャンソンフェスティバル
	特定非営利活動法人キッズファン	第11回 子どものためのジャズコンサート & ソーシャル・カルチャー フェスティバル
	和文化継承委員会まほろば	あだち和の芸術祭
三次募集	下北沢映画祭実行委員会	第12回下北沢映画祭
	トロールの森実行委員会	野外xアートxまちなか トロールの森2020

令和2（2020）年度 東京地域芸術文化助成 採択結果の概要

一次募集では、無形民俗文化財活用事業として、その地域に古くから伝わる貴重な民俗芸能を、より広く一般の人々に公開し、親しんでもらうために続けられている事業の申請がありました。また、地域文化資源活用事業として、地域の人々に支えられながら開催を重ね、すでにその地域ならではの文化の醸成に寄与している事業や、芸術文化ならではの切り口で地域の魅力や特色を再発見することを目指す事業の申請がありました。審査にあたっては、当助成プログラムの基本方針に照らし、実現性に加え、地域性、発信力、継続的発展性を重視した上で、採択事業を決定しました。

二次募集では、全ての申請が「地域文化資源活用事業」でした。地域の人々が参加したり、地域の企業と提携したり、地域と一体となって開催を重ねて、すでにその地域ならではの文化の醸成に寄与している事業の申請がありました。審査にあたっては、当助成プログラムの基本方針に照らし、実現性に加え、地域性、発信力、継続的発展性を重視した上で、採択事業を決定しました。

三次募集では、「無形民俗文化財活用事業」としての申請はなく、全て「地域文化資源活用事業」での申請でした。

“地域の文化資源”に関しては、地域の人々がそこに継続的に関わり文化的な価値を醸成しているかどうかを考慮し、また当助成プログラムの基本方針に照らして、地域の振興への寄与、地域との連携、すでに地域に根付いた活動であるかどうか等を重視した上で、採択事業を決定しました。

※申請者名／申請団体名や申請事業名は申請時のものであり、変更になる場合があります。

# 8

## 東京芸術文化創造発信助成 【長期助成プログラム】活動報告会

### 【事業概要】

開催期間 令和2（2020）年8月19日（水）、9月25日（金）  
 会場 アーツカウンシル東京 会議室  
 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
 入場者数 計30人

### 【事業趣旨（目的）】

平成25（2013）年度より開始した東京芸術文化創造発信助成【長期助成プログラム】の助成対象事業を終了した助成採択団体による、公開型の活動報告会。助成採択団体の記録写真や動画、活動データの紹介を通して助成対象事業を振り返るプレゼンテーション、担当プログラムオフィサーとの対話形式による助成対象事業の成果の検証と紹介、団体の今後の展望の共有を図るとともに、長期助成プログラムの紹介と広報につなげた。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前申込の段階で入場制限を行った。

開催日	内容	参加者（人）
8/19	第9回 福島三部作と資金調達 【平成30（2018）年度採択：活動期間2年間】 DULL-COLORED POP 報告者： 谷賢一（演出家、翻訳家、劇団DULL-COLORED POP主宰）、小野塚央（福島三部作制作） 【第1部】 長期助成プログラムの概要について 活動概要の自己紹介と自己評価：分析 ○福島三部作の着想から取材、創作の経緯 ○作り手と制作者の連帯の重要性 ○活動基盤としての劇団運営 ○活動概要：2年間の活動全体の流れ、各年に取り組んだこと（資金調達・資金プラン） 【第2部】 ○担当プログラムオフィサーによる質問形式の進行 資金計画の立て方、資金提供者との関係構築 ○プロジェクトの成果 【助成対象活動の概要】 原発技術者の父と浪江町出身の母を持つ谷賢一は、福島原発事故について加害側でも被害側でもある意識から現地で2年にわたり福島の8市町村50人以上に取材を積み重ね、この福島三部作を生み出した。ある家族の肖像を通じて日本の戦後史50年を描いた作品として谷は岸田國士戯曲賞と鶴屋南北戯曲賞を受賞。休眠させていた劇団DULL-COLORED POPの復活公演でもあった。	16人
9/25	第10回 映画表現としてのライブ・パフォーマンス～プロジェクト「音から作る映画」と連続講座「映画以内、映画以後、映画境界」を振り返る～ 【平成27（2015）年度採択：活動期間3年間】 チャーム・ポイント 報告者：七里圭（チャーム・ポイント代表、映画監督）、高橋哲也（チャーム・ポイント副代表、ムービーカメラマン）、 棚沢努（チャーム・ポイント会計、映像ディレクター／プロデューサー） 【第1部】 長期助成プログラムの概要について 活動概要の自己紹介と自己評価：分析 ○映画と講座のメイキング映像の上映（活動1年目、2年目） 【第2部】 活動概要の自己紹介と自己評価：分析 ○映画と講座等のメイキング映像の上映（活動3年目）、作品一部上映 ○3年間の総括 【助成対象活動の概要】 映画制作の通常プロセスを逆転し、音（サウンド・トラック）から作り始めることで、映画という表現形式に組み込まれた他ジャンルの諸要素をアンパッキング。それらを映画と比較・検証しながら、再構築することで映画制作を行った。よって、電子音楽やボイス・パフォーマンス、ダンスや演劇、美術など様々なジャンルのアーティストとのコラボレーションが、ワーク・イン・プログレスとして発表された。その活動は、ライブ・パフォーマンスと映画制作の往還となり、3年の助成期間に、4本の新作上映作品および5本の劇場公開映画（長編）、2本の短編映像作品に結実し、海外のフェスティバル参加も実現した。また並行して、関連するテーマについての連続講座「映画以内、映画以後、映画境界」も多彩な論客を招いて11回催し、その議論を制作にフィード・バックするとともに、最終年度には総勢8人のゲスト・パネラーが登場してのシンポジウムを二夜にわたり開いた。	14人

## 【参加者の声】

### 【第9回】

- ・助成金制度について具体的な話が聞けて良かった。運営や経理の数字が知れて良かった。
- ・福島三部作という長編とそれぞれに纏わる資金調達について、一つのケーススタディとしてとても興味があった。
- ・改めて福島三部作を振り返ることができ良い時間であった。

### 【第10回】

- ・とても興味深い内容だった。七里監督は最後は映画に落とし込まれるのかと思っていたが、そうではないような。過程の中では音楽のように感じる瞬間が多かったように個人的には思った。
- ・映画表現の分野の中で新しい表現としての取り組みを伺うことができとても勉強になった。配布された冊子がとても参考になった。
- ・昨年の早稲田小劇場どらま館での「清掃する女」を見に行き、その時「映画以内、映画以後、映画辺境動画」の冊子を買って内容がすごく面白かったので、報告会に参加した。今まで観れていなかった活動の映像など観れて良かった。
- ・アンパッキングして各々のアーティストのライブパフォーマンスを観てもらおうと、もはや映画は監督の意向が介在するにせよ、記録にとどまってしまうのかなと思った。

## 9 「アートにエールを！東京プロジェクト（個人型）」

### 【事業概要】

募集期間	令和2（2020）年5月15日（金）～31日（日）、6月23日（火）～24日（水）
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
広報協力	公益財団法人セゾン文化財団、アジアン・カルチュラル・カウンシル
応募人数	27,249人（募集人数：20,000人）
企画応募	件数7,955件 人数19,278人
動画掲載	件数7,701件 人数18,924人
出演料相当支払人数	18,924人
公式ウェブサイト	<a href="https://cheerforart.jp/">https://cheerforart.jp/</a>

### 【事業趣旨（目的）】

文化の灯を絶やさないための対策として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、活動を自粛せざるを得ないプロのアーティストやスタッフ等が制作した作品をウェブサイト上に掲載・発信する機会を設けることにより、アーティスト等の活動を支援するとともに、在宅でも都民が芸術文化に触れられる機会を提供する。

### 【開催状況】

プロとして芸術文化活動に携わるアーティスト、クリエイター、スタッフ等の個人の方々から、自由な発想を基にした動画作品を募集し、公式ウェブサイトで配信した。また、制作に携わったアーティストやスタッフ等に出演料相当として1人あたり10万円を支払った。

### 【参加者の声】

- ・ コロナ禍で苦しい状況でしたが、少しでも活動の場や今後のための支援をいただき大変有難かったです。
- ・ コロナ禍における文化芸術活動のひとつの形を提示していただき感謝しています。
- ・ 動画を作るという機会をいただいたため、普段仕事では交流する事のないアーティスト同士で、それぞれの専門分野を担当し、新たな交流関係が生まれました。

# 10 芸術文化活動支援事業 「アートにエールを！東京プロジェクト（ステージ型）」

## 【事業概要】

募集期間	令和2（2020）6月29日（月）～7月10日（金）
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
応募件数	1,465件
採択件数	300件
公式ウェブサイト	<a href="https://cfa-stage.jp/">https://cfa-stage.jp/</a>

## 【事業趣旨（目的）】

文化の灯を絶やさないための対策として、新型コロナウイルス感染症対策の段階に応じて、劇場・ホール等を利用した無観客や入場制限のある公演等の制作および配信により、新しい日常における自律的な創作活動を支援するとともに、都民が在宅で芸術文化に触れる機会を提供する。

## 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた公演が中止・延期となった団体を対象として、劇場・ホール等を利用して無観客や入場制限により開催する公演等の作品の企画を募集。外部有識者等による企画審査を行い、採択された企画に基づく公演等に対して、制作支援金を支払うとともに、その公演等を専門事業者により動画撮影・編集する支援を行った。完成した動画はインターネットを利用し無料で配信した。

## 【支援内容】

- ① 公演等の制作支援金として、企画1件につき200万円を支払う。
- ② 動画撮影・編集に係る手配および費用負担を「『アートにエールを！東京プロジェクト（ステージ型）』事務局」が行う。

## 【参加団体からの声】

- ・感染症対策を取り安全を確保しながら公演を実施するノウハウができたので、今後の公演実施において非常に役立つ経験となった。また、当楽団としては初めて本格的に公演の撮影をする機会となり、映像制作の意義、魅力、注意点などもわかり、今後の配信事業に活かしていきたい。
- ・本事業で支援金をいただき無事公演を開催でき、感謝の思いでいっぱいです。闇の中で一筋の光を見た思いでした。文化が消滅していく危機を乗り越えることができた実感しております。
- ・本事業を通して映像を記録物として発表することが出来、結果的にキャパシティを大幅に超え、数万人の方々へ映像を通してパフォーマンスを表現できた。
- ・通常は毎回毎回が一発勝負のライブ演奏であるが、収録して記録に残るということは、演奏者へのプレッシャーも大きかった一方、緊張感の高い時間となり充実した演奏会になった。さらに、本事業を通して繰り返し聴くことができるアーカイブになったことは、大きな成果である。
- ・「無観客公演」「配信公演」「YouTubeに動画を載せる」すべてが今回初めてでした。「アートにエールを！」での配信により、多くの人々に存在を知ってもらえると感じ、とても有意義なことと感じています。

# 11

## 伝統芸能公演

### 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年5月23日（土）、24（日）、8月1日（土）、2日（日）、19日（水）、12月6日（日）、令和3（2021）年3月28日（日）
会場	国立劇場 大劇場、狛江エコルマホール、明治座
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
助成・協力	東京都
入場者数	666人

### 【事業趣旨（目的）】

伝統芸能の活性化・普及およびその魅力を幅広く国内外に発信することを目的として、多様なジャンルの伝統芸能を取り上げ、若者や外国人など伝統文化・芸能に馴染みのない層にその魅力を知り楽しんでもらうよう、初心者にもわかりやすく、その魅力を様々な角度や切り口から紹介する。

### 【開催状況】

「大江戸寄席と花街のおどり その十」は新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、令和2年6月の実施を令和3年3月に延期し、収容定員の50%以内にて実施した。その他のプログラムは、新型コロナウイルス感染症の拡大を踏まえ、中止とすることとした。

開催日	公演名	会場	曲目等	出演者等	入場料(円)	入場者(人)
3/28	大江戸寄席と花街のおどり その十 <sup>*1</sup>	明治座	【第一部】 大江戸寄席 和太鼓 太神楽 落語  【第二部】 花街のおどり 花鳥風月～御座敷玉手箱～ 「木遣りくずし」 「ざわぎ」ほか	葛西聖司  【第一部】 坂本雅之 鏡味千代 柳家権太楼  【第二部】 赤坂芸者連中、浅草芸者連中、神楽坂芸者連中、新橋芸者連中、向島芸者連中、芳町芸者連中、櫻川米七	S席 5,000 A席 4,000 学生 2,000	666

※1：制作：株式会社明治座

### 中止プログラム

日時	公演名	会場
5/23、24	<言葉～ひびく～身体Ⅱ> <sup>*1</sup> 「今を生きる」—現前する舞と生—	国立劇場 大劇場
8/1、2	伝統芸能の饗宴 <sup>*1</sup>	国立劇場 大劇場
8/19	日本の心～吟と剣詩舞～ <sup>*2</sup>	国立劇場 大劇場
12/6	第21回多摩川流域郷土芸能フェスティバル <sup>*3</sup>	狛江エコルマホール

※1：国立劇場共催公演事業<言葉～ひびく～身体Ⅱ>「今を生きる」—現前する舞と生—  
「伝統芸能の饗宴」

主催：独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場）

※2：伝統芸能普及公演「日本の心～吟と剣詩舞～」

※1、2は「東京芸術祭 2020 連携事業」として実施

※3：第21回多摩川流域郷土芸能フェスティバル

主催：多摩川流域郷土芸能フェスティバル実行委員会

### 【参加者の声】

#### ●大江戸寄席と花街のおどり その十

- ・六つの花街の芸者さんを一度に拝見でき、幸せです。寄席の雰囲気も素敵で良かったです！！それぞれの街の踊りをもっと見たかったです。日本人に向けてまずこのようなイベントをどんどんすべきだと思います。花街がもっと栄えることを祈っております。（30代・女性）
- ・舞台を観る事があまりないので、感激しました。葛西様のお話しぶりも素晴らしかったです。（60代・男性）
- ・太神楽を舞台上で見たのは初めてでしたので、素晴らしさにとても感激致しました。（60代・女性）
- ・なかなか見る事のできない芸者衆の唄や舞を生で見る事ができ楽しかった。また見たいです。大江戸寄席も楽しかった。（70代以上・女性）

# 12

## 伝承のたまてばこ ～多摩伝統文化フェスティバル2020～

### 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年5月16日（土）、17日（日）、30日（土）、31日（日）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、八王子市、 公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団
共催	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
助成・協力	東京都
後援	立川市、三鷹市、府中市、昭島市、町田市、日野市、日野市教育委員会、東村山市、福生市、狛江市、多摩市、羽村市、あきる野市、あきる野市教育委員会、西東京市、瑞穂町、日の出町、日の出町教育委員会、八王子市町会自治会連合会、八王子商工会議所、公益社団法人八王子観光コンベンション協会、八王子市商店会連合会、西放射線ユーロード
協力	公益財団法人立川市地域文化振興財団
事業協力	東京都立大学茶道研究会、八王子織物工業組合
会場	JR八王子駅北口付近 (西放射線ユーロード、三崎町公園、中町公園、横山町公園、いちようホール) TAKAO599MUSEUM、高尾登山電鉄ケーブルカー「清滝駅」前ステージ
料金	無料（一部参加費あり）

### 【事業趣旨（目的）】

八王子市をはじめとする多摩地域が保有する地域の文化資源を活用して、まちなかでの演奏会や野外ステージを舞台にした本格的な公演など、多彩な伝統文化・芸能の魅力を発信するフェスティバルの開催を通じて、伝統文化に馴染みのない人々が親しめる工夫を凝らしたプログラムを提供するとともに、伝統文化の新たな鑑賞者の獲得や担い手を育成することにより、多摩地域の伝統文化・芸能を次世代へ継承することを目的に実施。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止することとなった。

## 13

## 東京大茶会2020

## 【事業概要】

開催日 令和2（2020）年10月3日（土）・4日（日）、10月17日（土）・18日（日）  
 会場 江戸東京たてもの園、浜離宮恩賜庭園  
 主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

## 【事業趣旨（目的）】

様々な流派による伝統的な茶席や野点のほか、親子で体験できる茶道教室、英語で解説をする野点、日本の伝統文化を楽しめるステージイベントやパフォーマンスを実施するなど、誰でも気軽に参加できる大規模な茶会を開催することにより、伝統ある茶文化を広く都民に普及し、また、東京を訪れる観光客に、「お茶の文化」とそれを育んできた「江戸・東京の文化」を紹介する。

## 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止することとなった。

## 中止プログラム

開催予定日	会場
10/3、4	江戸東京たてもの園
10/17、18	浜離宮恩賜庭園

# 14

## 神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2020

### 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年12月25日（金）より映像配信開始
会場	映像配信（神楽坂まち舞台・大江戸めぐり公式YouTubeチャンネル）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 粋なまちづくり倶楽部
助成・協力	東京都
共催	新宿区
後援	一般社団法人新宿観光振興協会
協力	東京神楽坂組合、毘沙門天善國寺、赤城神社、株式会社粋まち、神楽坂通り商店会、神楽坂商店街振興組合、観世九臈会・矢来能楽堂、セッションハウス、江戸東京ガイドの会、光照寺、圓福寺、若宮町自治会、東京都消費生活総合センター、法政大学、東京理科大学、あずさ監査法人、第一勧業信用組合 神楽坂支店、熊谷組、スターバックス コーヒー 神楽坂下店、高齢者福祉施設 神楽坂、音楽之友社、日本ヘルマンハーブ神楽坂店、ちかけん、マインド
視聴料	無料
総視聴数	21,052回（3月31日時点）

### 【事業趣旨（目的）】

神楽坂エリア一帯を地域の文化資源として活用し、伝統芸能に馴染みのない初心者や若年層、外国人（観光客、在住者）にも気軽に参加できる構成と内容で、日本の伝統芸能や文化に親しむ端緒となることを目的とした伝統芸能の屋外型フェスティバルを実施。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症の拡大の状況を踏まえ、代替プログラムとして、神楽坂の街と伝統芸能にスポットを当てて紹介する4本の映像を配信。

配信日	プログラム名	アーティスト名	内容	視聴数（回）
12/25～	① 毘沙門天と赤城神社 編	神田鯉栄（講談）	毘沙門天善國寺と赤城神社から、毘沙門天善國寺住職と新宿区長へのインタビューを交えながら、神楽坂の魅力を紹介。	3,981 ※(616)
	② 花街・神楽坂と“流しの芸能”編	鳥羽屋里夕（長唄三味線）	新内節の鶴賀伊勢吉による演奏や、花街ならではの座敷遊びの様子を紹介。	5,184 ※(1,123)
	③ 神楽坂を歩く 編	シリル・コピーニ（落語パフォーマンス）	歴史ガイドによる名所旧跡の案内や、セッションハウス、矢来能楽堂、地元商店会からのメッセージを紹介。	3,187 ※(851)
	④ 神楽坂で奏でる 編	玉川奈々福（浪曲）	過去のライブの様子や、赤城神社宮司へのインタビューを収録。	5,346 ※(764)

※英語版

# 15

## プレミアムコンサート～未来へのハーモニー～

### 【事業概要】

**開催期間** 令和2（2020）年9月20日（日）～令和3（2021）年3月17日（水）  
**会場** 都内6地域  
**主催** 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
**入場者数** 2,020人

### 【事業趣旨（目的）】

子供から大人まで幅広い方々にクラシック音楽を身近に楽しんでいただくため、観客参加・体験型のオーケストラ公演やアンサンブル公演を、“首都東京の音楽大使”である東京都交響楽団が多摩・島しょ地域で開催する。また、東京2020オリンピック・パラリンピックを文化五輪としても盛り上げていけるよう気運の醸成を図る。

### 【開催状況】

当初は5月から実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、9月から開始し、体験プログラムは行わないなど、万全の感染症対策を講じて、多摩地域で6公演（オーケストラ5公演、アンサンブル1公演）を実施した。

開催日	公演名/会場	出演	曲目	入場者(人)
9/20	立川公演 たましんRISURUホール (立川市市民会館) 大ホール 共催：立川市	指揮：梅田俊明 司会：江原陽子 管弦楽：東京都交響楽団	今井光也：東京オリンピック・ファンファーレ（1964） モーツァルト：歌劇『劇場支配人』序曲 K.486 メンデルスゾーン：序曲《フィンガルの洞窟》op.26 モーツァルト：交響曲第38番ニ長調 K.504《ブラハ》 (アンコール) モーツァルト：ディヴェルティメント ニ長調 K.334 (320b) より「メヌエット」	361
9/21	武蔵野公演 武蔵野市民文化会館 大ホール 共催：公益財団法人武蔵野文化事業団	指揮：梅田俊明 司会：江原陽子 管弦楽：東京都交響楽団	今井光也：東京オリンピック・ファンファーレ（1964） モーツァルト：歌劇『劇場支配人』序曲 K.486 メンデルスゾーン：序曲《フィンガルの洞窟》op.26 モーツァルト：交響曲第38番ニ長調 K.504《ブラハ》 (アンコール) モーツァルト：ディヴェルティメント ニ長調 K.334 (320b) より「メヌエット」	418
12/20	西東京公演 西東京市保谷こもれびホール メインホール 共催：西東京市保谷こもれびホール指定管理者	指揮：和田一樹 司会：朝岡聡 管弦楽：東京都交響楽団	今井光也：東京オリンピック・ファンファーレ（1964） モーツァルト：歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』序曲 K.588 シューベルト：劇付随音楽《ロザムンデ》D797 より 間奏曲第3番 メンデルスゾーン：交響曲第4番 イ長調 op.90《イタリア》 (アンコール) モーツァルト：歌劇『フィガロの結婚』序曲 K.492	246
2/6	府中公演 府中の森芸術劇場 どりーむホール 共催：公益財団法人府中文化振興財団	指揮：阿部未来 司会：朝岡聡 管弦楽：東京都交響楽団	今井光也：東京オリンピック・ファンファーレ（1964） ボロディン：交響詩《中央アジアの草原にて》 ドヴォルザーク：交響曲第9番 小短調 op.95《新世界より》 (アンコール) ドヴォルザーク：スラヴ舞曲第10番 op. 72-2 小短調	551
2/7	福生公演 福生市民会館大ホール (もくせいホール) 共催：福生市民会館	指揮：阿部未来 司会：朝岡聡 管弦楽：東京都交響楽団	今井光也：東京オリンピック・ファンファーレ（1964） ボロディン：交響詩《中央アジアの草原にて》 ドヴォルザーク：交響曲第9番 小短調 op.95《新世界より》 (アンコール) ドヴォルザーク：スラヴ舞曲第10番 op. 72-2 小短調	343
3/17	瑞穂町公演 瑞穂ビューパーク・スカイホール 大ホール 共催：瑞穂町教育委員会	東京都交響楽団メンバーによる木管五重奏 フルート：柳原佑介 オーボエ：広田智之 クラリネット：勝山大輔 ファゴット：岡本正之 ホルン：和田博史	ハイドン：ディヴェルティメント フォスターメドレー ＜故郷の人々(スワニー河)～おおスザンナ～夢路より～オールド・ブラック・ジョー～草競馬＞ 日本の歌メドレー ～四季折々のうた～ ＜道生の宿～花～さくらさくら～茶摘み～我は海の子～もみじ～赤とんぼ～雪～ベチカ～早春賦～ふるさと＞ ロジャース：『サウンド・オブ・ミュージック』セレクション (アンコール) ブーランク：NOVELETTE	101
計				2,020

### 中止プログラム

開催予定日	公演名/会場
5/12	羽村公演 羽村市生涯学習センターゆとりぎ 大ホール 後援：羽村市教育委員会
2/23	奥多摩町公演 奥多摩文化会館 2階視聴覚室 共催：奥多摩町教育委員会
3/3	檜原村公演 檜原村やすらぎの里 3階多目的ホール 共催：檜原村、檜原村教育委員会

開催予定日	公演名/会場
3/21	日の出町公演 日の出町やまびこホール 共催：日の出町、日の出町教育委員会

## 【参加者の声】

### ●オーケストラ公演

- ・ 久々の本格的なクラシックでものすごい楽しめました。演奏の質はもちろん素晴らしく、更に生で近くで聴けて感動しました！1時間という短いコンサートでしたが、5歳の娘を連れていたので、とてもちょうど良い長さでした。娘のクラシックコンサートデビュー（子供向け以外で）としては最高でした！4歳以上から入場できるのがとてもありがたいです！（立川公演）
- ・ コロナ禍のなか、開催していただきありがとうございます。大変なご苦労があったことと思います。明るい未来を感じられる数少ない機会で、音に心を救われたような気がします。（武蔵野公演）
- ・ コロナ禍での開催ありがとうございました。対策もしっかりしており安心してゆったりした気持ちでいられました。本物を聞くことの大切さを痛感し、やはり子供たちにも是非聞かせたいと思いました。司会の役割もとても大切なのだとはじめて感じ、お陰でいろんなワールドへ飛べました。（西東京公演）
- ・ 生の演奏は大変迫力がありとても楽しませていただきました。コロナ禍で、なおかつ足の不自由な主人と外出がままならない中、近隣でこのような演奏会があり本当に嬉しく幸せでした。（府中公演）
- ・ コロナ禍の中、本格的なクラシックコンサートを楽しむことができました。大変にありがとうございました。しっかりした感染防止対策、無料招待にも拘らず丁寧な場内案内・誘導を頂き 深謝申し上げます。演奏の素晴らしさとともに、朝岡さんの的確で楽しい司会と解説、大いに楽しませていただきました。（福生公演）

### ●アンサンブル公演

- ・ とても素敵な音にあふれていて、幸せな時間でした。ありがとうございました。しばしすべてを忘れ引き込まれてしまいました。ありがとうございました。（瑞穂町公演）
- ・ 曲の流れ、構成大変素晴らしかった。心にじんときて、最高の皆様の演奏でした。癒されました。今までで一番楽しかったです。（瑞穂町公演）

# 16

## Music Program TOKYO

### 【事業概要】

**開催期間** 令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月  
**会場** 東京文化会館 ほか  
**主催** 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化会館・アーツカウンシル東京  
**助成** 文化庁文化芸術振興費補助金（劇場・音楽堂等機能強化推進事業）  
 独立行政法人日本芸術文化振興会  
**入場者数** 延べ22,693人

### 【事業趣旨（目的）】

世界的な芸術文化都市東京として、音楽文化の活性化を目指し、「創造性」と「参加性」を柱とした多様な事業を年間を通して一体的に展開する音楽プログラム。クラシック音楽を基軸にしつつ、様々な分野のアーティストや文化施設等と連携して多彩なコンサートを実施する《Enjoy Concerts!》、海外の教育普及機関などと連携した《Workshop Workshop!》、そのほかの教育普及プログラムを《Music Education Program》として開催することで、東京の音楽文化に刺激を与え、世界に向け発信する。

### 【開催状況】

#### 1. Enjoy Concerts!

##### (1) 小曾根 真“Jazz meets Classic”

共催：公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団（オリンパスホール八王子公演）

開催日	会場	出演者	プログラム	料金(円)	入場者(人)
7/25	東京文化会館 大ホール	ピアノ：小曾根真 指揮：太田弦	モーツァルト：ピアノ協奏曲第23番 イ長調 K488 小曾根真：ピアノ協奏曲「もがみ」	S席：5,500 A席：4,400 B席：3,300	629
7/26	オリンパス ホール八王子	管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団		25歳以下： 1,100	340
				計	969

##### (2) プラチナ・シリーズ

第3回は新型コロナウイルス感染拡大に伴う出演者の入国制限による来日中止に伴い、中止することとなった。

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金(円)	入場者(人)
7/25	東京文化会館 小ホール	第1回 小山実稚恵 ～名手が奏でる 円熟のピアノイズム～	ピアノ：小山実稚恵	モーツァルト：J.P. デュボールのメヌエットによる9つの変奏曲 二長調 K.573 シューベルト：即興曲 変イ長調 Op.142-2 シヨパン： ノクターン第20番 嬰ハ短調「レント・コン・グラン・エスプレッショネ」(遺作) ノクターン第21番 ハ短調 (遺作) アンダンテ・スピナートと華麗なる大ポロネーズ Op.22 ほか	【5回セット券】 S席：24,750 A席：19,800  【1回券】 S席：5,500 A席：4,400 B席：2,750 25歳以下： 1,100	295
10/16		第2回 安倍圭子 ～歩み続けるマリンバ界のバイオニア～	マリンバ：安倍圭子、 藤井里佳、 中村友子 ピアノ：今井顕	安倍圭子： 古代からの手紙 祭りの太鼓 コンチェルティーノ 山をわたる風の詩～マリンバ・デュオと弦楽合奏のための～ 鯨によせる詩～テツポ・ハウタ＝アホ制作テープによる～ コンチェルティーノ ザ・ウェーブ～マリンバ・トリオと吹奏楽のための～ ほか		450
11/18		第3回 ウィーン・ニコライ弦楽四重奏団 ～ベートーヴェン生誕250年によせて～	-	-		-
12/11		第4回 小野リサ ～プレミアム・ボサノヴァ・ナイト～	ヴォーカル/ギター： 小野リサ ピアノ：フェビアン・ レザ・バネ チェロ：伊藤ハルトシ	イバネマの娘 チサフィナード 波 メモリア・イ・ファド Happy Life 愛の讃歌 オ・ソレ・ミオ ワン・ノート・サンバ マッシュ・ケ・ナーダ カンサオン・ダ・プレチーニャ ほか		479

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金(円)	入場者(人)
2/13	東京文化会館 小ホール	第5回 フランチェスコ・メーリ ～世界を魅了するテノール～	テノール：フランチェスコ・メーリ ピアノ：浅野菜生子	ロッシーニ：「音楽の夜会」より「約束」 ルイーダ・マイオ：アルケミケランジョレスカ【世界初演】～ミケランジェロの 火、風、地、水の詩によせて～ トステイ：最後の歌／理想の人／君なんかもう愛していない／魅惑／夢 ジョルターノ：オペラ『フェドラー』より「愛さずにはいられぬこの想い」 ブッチーニ：オペラ『トスカ』より「星は光りぬ」ほか	【5回セット券】 S席：24,750 A席：19,800  【1回券】 S席：5,500 A席：4,400 B席：2,750 25歳以下： 1,100	592
計						1,816

(3) シャイニング・シリーズ

Vol.7は当初は5/28に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況を受け、6/28に実施した。  
また、シャイニング・シリーズの実施に備え、6/22にシャイニング・シリーズシミュレーションを実施した。

開催日	会場	公演名	出演者	プログラム	料金(円)	入場者(人)
6/22	東京文化会館 大ホール	シャイニング・シリーズ シミュレーション			無料	22
6/28	東京文化会館 大ホール	Vol.7 東京音楽コンクール入賞者による「テノールの響宴」	テノール：村上敏明、与儀巧、宮里直樹、小堀勇介 ピアノ：江澤隆行	ロッシーニ：オペラ『泥棒かささぎ』より「おいで、この腕の中に」 ドニゼッティ：オペラ『愛の妙薬』より「人知れぬ涙」 ジョルターノ：オペラ『アンドレア・シェニエ』より「ある日、青空を眺めて」 ブッチーニ：オペラ『ラ・ボエーム』より「冷たき手を」 プロドスキー：ビー・マイ・ラブ デ・クルティス：帰れソレントへ 忘れな草 ララ：グラナダ ヴェルディ：オペラ『リゴレット』より「女心のうた」ほか	指定：3,300 25歳以下： 1,100	527
2/3	東京文化会館 小ホール	Vol.8 宮田大(チェロ)・三浦一馬(バンドネオン)デュオ・リサイタル	チェロ：宮田大 バンドネオン：三浦一馬	J.S.バッハ：ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ 長調 BWV1027 第1楽章 ヘンデル：オペラ『リナルド』より「涙の流れるままに」 サマー：Julie-O バルトーク：ルーマニア民俗舞曲 ガルデル：わが懐かしのブエノスアイレス ピアソラ：『タンゴの歴史』より「カフェ1930」 ピアソラ：リベルタンゴ ほか	指定：3,300 25歳以下： 1,100	523
計						1,072

(4) 3歳からの楽しいクラシック

開催日	会場	出演者	プログラム	料金(円)	入場者(人)
11/7	東京文化会館 小ホール	ピアノ：白石光隆 オーボエ：副田真之介 ファゴット：大内秀介 語り：堤札実(フジテレビアナウンサー)	ムソルグスキー：組曲『展覧会の絵』より「プロムナード」 アンダーソン：タイプライター デュカス(副田真之介編曲)：交響詩『魔法使いの弟子』ほか	指定：550	547
計					547

(5) まちなかコンサート～芸術の秋、音楽さんぽ～

共催：国立国会図書館国際子ども図書館（10/25 国立国会図書館国際子ども図書館）

協力：株式会社ヤマハミュージックジャパン（10/11東京文化会館キャノピー）

10/10は台風の影響により中止することとなった。

開催日	会場	編成	出演者	料金(円)	鑑賞者(人)
9/19	東京文化会館 大ホールホワイエ	【弦楽四重奏】 13:00～13:20、14:00～14:20 【メゾソプラノ&バリトン】 15:00～15:20、16:00～16:20	【弦楽四重奏】 ヴァイオリン：吉江美桜 ヴァイオリン：高宮城凌 ヴィオラ：鈴木大樹 チェロ：村井智 【メゾソプラノ&バリトン】 メゾソプラノ：高橋華子 バリトン：大沼徹 ピアノ（キーボード）：江澤隆行	無料	295
9/21	東京文化会館 大ホールホワイエ	【トリオダンシュ】 13:00～13:20、14:00～14:20 【ソプラノ&メゾソプラノ】 15:00～15:20、16:00～16:20	【トリオダンシュ】 ファゴット：鈴木一成 オーボエ：崎本絵里菜 クラリネット：齋藤雄介 【ソプラノ&メゾソプラノ】 ソプラノ：今井実希 メゾソプラノ：中川香里 ピアノ（キーボード）：高山真由香		388
9/26	東京文化会館 キャノピー	【フルート三重奏】 10:30～10:50、11:30～11:50	フルート：多久和怜子、泉真由、杉山翼		371
9/27	東京文化会館 キャノピー	【金管五重奏】 10:30～10:50、11:30～11:50	トランペット：多田将太郎、中村諒 ホルン：小田原瑞輝 トロンボーン：上田智美 チューバ：柳生和大		492
10/10	東京文化会館 キャノピー	【ピアノ・ソロ】	—		—
10/11	東京文化会館 キャノピー	【ピアノ・ソロ】 13:00～13:20、14:00～14:20	ピアノ：黒岩航紀		1,586
	東京文化会館 大ホールホワイエ	【ピアノ・ソロ】 15:00～15:20、16:00～16:20	ピアノ：深貝理紗子		
10/24	東京文化会館 キャノピー	【金管五重奏】 10:30～10:50、11:30～11:50	トランペット：守岡未央、野呂紀之 ホルン：堀風翔 トロンボーン：東川暁洋 チューバ：喜名雅		853
10/25	国立国会図書館国際子ども図書館 レンガ棟3階ホール	【木管五重奏】 13:00～13:40、15:00～15:40	フルート：伊藤優里 オーボエ：藤本茉奈美 クラリネット：森卓也 ファゴット：栗林愛理 ホルン：田中みどり		94
11/1	東京文化会館 キャノピー	【トロンボーン四重奏】 10:30～10:50、11:30～11:50	トロンボーン：高瀬新太郎、藤田麻里奈、住川佳祐、菅原薫		651
11/3	東京文化会館 大ホールホワイエ	【チェロ四重奏】 12:30～12:50、13:30～13:50 【ソプラノ&バリトン】 14:30～14:50、15:30～15:50	【チェロ四重奏】 チェロ：藤原秀章、グレイ理沙、石崎美雨、安保有乃 【ソプラノ&バリトン】 ソプラノ：上田純子 バリトン：高橋洋介 ピアノ（キーボード）：河原義	701	
計					5,431

2. Workshop Workshop!

(1) 国際連携企画

① ワークショップ・リーダー育成プログラム

共催：文京シビックホール（公益財団法人 文京アカデミー）、公益財団法人 調布市文化・コミュニティ振興財団

後援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

協力：株式会社ヤマハミュージックジャパン

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うカーザ・ダ・ムジカの入国制限による来日中止に伴い、中止することとなった。

開催期間	会場	講師	対象	料金(円)	参加者(人)
7/21～ 12/19	東京文化会館、文京シビックホール、調布市グリーンホール ほか	—	—	—	—
計					—

②東京文化会館ミュージック・ワークショップ  
 後援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会  
 協力：株式会社ヤマハミュージックジャパン

当初4/12、4/29、5/17、6/7に実施予定であったワークショップは新型コロナウイルス感染症の拡大の状況を受け、9/20、10/4、9/13、12/6に実施した。また、6/19にワークショップ・コンサートの実施に備え、ワークショップ・コンサートシミュレーションを実施した。

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー、出演者	対象	料金(円)	参加者(人)
6/19		ワークショップ・コンサート シミュレーション		劇場関係者	無料	41
6/20	東京文化会館 小ホール	ワークショップ・コンサート 海の中間の音楽会～ふしぎな 宝箱のみみつ～	磯野恵美、櫻井音斗、桜井しおり、 野口綾子、吉澤延隆	6か月～3歳	550	52
	3～6歳(未就学児)			44		
6/21	19か月～4歳			59		
				5歳～大人		41
8/10	東京文化会館 リハーサル室	めざせ！おんがく忍者！[簡 単な手話付き]	たかせみお、野口綾子	3～6歳(未就学児)		12
		めざせ！おんがく忍者！/ NinJapan[英語で実施]		4歳～小学校低学年		20
	東京文化会館 小ホール	はじめましてクラシック～ト ランペット三重奏～	塚本江里子、多田将太郎、川村大、 重井吉彦、栗根祐人	6か月～6歳(未就学児)と保護 者およびその家族		170
		One Day セッション	櫻井音斗、桜井しおり、古橋果林、 吉澤延隆	小学生～大人		16
9/6		動物たんてい～かくれている のは、だあれだ？～	磯野恵美、桜井しおり	6～18か月		31
				19～35か月		27
		チーズを探せ！くいしんぼう ネズミ！	澤田知世、古橋果林	5～6歳(未就学児)		14
				3～4歳		12
		パピペポット	安音めぐみ、前田啓	3～4歳		18
9/13		森の王様のフェスタ	磯野恵美、野口綾子	6～18か月		21
				19～35か月		27
		リズムカル・キッチン	磯野恵美、野口綾子、古橋果林	小学生～大人		10
9/20		タネまき、タネまき、大きく なあれ！	高田有香子、吉澤延隆	19～35か月		25
				3～4歳		34
		ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	小学生～大人		14
10/4		サーシャのみみつの贈りもの	桜井しおり、澤田知世	3～4歳		18
				5～6歳(未就学児)		10
		One Day セッション	櫻井音斗、桜井しおり、澤田知世、 塚本江里子、山橋司	小学生～大人		15
10/25		とびだせ！おんがくたんけん 隊	桜井しおり、野口綾子	3～4歳		24
				4歳～小学校低学年		24
		とびだせ！おんがくたんけん 隊[簡単な手話付き]				
		アンサンブル喫茶へようこ そ！～本日のメニュー：ペ トーヴェン～	磯野恵美、桜井しおり	50歳以上 (20歳以上も参加可)		12
11/12	東京文化会館 リハーサル室	Shall we シング？	高田有香子、渡辺明子、稲垣領子	50歳以上 (20歳以上も参加可)		15
11/23		咲かせよう！音楽の花	安音めぐみ、渡辺明子、Sunny	19～35か月		27
				3～4歳		22
		One Day コーラス	塚本江里子、野口綾子、平山佳奈、 古橋果林	小学生～大人		15
12/6		音のアトリエ	坂本夏樹、櫻井音斗	3～4歳		24
				小学校低学年		4
		Shall we シング？	高田有香子、渡辺明子、稲垣領子	50歳以上 (20歳以上も参加可)		9
1/23		ハッピーとおともだち	野口綾子、渡辺明子、Sunny	19～35か月		16
				3～4歳		22
		パ！パ！パ！パーカッショ ン！	櫻井音斗、前田啓	小学生～大人		10
2/7		ワークショップ・コンサート アメリカン☆パーティー	櫻井音斗、桜井しおり、澤田知世、 古橋果林、山橋司、高橋浩明	3～4歳		46
				4～6歳(未就学児)と保護者お よびその家族(小学生～大人も参 加可)		46
3/7		パピペポット	安音めぐみ、前田啓	6～18か月		33
		パピペポット/Pa-Pi-Pu- Pe-Pot[英語で実施]		4歳～小学校低学年		19
		はじめましてクラシック～ ヴァイオリン&コントラバス &ピアノ～	澤田知世、坪井夏美、白井菜々子、 中山瞳	4～6歳(未就学児)と保護者お よびその家族(小学生～大人も参 加可)		38
					計	1,137

③ミュージック・ワークショップ・フェスタ<夏>

共催：文京シビックホール（公益財団法人文京アカデミー）

後援：ポルトガル大使館

協力：株式会社ヤマハミュージックジャパン

新型コロナウイルス感染拡大に伴うカーザ・ダ・ムジカの入国制限による来日中止に伴い一部演目を変更・中止して実施した。

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー、出演者	対象	料金（円）	参加者（人）		
7/20	文京シビックホール 小ホール	はじめましてクラシック～ソプラノ&バリトン～	澤田知世、清水理恵、岡昭宏、星和代	6か月～6歳（未就学児）	550	18		
7/21	文京シビックホール 多目的室	ハッピーとおともだち	野口綾子、渡辺明子、Sunny	3～4歳		10		
				5～6歳（未就学児）		8		
				6～18か月		10		
7/21	文京シビックホール 小ホール	ミーゴのまほう	櫻井音斗、塚本江里子、平山佳奈	19～35か月		10		
				6～18か月		5		
				19～35か月		17		
7/22	文京シビックホール 多目的室	サーシャのひみつの贈りもの	桜井しおり、澤田知世	3～4歳		12		
				5～6歳（未就学児）		0		
				リズムカル・キッチン		-		
7/23	文京シビックホール 小ホール	One Day セッション	安音めぐみ、坂本夏樹、櫻井音斗、桜井しおり、前田啓	小学生～大人		11		
				ムジカ・ピッコラ		澤田知世、古橋果林	小学生～大人	9
				はじめましてクラシック～ヴァイオリン&チェロ&ピアノ～		桜井しおり、加藤文枝、鍵富弦太郎、小澤佳永	6～18か月	24
7/24				19～35か月			21	
計						155		

④ミュージック・ワークショップフェスタ<冬>

共催：公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団

後援：ポルトガル大使館、台東区教育委員会

協力：株式会社ヤマハミュージックジャパン

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー、出演者	対象	料金（円）	参加者（人）
12/15	調布市文化会館 たづくりむらさきホール	はじめましてクラシック～トランペット三重奏～	塚本江里子、多田将太郎、川村大、星野朱音、栗根祐人	6～35か月	550	30
				3～6歳（未就学児）		24
12/16	東京文化会館 小ホール	旅するヨーロッパ	磯野恵美、桜井しおり	6～18か月		28
				19～35か月		26
				One Day セッション～ベートーヴェン編～		坂本夏樹、高田有香子、野口綾子、前田啓
12/17	調布市文化会館 たづくりむらさきホール	ミーゴのまほう	櫻井音斗、塚本江里子、平山佳奈	19～35か月		16
				6～18か月		17
	東京文化会館 リハーサル室	ムジカ・ピッコラ～ベートーヴェン編～	磯野恵美、野口綾子	19～35か月		15
				3～4歳		14
				with My Baby		高田有香子、渡辺明子、稲垣領子
12/17	東京文化会館 小ホール	はじめましてクラシック～ヴァイオリン&チェロ&ピアノ～	桜井しおり、加藤文枝、鍵富弦太郎、小澤佳永	6～35か月		37
				3歳～大人		76
12/18	調布市文化会館 たづくりむらさきホール	チーズを探せ！くいしんぼうネズミ！	澤田知世、古橋果林	19～35か月		22
				6～18か月		19
	東京文化会館 リハーサル室	音のアトリエ	坂本夏樹、櫻井音斗	6～18か月		11
				19～35か月	17	
12/18	調布市グリーンホール 小ホール	パピペポット	安音めぐみ、前田啓	19～35か月	6	
				3～6歳（未就学児）	22	
12/19	東京文化会館 小ホール	ワークショップ・コンサート 海の仲間の音楽会～ふしぎな宝箱のひみつ～	磯野恵美、櫻井音斗、桜井しおり、野口綾子、吉澤延隆	6か月～4歳と保護者およびその家族	200	
				3歳～大人	200	
計						799

⑤ミュージック・ワークショップ in 立川

共同共催：公益財団法人立川市地域文化振興財団

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー、出演者	対象	料金 (円)	参加者 (人)
1/15	たましんRISURUホール地下展示室	ミーゴのまほう	櫻井音斗、塚本江里子、平山佳奈	6~35か月	300	24
				3~6歳 (未就学児)		7
1/16	たましんRISURUホール地下サブホール	サーシャのひみつの贈りもの	桜井しおり、澤田知世	19~35か月		7
				6~18か月		21
				3~6歳 (未就学児)		16
				3~6歳 (未就学児)		27
1/16	たましんRISURUホール地下展示室	はじめましてクラシック~木管五重奏~	磯野恵美、梶川真歩、島広之、本多啓祐、中田小弥香、嵯峨郁恵	小学生~大人	23	
				計	125	

⑥東京文化会館ミュージック・ワークショップ in 武蔵野

共同主催：公益財団法人武蔵野文化事業団

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー	対象	料金 (円)	参加者 (人)
1/24	武蔵野スイングホール	旅するヨーロッパ	桜井しおり、野口綾子	3~4歳	500	18
				5~6歳 (未就学児)		24
計						42

⑦東京文化会館ミュージック・ワークショップ in 荻窪

共同主催：荻窪地域区民センター協議会

開催日	会場	プログラム名	ワークショップ・リーダー、出演者	対象	料金 (円)	参加者 (人)
1/31	荻窪地域区民センター第1・2集会室	はじめましてクラシック~オペラへの誘い~	澤田知世、清水理恵、高橋洋介、原田園美	小学生以上	無料 (事前申込)	35
計						35

⑧東京文化会館ワークショップ・リーダーの研鑽

7月、12月に予定されていた、カーザ・ダ・ムジカによる社会包摂ワークショップおよびトレーニングは、新型コロナウイルス感染拡大に伴うカーザ・ダ・ムジカの入国制限による来日中止に伴い中止することとなった。

開催期間	会場	講師・内容	延べ参加者 (人)
通年	東京文化会館、東京芸術劇場 ほか	カーザ・ダ・ムジカからのオンライン・トレーニングやオンライン・アドバイス ほか ジョルジュ・ブレンダス、ジョアナ・アラウージョ、ブルーノ・エステイマ、ティアゴ・オリヴェイラ、ジョルジュ・ケイジヨ、パウロ・ネット、アントニオ・ミゲル	延べ1,313
7月、12月	都内特別支援学校、高齢者施設、社会福祉施設 ほか	カーザ・ダ・ムジカによる社会包摂ワークショップおよびトレーニング	-
計			1,313

(2) 2020 on stage & Legacy

協力：プリティッシュ・カウンシル

助成：一般財団法人地域創造

プログラム1：各種機関との連携プロジェクトを核とした長期プロジェクトの実施

社会包摂につながるアート活動のためのフォーラム

「コロナ禍に社会包摂アート活動を考える~美術館とホールのオンライン/オフライン事例から」

連携：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、東京都現代美術館

開催日	会場	対象	プログラム	料金 (円)	参加者 (人)
1/26	オンライン (Zoom)	アート/音楽関係者、アーティスト、自治体・文化行政関係者、教育/社会福祉関係者、学生、研究者など	東京文化会館、東京都現代美術館、東京都美術館における事例の紹介とラウンドテーブル 登壇者： 森司 (アーツカウンシル東京 事業推進室事業調整課長 TURNプロジェクト・ディレクター、クリエイティブ・ウェル・プロジェクト・ディレクター) 稲庭彩和子 (東京都美術館 学芸員 アート・コミュニケーション係長) 郷泰典 (東京都現代美術館 事業企画課教育普及係長) 杉山幸代 (東京文化会館 事業企画課事業係 包摂・連携担当係長)	無料 (事前申込)	211
計					211

プログラム2：社会包摂につながるオーケストラ・プロジェクト

①オーケストラ公演

共同主催：公益財団法人墨田区文化振興財団（すみだトリフォニーホール指定管理者）（8/10公演）  
 公益財団法人東京交響楽団、特定非営利活動法人あそびと文化のNPO新宿子ども劇場（11/3公演）  
 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団（2/18公演）

共催：東京オーケストラ事業協同組合

協力：パイオニア株式会社（7/24、11/3公演）

株式会社エンサウンド、プリティッシュ・カウンスル（7/24公演）

公益財団法人新日本フィルハーモニー交響楽団（8/10公演）

後援：新宿区、新宿文化センター、新宿区教育委員会

7/23、8/19は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、11/3、2/18に内容を変更して実施した。

開催日	公演名	会場	出演	料金（円）	入場者（人）
7/23	日本フィル夏休みコンサート2020&特別支援学級の生徒を対象とした音楽ワークショップ	-	-	-	-
7/24	東京文化会館 リラックス・パフォーマンス ～世代、障害を越えて楽しめるオーケストラ・コンサート～	東京文化会館 大ホール	指揮：三ツ橋敬子 テノール：村上敏明 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団 ナビゲーター：磯野恵美、野口綾子（東京文化会館ワークショップ・リーダー）	指定席：1,100 ※鑑賞サポート 席含む	331
8/10	Fun!Fun!Fun! 2020 映画名シーンとスポーツの祭典	すみだトリフォニーホール	指揮：竹本泰蔵 管弦楽：新日本フィルハーモニー交響楽団	指定席：3,000 ペア券：5,500	419
8/19	オーケストラ・ワンダーランド	-	-	-	-
11/3	みんなのゆったりコンサート～世代・障がいを超えて～	新宿文化センター 大ホール	指揮：永峰大輔 管弦楽：東京交響楽団	指定席：2,000 18歳以下：無料	490
2/18	特別演奏会	めぐろパーシモンホール 大ホール	日本フィルハーモニー交響楽団	S席：7,000 A席：5,500 B席：4,000 Ys（25歳以下）： 1,500 Gs（65歳以上）： 4,000	545
計					1,785

②アウトリーチ

共同主催：公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

開催日	プログラム	会場・対象	出演	入場者（人）
11/19				37
11/30	杉並区内中学校特別支援学級での日英オンライン・ワークショップ	杉並区立井草中学校	日本フィルハーモニー交響楽団	37
12/12				37
12/24				37
計				148

プログラム3：特別支援学校や高齢者施設等におけるワークショップの開催

①特別支援学校におけるワークショップ

11/11、2/9は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止することとなった。

開催日	会場	プログラム	出演	対象	参加者（人）
9/16	東京都立北特別支援学校（肢体不自由）	ムジカ・ピッコラ [リアルタイム配信]	磯野恵美、澤田知世、野口綾子	小学1～高校3年生	35
9/23	東京都立志村学園（肢体不自由・知的障害）	ムジカ・ピッコラ	磯野恵美、澤田知世、野口綾子	小学6年生	10
				中学3年生	5
				高校2年生	10
10/21	国立筑波大学附属大塚特別支援学校（知的障害）	はじめましてクラシック～ヴァイオリン&チェロ&ピアノ～	桜井しおり、加藤文枝、鍵富弦太郎、小澤佳永	中学生	36
11/11	東京都立大泉特別支援学校（肢体不自由）	-	-	-	-
12/22	東京都立城東特別支援学校（知的障害）	はじめましてクラシック～弦楽四重奏～	坂本夏樹、岸本萌乃加、今川結、蟹江慶行、林周雅	小学6・中学3年生	38
				中学1年生	32
				中学2年生	32
2/2	東京都立久我山青光学園（視覚障害・知的障害・肢体不自由、視覚障害）	旅するヨーロッパ [アーカイブ配信]	桜井しおり、澤田知世、野口綾子	幼稚部	10
				小学部	38
2/5	新宿区立新宿養護学校（肢体不自由）	はじめましてクラシック～弦楽四重奏～	坂本夏樹、岸本萌乃加、蟹江慶行、尻仁井かおり、林周雅	小学部	28
				中学部	33

開催日	会場	プログラム	出演	対象	参加者(人)
2/9	東京都立大塚ろう学校城東分教室(聴覚障害)	あけてみよう!海のふしぎな宝箱	-	-	-
2/12	東京都立町田の丘学園(肢体不自由)	旅するヨーロッパ	桜井しおり、澤田知世、野口綾子	小学部	34
				中学部	21
				高等部	24
2/16	東京都立調布特別支援学校(知的障害)	はじめましてクラシック~弦楽四重奏~	野口綾子、吉江美桜、加藤文枝、鈴木大樹、高宮城凌	中学1年生	37
				中学2年生	23
				中学3年生	25
2/26	東京都立多摩桜の丘学園(知的障害)	リズムカル・キッチン	坂本夏樹、野口綾子、古橋果林	中学1年生	23
				中学2年生	29
				中学3年生	23
計					546

②高齢者施設、社会福祉施設におけるワークショップ

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、実施を予定していた施設の部外者入所禁止が続いたため、実施できなかった。

プログラム4：効果の測定と検証

①高齢者向け音楽ワークショップの検証

協力：同志社女子大学

開催日	会場	プログラム	検証者	参加者(人)
6/7	オンライン	「Shall we シング?」の検証、改訂のためのセッション	日下菜穂子(同志社女子大学現代社会学部教授)	13
6/16				7
7/19				6
8/18	東京文化会館 鑑賞室			11
9/8	オンライン			6
計				43

②高齢者向け音楽ワークショップの検証 公開報告会

協力：同志社女子大学

開催日	会場	プログラム	出演者	対象	料金(円)	参加者(人)
9/12	オンライン	平成31年度 高齢者向け音楽ワークショップの検証 公開報告会	日下菜穂子(同志社女子大学現代社会学部教授) 下村篤子(同志社女子大学学術研究員) 阿部廣二(早稲田大学 人間科学学術院招聘研究員) 進行：杉山幸代(東京文化会館事業係)	アート/音楽関係者、アーティスト、自治体・文化行政関係者、教育/社会福祉関係者、学生、研究者など	無料	60
1/17	オンライン	令和2年度 高齢者向け音楽ワークショップの検証 公開報告会	日下菜穂子(高齢者心理学/同志社女子大学現代社会学部教授) 稲垣領子(ダンサー) 渡辺明子(東京文化会館ワークショップ・リーダー) 進行：杉山幸代(東京文化会館事業企画課 包摂・連携担当係長)	アート/音楽関係者、アーティスト、自治体・文化行政関係者、教育/社会福祉関係者、学生、研究者など	無料	50
計						110

(3) 東京ネットワーク計画

プログラム1：都内文化施設と連携したアウトリーチ事業

共催：西東京市保谷こもれびホール指定管理者(10/17)

共同主催：公益財団法人としま未来文化財団/豊島区(2/17)

開催日	会場	公演名	出演者	対象	料金(円)	入場者(人)
10/17	西東京市保谷こもれびホール 小ホール	楽器の音を知ろう!こどものためのワークショップ~チェロ編~	チェロ：加藤文枝 ピアノ：小澤佳永	4歳~小学校低学年のお子様とその保護者	無料(事前申込)	43
2/17	Hareza池袋 パークプラザ	Hareza池袋 ランチタイムコンサート	クラリネット：コハーン・イシュトヴァーン チェロ：新倉瞳	0歳以上	無料	207
計						250

プログラム2：都内文化施設と連携した若手アーティスト支援事業

開催日	会場	プログラム	対象	料金(円)	参加者(人)
11/18	オンライン	コロナ禍の現状共有(ホール対応、運営、事業展開状況など)	文化施設事業担当者	無料(事前申込)	9

開催日	会場	プログラム	対象	料金(円)	参加者(人)
12/4	オンライン	都内文化施設担当者によるオンライン意見交換会 ～コロナ禍における若手アーティスト支援とアウトリーチを 考える	文化施設事業担当者	無料 (事前申込)	18
2/24	オンライン	文化施設担当者のためのオンライン勉強会：コロナ禍におけ る米国若手アーティスト活動と支援の現状に学ぶ	文化施設関係者など	無料 (事前申込)	44
計					71

プログラム3：成果発表

「4館連携若手アーティスト支援 アフタヌーン・コンサート」

連携：公益財団法人サントリー芸術財団 サントリーホール／

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場／認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワーク

開催日	会場	出演者	プログラム	料金(円)	入場者(人)
2/28	東京文化会館 小ホール	【東京芸術劇場より】 ソプラノ・サクソフォン：足立雄大 アルト・サクソフォン：崔師碩 テナー・サクソフォン：金野龍篤 バリトン・サクソフォン：日下雅央 【トリトン・アーツ・ネットワーク/ 第一生命ホールより】 ヴァイオリン：吉野駿、松谷萌江 ヴィオラ：鶴友見 チェロ：梶原葉子 【サントリーホールより】 ソプラノ：木和田絢香、小寺彩音 ピアノ：古藤田みゆき ヴァイオリン：吉江美桜、東條太河 ヴィオラ：山本周 チェロ：矢部優典 【東京文化会館より】 オーボエ：篠原拓也 ファゴット：鈴木一成 ピアノ：居福健太郎	サンジュレール：サクソフォン四重奏より 第4楽章 イトゥラ ルデ：ギリシャ組曲 リード：「5つのカメオ」より カロライナ・ケークウォーク グラスノフ：弦楽四重奏曲第3番 ト長調 Op.26 「スラヴ」 より抜粋 *アウトリーチ形式による ガース・ノックス：「サテライツ」より ディメンションズ ブッチーニ：オペラ『ラ・ボエーム』より「私が街を歩けば」 「あなたの愛の呼ぶ声に」 ロッシニ：「音楽の夜会」より 第9曲「ヴェネツィアの競艇」 バルトーク：弦楽四重奏曲第3番 Sz.85 ヘンデル：オペラ『セルセ』HWV40より「樹木の蔭で（オ ンブラ・マイ・フ）」 フランス：オーボエ、ファゴットとピアノのための三重奏 曲	指定：1,100	320
計					320

3. Music Education Program

(1) Talk & Lesson

開催日	会場	プログラム	出演者・講師	料金(円)	入場者(人)
7/15	東京文化会館 大ホール	小曽根真ワークショップ「自分でみつける音楽Vol.8」	ピアノ：小曽根真	S席：2,200 A席：1,650 25歳以下： 1,100	383
計					383

(2) オペラをつくろう！

開催日	会場	プログラム	対象	料金(円)	参加者(人)	のべ参加者(人)
7/23～8/30	東京文化会館	オペラの登場人物になる！ 《合唱・演技/ダンス》	小学生～高校生	2,200	9	182
8/29 (ゲネプロ鑑賞)						72
10/11 (公演映像鑑賞)						16
8/1	たましんRISURUホール	オペラに登場するものづくり！《工作》	小学生	550	36	36
8/29 (ゲネプロ鑑賞)	東京文化会館					49
7/23～8/30	たましんRISURUホール					90
10/11 (公演映像鑑賞)	東京文化会館	《演出・舞台美術・舞台装置・舞台監督・衣裳・ 照明・音楽・制作》	18～25歳	2,200	3	3
計						448

(3) アウトリーチ・コンサート

12/2、2/1、2/12、2/18は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止することとなった。

開催日	学校名	曲目	編成・出演代表者	参加者(人)
9/18	葛飾区立堀切中学校	ヘンデル：オペラ『リナルド』よ り「私を泣かせてください」ほか	ソプラノ&バス：中江早希(ソプラノ)ほか	105
10/14	清瀬市立芝山小学校	デュカス：「ラ・ペリ」のファン ファーレほか	金管五重奏：井上康一(トロンボーン)ほか	128
10/15	八王子市立横川小学校	ヴェルディ：オペラ『アイーダ』 より「凱旋行進曲」ほか	金管五重奏：井上康一(トロンボーン)ほか	193
10/19	練馬区立小竹小学校	モーツァルト：「アイネ・クライネ ナハトムジーク」より第1楽章 ほか	弦楽四重奏：篠原悠那(ヴァイオリン)ほか	115

開催日	学校名	曲目	編成・出演代表者	参加者(人)
10/20	江東区立第五砂町幼稚園	シュライナー：だんだん小さく ほか	クラリネット&ピアノ：コハーン・イシュトヴァーン（クラリネット）ほか	59
10/29	江戸川区立篠崎第二小学校	チャイコフスキー：木管五重奏とお話による「くるみ割り人形」 ほか	木管五重奏：梶川真歩（フルート）ほか	232
11/11	認定こども園 杉の子幼稚園	モーツァルト：オペラ『魔笛』より「夜の女王のアリア」ほか	フルート&テューバ：多久和怜子（フルート）ほか	360
11/12	江東区立第二亀戸小学校	ビゼー：オペラ『カルメン』より「ハバネラ」ほか	メゾソプラノ&バリトン：高橋華子（メゾソプラノ）ほか	406
11/13	八王子市立第七小学校	宮川彬良：「ゆがたクインテット」ほか	木管五重奏：柿沼麻美（ファゴット）ほか	444
11/17	立川市立第三小学校	モーツァルト：「アイネ・クライネ・ネハトムジーク」より第一楽章ほか	弦楽四重奏：坪井夏美（ヴァイオリン）ほか	97
12/2	荒川区立南千住第二幼稚園	-	-	-
12/21	豊島区立朋有小学校	デュカス：「ラ・ペリ」のファンファーレほか	金管五重奏：高瀬新太郎（トロンボーン）ほか	512
12/25	目黒区立月光原小学校	すぎやま こういち：ドラゴンクエスト序曲ほか	金管五重奏：多田将太郎（トランペット）ほか	86
1/27	港区立芝小学校	デュカス：「ラ・ペリ」のファンファーレほか	金管五重奏：高瀬新太郎（トロンボーン）ほか	68
2/1	台東区立金首木小学校	-	-	-
2/2	中野区立中野本郷小学校	すぎやま こういち：ドラゴンクエスト序曲ほか	金管五重奏：多田将太郎（トランペット）ほか	82
2/12	台東区立台東保育園	-	-	-
2/18	台東区立東泉小学校	-	-	-
3/2	調布市立第二小学校	モーツァルト：ディヴェルティメント 二長調 K136 より第一楽章ほか	弦楽四重奏：吉江美桜（ヴァイオリン）ほか	67
3/4	足立区立入谷中学校	ブーランク：ノヴェレッテほか	木管五重奏：伊藤優里（フルート）ほか	114
3/8	福生市立福生第二小学校	ビゼー：オペラ『カルメン』より「ハバネラ」ほか	メゾソプラノ&バリトン：高橋華子（メゾソプラノ）ほか	302
計				3,370

(4) アウトリーチ・ワークショップ（クリニック）

10/8は台風の影響により、3/11に延期して実施した。

12/19、20は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止することとなり、3月に改めて実施した。

開催日	学校名	プログラム	指導者	参加者(人)
12/5	三鷹の森学園 三鷹市立第三中学校	ベネット：ウェルカム・マーチ 後藤洋：ハイブリッド・マーチ パツハ：目覚めよと呼ぶ声が聞こえ シューベルト：アベ・マリア スウェアリンゲン：ロマネスク 第九プラスロック ワム：ラスト・クリスマス マライア・キャリー：恋人たちのクリスマス 山下達郎：クリスマス・イヴ YOASOBI：夜に駆ける クリスマスキャロル アンコール：星影のエール	フルート：瀧本実里 クラリネット：亀居優斗 トランペット：多田将太郎 ユーフォonium：岩満貴大 打楽器：矢野顕太郎	50
12/7				-
12/12				-
12/16				-
12/19				-
12/20	-	-		
3/9	三鷹の森学園 三鷹市立第三中学校	ワム：ラスト・クリスマス マライア・キャリー：恋人たちのクリスマス 山下達郎：クリスマス・イヴ YOASOBI：夜に駆ける クリスマスキャロル アンコール：星影のエール	フルート：瀧本実里 クラリネット：亀居優斗 トランペット：多田将太郎 ユーフォonium：岩満貴大 打楽器：鈴木英宣	49
3/11				-
3/14				-
3/16				-
3/20				-
3/21	-	-		
3/9	足立区立千寿青葉中学校	(講師演奏) 沢井忠夫作曲《鳥のように》 (演奏体験) さくらさくら	箏：吉澤延隆	87
3/11	青ヶ島村立青ヶ島小中学校	(講師演奏) 宮城道雄作曲《手事》より輪舌 沢井忠夫編曲《さくら さくら》 沢井忠夫作曲《鳥のように》 (演奏体験) さくらさくら うれしいひなまつり	箏：吉澤延隆	28
計				214

(5) アウトリーチ・ワークショップ (ミュージック・ワークショップ)

1/12、20、22、27、2/15は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止することとなった。

開催日	学校名	プログラム	出演者	参加者(人)
7/10	墨田区立言問小学校	箏と一緒にコロリンシャン!	坂本夏樹、吉澤延隆	25 26
9/9	葛飾区立北住吉幼稚園	旅するヨーロッパVol.2	磯野恵美、桜井しおり	21 28
9/17	墨田区立第三寺島幼稚園	とびだせ!おんがくたんけん隊[英語で実施]	桜井しおり、野口綾子	15
10/8	荒川区立汐入こども園	とびだせ!おんがくたんけん隊	桜井しおり、野口綾子	24 22
10/12	東京文化会館に行こう!(多摩市立青陵中学校)	One Day コーラス	塚本江里子、野口綾子、平山佳奈、古橋果林	28
10/22	東洋女子高等学校	カラダ・オト・ウタウ	坂本夏樹、野口綾子	12
10/27	東村山市立大岱小学校	リズムカル・キッチン	磯野恵美、桜井しおり	34 33 29 30 36
10/28	板橋区立赤塚新町小学校	One Day セッション	坂本夏樹、桜井しおり	27 29 31
11/9	墨田区立緑小学校	One Day セッション	坂本夏樹、桜井しおり	29 31
11/10	台東区立待乳保育園	咲かせよう!音楽の花	安音めぐみ、渡辺明子、Sunny	19 18
11/17	日野市立日野第六小学校	ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	38 39 37
11/20	駒沢学園女子高等学校	カラダ・オト・ウタウ	坂本夏樹、野口綾子	30 28
11/25	台東区立坂本保育園	タネまき、タネまき、大きくなあれ!	高田有香子、吉澤延隆	22 25
11/30	青梅市立第一小学校	カラダ・オト・ウタウ	坂本夏樹、野口綾子	29
12/8	葛飾区立水元幼稚園	動物たんてい~かかっているのは、だあれだ?~	磯野恵美、桜井しおり	18 16
12/11	きよみ幼稚園	はじめましてクラシック~トランペット三重奏~	塚本江里子、多田将太郎、川村大、星野朱音、栗根祐人	161
12/23	八王子市立館小学校	ムジカ・ピッコラ	澤田知世、古橋果林	20 35
12/24	八王子市立船田小学校	ムジカ・ピッコラ	澤田知世、古橋果林	35 35
1/12	文京区立湯島幼稚園	-	-	-
1/18	文京区立第一幼稚園	チーズを探せ!くいしんぼうネズミ!	澤田知世、古橋果林	25 24
1/19	文京区立柳町幼稚園	チーズを探せ!くいしんぼうネズミ!	澤田知世、古橋果林	21 20
1/20	新宿区立西新宿小学校	-	-	-
1/22	台東区立大正小学校	-	-	-
1/27	聖母幼稚園	-	-	-
1/29	港区立南山小学校	ミュージック・クロック	坂本夏樹、桜井しおり	29 23 19 21
2/15	東京国際フランス学園	-	-	-
2/18	八王子市立美山小学校	One Day セッション	坂本夏樹、桜井しおり	24 32
計				1,353

**【参加者の声】**

(“Jazz meets Classic”)

・今日まで来るかやめようか迷っていましたが、でも、ホールで生の演奏を聴くことがどんなに素晴らしいか実感しました。自粛中動画はいろいろみたけれど、同じ時間を共有できる事は本当に良かった。

(プラチナ・シリーズ第4回)

・文化会館小ホールで一度はポピュラーのコンサートと思っていましたが、なんと小野リサさんのコンサート。きれいでした!!大変良いコンサートです。是非次回もやってください。内容・音楽・響きも最高です。

(プラチナ・シリーズ第5回)

- ・現役世界NO.1のテノールの見事な声を間近で聴けて実に幸せでした。コロナ禍のなかイタリアから来日し、10曲もアンコールを歌ってくれたメーリに心からの感謝とブラーヴォを捧げたいと思います。困難な状況のなか素晴らしいコンサートを実現して下さい東京文化会館の皆様にもお礼を申し上げます。

(シャイニング・シリーズVol.7 東京音楽コンクール入賞者による「テノールの饗宴」)

- ・いずれも味のある最高のテノールの曲を聴き これまででも一番のリサイタルでした。選曲もバラエティーがあって良かった。4人全員 Bravissimo!!!!
- ・コロナの時、出演者の方、主催の方々、本日の開催大変なご苦労だったと思います。ご努力のおかげで素晴らしい歌を聴かせていただき、感激です。今日は何と素晴らしい日、ブラーヴォ！

(3歳からの楽しいクラシック)

- ・とっても癒されました。最後のアンコールの2曲、2人のわが子を抱きしめながら聞いたら、幸せだなあ、本当に子供がいて幸せだなあという気持ちになって涙がでました。また来たいです。ありがとうございました。
- ・子供にとって初めてのコンサートでした。とても聞きやすく工夫もされていて、素晴らしかったです。大人も満足でした。ありがとうございました。

(東京文化会館リラックス・パフォーマンス)

- ・息子は障害があり、車椅子を使用しているのでなかなかコンサートに連れて行くことができなかったのですが、今回は家族一緒に来ることができ、本当に良かったです。息子は感動して涙を流していました。またこのような機会がありましたらぜひ来たいです。
- ・観客の多くがリラックスし、楽しんで鑑賞していました。曲目、レパートリーに工夫があり、あきないで楽しめました。障害のある人も健常者も楽しめるコンサートは今迄に経験がなかったので、とても良い企画だと思います。

(社会包摂につながるアート活動のためのフォーラム「コロナ禍に社会包摂アート活動を考える」)

- ・東京都の文化施設の方々が、横連携を図って、このような取組みを行われたことは素晴らしいことだと思いました。緊急事態宣言を受けて、さまざまな公営施設がクローズさせられている中でも、現場の方々は歩みを止めずに、むしろアウトリーチを広げておられることに感銘を受けました。
- ・手話通訳をつけていただきありがとうございました。ぜひ今後も手話通訳をつけていただき、通訳利用者にも開かれたフォーラムの開催をお願いいたします。

(アウトリーチ・コンサート)

- ・マスクを外して演奏していただきましたが、「目で合図をしていた」とか「楽しそうな表情で演奏していた」などと、音楽と同時に一見音には関係なさそうな奏者の方々の表情から、子供達はいろいろなことを感じ取っていたようで、とても良かったです。
- ・ステージの上での演奏で児童とディスタンスを取っていただきましたが、距離を感じない迫力のある演奏で子供達も引き込まれていました。生の音楽に触れる機会が減っているので、このような状況下でも演奏して下さることに、教職員もとても感謝していました。

(東京文化会館ミュージック・ワークショップ)

- ・体を使ってダンスをしたり、楽器を使って演奏したりして、とても楽しかったです。
- ・他のワークショップに参加したことがあるが、今回のワークショップは秀でていた。音楽にも親しめ、楽しかった。
- ・コンサートだとすぐにあきってしまうのですが、体験型だと一緒に踊ってうたえるのでとても楽しんでいました。

# 17

## アンサンブルズ東京

### 【事業概要】

**開催日** オンラインワークショップ 令和2（2020）年12月6日（日）～28日（月）  
 ワークショップアンサンブル動画（オンラインワークショップ成果動画）、ハンドサイン教材テキスト・動画公開 令和3（2021）年2月27日（土）

**会場** オンライン

**主催** 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、アンサンブルズ東京実行委員会【P3 art and environment、特定非営利活動法人大丸有エリアマネジメント協会、株式会社文化放送】

**助成・協力** 東京都

**総視聴数／オンラインワークショップ参加者数** 9,284回／337人

### 【事業趣旨（目的）】

誰もが参加できる参加型音楽フェスティバルとして、音楽家・大友良英氏のディレクションの下、参加したすべての人たちが、それぞれの立場やあり方を超えて、自分たちの手でフェスティバルを作り上げ、地域の新たな魅力を発見するとともに、東京ならではの場所で、東京の独自性や多様性を追求しながら芸術文化の力を広く発信することを目的に実施。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症の拡大の状況を受け、8月に予定していたワークショップおよび東京タワーでのイベントの実施を中止することとしたが、コロナ禍の中においても、人々に事業に参加していただき文化の魅力を発信することができるよう、オンラインワークショップを実施して参加者から集められた映像を一つに編集した映像作品を公開するという内容と、これまで本事業でアーティストが実践してきた、ハンドサインを使って音楽を演奏する方法についての動画とテキストを公開するという内容で、オンラインにて事業を実施した。

### 【オンラインワークショップ】

開催日	プログラム名	アーティスト名	料金（円）	参加者（人）	ワークショップ動画視聴数（回）	ワークショップアンサンブル動画視聴数（回）
オンラインワークショップ動画公開 12/6～ ※ワークショップ開催期間は12/6～28	オンラインワークショップ	オーケストラ	無料	85	961	1,464
		タイム・パラレル・エンブroidアリー		30	416	698
		一緒に合声（がっせい）する		67	520	411
		ノイズミュージック		75	650	517
ワークショップアンサンブル動画公開 2/27～	リズムアンサンブル	芳垣安洋と Orquesta Nudge! Nudge!		80	905	1,014
合計				337	3,452	4,104

### 【ハンドサイン動画・テキスト】

公開日	プログラム名	アーティスト名	料金	視聴数（回）
2/27～	ハンドサイン動画	大友良英	無料	1,143
		芳垣安洋と Orquesta Nudge! Nudge!		585
	ハンドサインテキスト	大友良英、芳垣安洋		—
合計				1,728

### 中止プログラム

開催日	会場	プログラム名	出演者	料金（円）	入場者・参加者（人）
8/29	東京タワー 南側 駐車場など	アンサンブルズ東京	大友良英 ほか	無料	—

## 【参加者の声】

### ●オンラインワークショップについて

- ・せっかくだからと参加させていただいて、音を立てるといいう状況を整えるのが難しかった面もありましたが、やってみれば楽しいものでした。今回で最後となるそうで、もう少し、観客や傍観者としてではなく、ワークショップのほうへ参加してみれば良かったかなと思ったりもします。アンサンブルズ東京に関わられていた皆様、ありがとうございました、長い間おつかれさまでした。
- ・毎年企画、運営ご苦労さまでした。今年はオンラインで特に大変だったかと思いますが、今回でラストになるのでしょうか。再開する場合はぜひともワークショップにまた参加したいと思います。
- ・このイベントに参加できてとても嬉しかったです。別の国にいても、オンラインイベントで貴重なチャンスを得られました。ありがとうございました。

### ●事業全体について

- ・アンサンブルズ東京、観客としてでしたが、全部の回に行ったと思います。ハイレベルな音楽家が、プロアマとわず一般の人と一緒にあって、東京駅や東京タワーの下でパフォーマンスをする企画。海外からの招聘もすごい人選だった。
- ・アンサンブルズ東京、ここ数年は最も楽しみにしていたイベントの一つだった。
- ・家族で参加できる楽しいイベントでした。
- ・アンサンブルズ東京、毎年参加していたので、(終わりというのは)感慨深いなあ。音楽って、自由でいいんだ、と、気付かせてくれた場所。いつも楽しかった！

# 18

## 上野「文化の杜」新構想

### 【事業概要】

**開催時期** 令和2（2020）年9月1日～令和3（2021）年3月31日  
**会場** 上野恩賜公園および周辺文化施設  
**主催** 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
 上野文化の杜新構想実行委員会

### 【事業趣旨（目的）】

平成25（2013）年12月に、上野「文化の杜」新構想推進会議が発足した。同会議では、年間3,000万人の集客を可能とするために必要なハード・ソフト両面に渡る整備方策が検討され、平成27（2015）年7月に、2020年に向けた国際発信戦略として、上野「文化の杜」新構想が取りまとめられた。博物館、美術館、音楽ホールや動物園等の関係機関による実行委員会を中心とした推進体制の下、上野公園周辺を舞台に、「文化の杜」として各機関・団体が相互に連携・協力し、文化芸術の発信力を高める活動を展開した。

### 【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	アーティスト名	内容	料金（円）	視聴数（回）
11/20、21、22、27、28、29 アーカイブ配信期間：各セッション終了後～3/31	オンライン	UENOYES2020 "HOME & AWAY"	日比野克彦、千葉雅也、山本浩貴、坂本龍一、初沢亜利、山縣良和、中邑賢龍、内田也哉子、栗野宏文、岡部あおみ、横澤琴葉、はらだ有彩、荒木夏実、レオンハルト・バルトロメウス、クララ・チュン&ガム・チェン、JK・アニコチェ、田村かのこ、森敦史、猪子寿之、宇川直宏、井谷優太、岡田利規、布施琳太郎、北川フラム、山内宏泰、榎木野衣、Mars89、平野紗季子、コムアイ、上野文化施設館長	UENOYES総合プロデューサーの日比野克彦と多彩な出演者が、タイバーシティを象徴する街「上野」のインクルーシブな価値観を核に、様々なテーマを語り合う6日間のオンラインシンポジウムを開催した。	無料	9,000 (内訳：3,750/当日視聴、5,250/アーカイブ)
2/26～3/31	オンライン配信	文化の杜の音めぐり2021	東京音楽コンクール入賞者を中心とした若手音楽家（ピアノ・ソロ、木管五重奏、弦楽四重奏を編成）	コンサートホールから博物館へ、博物館から美術館へと上野公園内にある文化施設を舞台に、スペシャルコンサートを無観客で収録配信した。	—	17,969

### 【参加者の声】

#### < UENOYES 2020 "HOME & AWAY" >

- ・上野には行ったことはなく、さらに、アートや哲学とはあまり触れあう機会がない生活をしているため、最初はとっつきにくい内容だと思っていたが、ゲストの話を聞いているうちに、だんだん上野への興味が湧いてきて、こんな風にゲストが考える上野とはどんな所か一度試してみたいと思った。

#### < 文化の杜の音めぐり2021 >

- ・絵画と演奏、建築と音楽などの組み合わせは素晴らしいと思った。色彩と空間の広がりを感じられる動画だった。
- ・施設の映像も紹介されていたため、実際にその場所を訪れたような気分になれた。

# 19

## 六本木アートナイト2020

### 【事業概要】

名 称	六本木アートナイト スピンオフ・プロジェクト
開 催 日	令和3（2021）年2月27日（土）～3月21日（日）
会 場	オンライン（六本木アートナイト公式YouTubeチャンネル『RAN TV』）
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合（五十音順）】
助 成	令和2年度文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業
視 聴 料	無料
総視聴数	284,189回

### 【事業趣旨（目的）】

様々な文化施設や商業施設が集積する六本木のまちを舞台に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させ、非日常的な体験を創出することで、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案するとともに、アートとまちが一体化することにより、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市におけるまちづくりの先駆的なモデルを創出することを目的に実施する「アートの饗宴」。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、5月に予定していたイベント実施は中止することとしたが、コロナ禍の状況においてもアートの力で街に回復のエネルギーをもたらすべく、オンラインにて「六本木アートナイト スピンオフ・プロジェクト」を実施した。

公開日	プログラム名	アーティスト名・出演者名	視聴数(回)
3/18	トーク 六本木アートナイトの未来像を考える【国内編】都市型国際芸術祭のコロナ禍下でのチャレンジとは？	帆足亜紀（横浜トリエンナーレ組織委員会事務局プロジェクト・マネージャー／横浜美術館国際グループ兼学芸グループグループ長）、遠山昇司（「さいたま国際芸術祭2020」ディレクター）、中村政人（「東京ビエンナーレ2020/2021」総合ディレクター） モデレーター：片岡真実（六本木アートナイト実行委員長、森美術館館長）	716
3/19	トーク 六本木アートナイトの未来像を考える【アジア太平洋編】国際芸術祭の新しいかたちはあるのか？	キム・ソンジョン（光州ビエンナーレ財団理事長）、ルーベン・キーハン（第10回現代美術アジア・パシフィック・トリエンナーレ企画チーム）、シュビギ・ラオ（第5回コチムジリス・ビエンナーレ、キュレーター） モデレーター：片岡真実（六本木アートナイト実行委員長、森美術館館長）	323
3/19	トーク 六本木アートナイトは何を目指して創ってきたのか？	日比野克彦（東京藝術大学教授）、今村有策（東京藝術大学大学院教授）、逢坂恵理子（国立新美術館長）、臼井浩之（六本木商店街振興組合理事長） 進行：武村俊（六本木アートナイト プログラム企画）	435
2/27	メッセージ映像 「いま、アートで街を元気にできる？」	六本木の街の人々	267,321
3/8	「ガラスの茶室 - 光庵」医療従事者への感謝を込めた光のメッセージ	吉岡徳仁	1,260
3/20	東京都交響楽団 + ムラバヤシケンジサラダ音楽祭 on RAN TVその1：クラシック編	塩田脩（ヴァイオリン）、山本翔平（ヴァイオリン）、萩谷金太郎（ヴィオラ）、江口心一（チェロ）、安藤芳広（パーカッション） 美術：ムラバヤシケンジ	196
	東京都交響楽団 + ムラバヤシケンジサラダ音楽祭 on RAN TVその2：ジャズ編	塩田脩（ヴァイオリン）、山本翔平（ヴァイオリン）、萩谷金太郎（ヴィオラ）、江口心一（チェロ）、安藤芳広（パーカッション） 美術：ムラバヤシケンジ	198

公開日	プログラム名	アーティスト名・出演者名	視聴数(回)	
2/27	アーカイブシリーズ	FierS a Cheval~誇り高き馬~	カンパニー・デ・キダム	1,862
		巨人のおもちゃの音楽会	オレカTX	350
	オープンコート・プロジェクト	双生する音楽会	落合陽一×日本フィルハーモニー交響楽団プロジェクト	2,314
		さえぎりさん	コメカミワークス	1,145
		Yawaraka boat	まちだりな	398
		noise	黒幕アダム	148
		Live Scan Archive	losles	133
		珈琲跳	asamicro	203
		Dansprint to you	吉崎裕哉	267
		リモート寿司パフォーマンス 2021	平本瑞季	521
		バラタ	小池博史	331
		東京だんご	すみふで	482
		RAN TV	奈良岡美咲	213
		楽園の船	渡邊高章	203
		Gray	岡田希淳	276
		木星日常	村口知巳	516
		「い」	アガイガウガ	223
		朝月 ~ Asazuki ~	曾根知	346
		ア・ピース	加世田剛	171
		DELIVERY BOX PROJECT 20201125	小川潤也	457
		球の集合	長岡岳大	334
		ラジオ体操第1.1	Ne Na Lab (杉本音音・遠藤七海)	453
		怠惰の迷い星	Zukinてーる	216
		road trips "MuroRunn" 2020	なめらかカワイ音楽事務所	234
		森の牛さん	to R mansion	379
		dancing with the universe	鈴木奈菜	141
		いろいろとまと	んちぐやま	159
		Limit	ケイティ・ターンブル	170
		Heyday Pile	マシュー・ケフ	123
		不思議な動物世界	ダンテ・ザバラ、オシアン・エフニシエン	225
Pawns of Furthest East	マッテオ・メッシーナ	161		
P. A. R. A. D. I. S. E. (楽園)	ニーナ・E.シェーネフェルト	407		
3/19	PR CONTENTS	RAN PR Culture Cross Talk vol.1	森永邦彦 (ANREALAGEデザイナー) ファシリテーター: 松島義尚 (森ビル(株)森美術館 部長補佐/六本木アートナイト プロモーション/PR担当責任者)	179
			計	284,189

## 中止プログラム

開催日	会場	事業名	内容等	料金(円)	入場者・参加者(人)
メインイベント 5/30、31	六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21.21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース	六本木アートナイト2020	テーマ:「マジカル大冒険 この街で、アートの不思議を探せ!」 メインプログラムアーティスト: 村上隆	無料(ただし、一部のプログラムおよび美術館企画展は有料)	—

## 【参加者の声】

- ・六本木アートナイト、コロナ禍で作品は配信になってるけどこれはこれでじっくりゆっくり観れて楽しめる！サイトも充実してる。
- ・六本木アートナイト、去年は中止で今年はオンラインかー。街なかで見つけるアートが面白いのにスピノフ開催なのはちょっと残念だけど、もっと手軽になったのはいいね。
- ・六本木アートナイト、オンライン。ウェブさえあればどこからでもアートにアクセスできるのはいいこと。

# 20 MOTサテライト2020 ハイファイブーこころのこえ

## 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年1月13日（水）～2月14日（日）
会場	東京都現代美術館 ホワイエ（1F）、情報コーナー（地下1F）
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館・アーツカウンシル東京
特別協力	深川資料館通り商店街協同組合
入場者数	18,512人

## 【事業趣旨（目的）】

美術館と地域がつながり、まちの魅力を掘り起こすプロジェクトとして休館中の平成29（2017）年に始まったシリーズ「MOT サテライト」の第5回。地域を中心に現代美術の受容層の裾野を広げると同時に、現代美術館の位置する清澄白河エリアの魅力を再発見し、美術館のある街全体を文化拠点として発信していくことを目的とする。今回は新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じる必要が生じたため、企画内容を一部変更して実施。テーマを「ハイファイブーこころのこえ」とし、自分とは異なる多様な他者の「こえ」に耳を傾けることが、「ハイファイブ（和製英語でハイタッチ）」に至るための第一歩と捉え、画家・デザイナー/エンジニア・音楽家といった、様々な表現手法の作家たちを招聘。作家たちは美術館の周辺地域で「こころのこえ」に意識を向けた新作を制作し、来館者が行き交う館内のパブリックスペースー1階ホワイエ、地下1階情報コーナーに展示することで、美術館の中にまちのイメージを疑似的に浮かび上がらせた。

## 【開催状況】

開催日	会場	アーティスト名	入場者（人）
1/13～2/14	東京都現代美術館	〈ワタリドリ計画〉麻生知子・武内明子 深川界隈を旅して「深川旅カルタ」や絵画・陶・映像作品等を制作し、展示。 松山真也+高橋琢哉 小名木川流域調査を元に様々なイメージや音を収集し、マルチプルメディアインスタレーションを制作し、展示。	18,512

## 【参加者の声】

- ・江東区の名所・観光スポット等を題材にごく普通の自然な描写が楽しく面白かった。
- ・作家さん達がささいな所まで掘り下げ街歩きをして下さったことがよくわかり、地元住民として喜ばしいかぎりです。
- ・ワタリドリが良かったです。行動が自由でない今、作品を見ながら過去の思い出と未来への約束のようなものが重なり、楽しいと感じられました。
- ・二組のアーティストの組み合わせもおもしろかったです。企画の方がすごいと思いました。優しさと情熱を感じる展覧会でした。

# 21

## 第13回恵比寿映像祭

### 【事業概要】

テーマ	映像の気持ち
開催期間	令和3（2021）年2月5日（金）～21日（日）[15日間／8日（月）、15日（月）休館]
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館・アーツカウンシル東京、日本経済新聞社
共催	サッポロ不動産開発株式会社、公益財団法人日仏会館
後援	米国大使館、駐日韓国大使館 韓国文化院、TBS、J-WAVE 81.3FM
協賛	サッポロビール株式会社
協力	avatarin株式会社、全日本空輸株式会社
入場者数	27,816人（地域連携プログラム等含む）

### 【事業趣旨（目的）】

映像分野における創造活動の活性化と、映像表現ジャンルを横断した芸術性の高い作品を紹介することを目的として、映像とアートのフェスティバルを開催する。国内外の美術館やフェスティバル、関係機関および恵比寿地域の諸施設との連携を深めながら、映像文化の拠点として多彩な事業を推進し、映像表現、視覚芸術の多様性を恵比寿・東京都写真美術館と周辺地域から発信する。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小し、東京都写真美術館と日仏会館ギャラリーにおける展示・上映とYEBIZO MEETS地域連携プログラムに、オンラインプログラムを加えるかたちで実施をした。

「映像の気持ち」という映像の原点に立ち返るテーマのもと、多様な作品・プログラムを紹介した。

出品作品数：180作品／展示：102点／上映：78本／トーク：10本／シンポジウム：2回

参加作家・ゲスト数：109組125人（28の国と地域）

#### ●展示

開催日	会場	出品作家	料金（円）	入場者（人）
2/5～21	東京都写真美術館 3F、2F、B1F展示室・ロビー	ベトラ・コートライト [アメリカ]、リュミエール兄弟（オーギュスト・リュミエール&ルイ・リュミエール） [フランス]、エミール・コール [フランス]、松本力 [日本]、マックス・フライシャー [アメリカ]、シシヤマザキ [日本]、チャン・ヨンヘ重工業 [韓国]、スタン・ヴァンダービーク [アメリカ]、赤松正行+ARARTプロジェクト [日本]、トニー・アウスラー [アメリカ]、筑波大学ヒューマンエージェントインタラクシオン研究室（後藤豪田、大澤博隆） [日本]、渡辺豪 [日本]、ジェームズ・ホイットニー、ジョン・ホイットニー [アメリカ]、木本圭子 [日本]、藤堂高行 [日本]、チョ・ヨンガク [韓国]、KEIKEN [イギリス、ドイツ]、カワイオカムラ [日本]	無料	19,597
	日仏会館ギャラリー	渡辺豪 [日本]		

#### ●上映

開催日	会場	プログラム名	料金（円）	入場者（人）
2/5～21	東京都写真美術館 1Fホール	カワイオカムラ特集—最新作《ムード・ホール》と短編集2004-2019	前売：550 当日：1,100	1,167
		マインド・ゲーム [35ミリフィルム上映]		
		ドラマ・ガール—現実とフィクションの間		
		揺動PROJECTS: Retouch Me Not [日本現代作家特集]		
		オスカー・フィッシング—初期モーショングラフィクスとヴィジュアル・ミュージック		
		新千歳空港国際アニメーション映画祭 短編集①—アニメーションの自然 nature を探る		
		新千歳空港国際アニメーション映画祭 短編集②—感覚を研ぎ澄ますアニメーション		
		感情ゆさぶられる (E-MOTIONAL) アニメーション - DigiCon6 ASIA		
		モノグラフ2020—アジア・エッセイ映画特集①—モチーフ		
		モノグラフ2020—アジア・エッセイ映画特集②—モーメンツ		

●ラウンジトーク

開催日	会場	プログラム名	ゲスト	料金 (円)	入場者 (人)
2/6	オンライン	ラウンジトーク	シシヤマザキ (展示出品作家)	無料	309
2/10			渡辺豪 (展示出品作家)		
2/11			赤松正行、向井丈規 (赤松正行+ARARTプロジェクト)		
2/20			松本力 (展示出品作家)、VOQ (音楽家)		
			カワイオカムラ (展示出品作家)		

●シンポジウム

開催日	会場	プログラム名	パネリスト	料金 (円)	入場者 (人)
2/7	オンライン	[恵比寿映像祭 × NTTインターコミュニケーション・センター [ICC] 共同企画] 映像とともにあること——未来へのアーカイブ	近藤健一 (森美術館・シニア・キュレーター) / 畠中実、指吸保子 (NTT インターコミュニケーション・センター [ICC]) / 岡村恵子、田坂博子 (恵比寿映像祭キュレーター、/ 東京都写真美術館学芸員)	無料	145
2/10		[日仏会館共催企画] 映画と人—危機のなかの映画	諏訪敦彦 (映画監督、東京藝術大学教授) / クレモン・ロジェ (パリ日本文化会館映画プログラマー) / 司会：モデレーター：澤田直 (フランス哲学・文学者、立教大学教授、日仏会館常務理事)、田坂博子 (恵比寿映像祭キュレーター、/ 東京都写真美術館学芸員)		

●YEBIZO MEETS トーク&ワークショップ

開催日	会場	プログラム名	講師	料金 (円)	入場者 (人)
2/11	オンライン	アナログ手法とデジタル技術を組み合わせたネオクラフトアニメーションから、新世代のアニメーションを考える。企画協力：DigiCon6 ASIA	伊藤有吉 (アニメーションディレクター) 見里朝希 (映像作家) 司会：山田亜樹 (DigiCon6 ASIA ディレクター)	無料	325
2/12		アートと商業のあいだを行き交い、独自の表現手法を模索するモーション・アニメーション、主宰者に聞く。アニメーション表現の現在を考える。	細金卓矢 (mimoid.inc: 映像ディレクター/プランナー) / 山田遼志 (mimoid.inc: アーティスト) / 別所梢 (mimoid.inc: プロデューサー) 司会：フィルムアート社		
2/18		CGやARなどのデジタルテクノロジーを駆使し、リアルタイム映像合成によって表現される舞台。その制作過程に迫る。	タグチヒトシ (GRINDER-MAN) 真壁成尚 (ビジュアルデザインスタジオ・WOW)		

●YEBIZO MEETS 地域連携プログラム

地域連携プログラムでは、恵比寿近隣のギャラリー・文化施設との連携により、第13回恵比寿映像祭のテーマに合わせた特別なプログラムや展覧会が開催された。また新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底のうえ、あわせてシールラリーを行い10か所の近隣施設および写真美術館のうち、3か所分のスタンプを集めることで、記念品として恵比寿映像祭特製トートバッグまたは缶バッジを贈呈し、コロナ禍でも地域の文化の担い手の灯を絶やさぬ試みを行った。また海外ゲストとのオンラインプログラム開催やライブストリーミングなど各所のオンライン開催も促進された。

開催日	会場	参加施設	入場者 (人)
2/5~21	恵比寿地域文化施設およびギャラリーなど (10施設・オンライン含む)	日仏会館、YEBISU GARDEN CINEMA、MA2 Gallery、MuCuL、NADiff a/p/a/r/t、MEM、AL、アーツイニシアティブトウキョウ [AIT/エイト]、Rocky Shore、アートフロントギャラリー	6,218

●フェスティバル連携

恵比寿映像祭と相前後する時期に例年東京で開催される、アートとメディアのイベント「未来の学校祭」、「DIGITAL CHOC」、「MEDIA AMBITION TOKYO」と連携し、開催エリアやイベントの枠組みを超え、東京のメディアアートシーンの活性化についてともに考える機会を作ってきた。令和2(2020)年度の実施はそれぞれの選択となったが、「つながり」そのものがフェスティバルであると考え、各フェスティバルのオーガナイザーが一堂に会するオンラインによるスペシャルトークセッションを実現した。

テーマをフェスティバルのトランスフォーメーションと題し、フェスティバルの今と未来を考えた。

開催日	会場	プログラム名	パネリスト	料金 (円)	入場者 (人)
2/18	オンライン	フェスティバル連携   コラボレーショントーク 「それぞれのトランスフォーメーション」	谷川じゅんじ [Media Ambition Tokyo   スペースコンポーザー、JTQ Inc. CEO、一般社団法人 Media Ambition Tokyo 代表理事]、サンソン・シルヴァン [デジタル・ショック   フランス大使館 文化担当官 / アンステイチュ・フランセ日本 芸術部門 統括マネージャー]、藤谷菜未 [未来の学校   東京ミッドタウンマネジメント株式会社 / イベントプロデューサー]、久納鏡子 [未来の学校   Ars Electronica Futurelab. アーティスト、キー・リサーチャー]、田坂博子 [恵比寿映像祭キュレーター、東京都写真美術館学芸員]	無料	55

## 中止のプログラム

日程	会場	プログラム名
2/5~21	恵比寿ガーデンプレイス センター広場	オフサイト展示

## 【参加者の声】

- ・初めて映像のアートにふれたが、不思議な感じがした。写真・映像の歴史が知りたくなり、もっと他のアートを見たいと思った。(20代・女性)
- ・人の心であったり、仮想的なものを映像化するという試みが自分の中で新鮮であり、多様な発想、その広がりを感じた。(20代・男性)
- ・毎年楽しみにしています。今年の映像祭も良かったです。コロナで大変な時なのに開催してくれたことがうれしかったです。いつもスタッフの方が優しく親切です。(30代・男性)
- ・最新の技術を駆使したものからアニメーション初期の作品まで、幅広く、そして多様な作品に触れられて映像表現の可能性を感じさせられました(40代・性別未記入)
- ・毎年シンポジウムを楽しみにしております。来年はオンラインではなく通常での開催を期待しています。見ているだけで参加している気持ちになる臨場感がITをイメージさせます。面白かったです。来年も楽しみです。(40代・女性)

# 22

## 芸術セレクション

### 【事業概要】

**開催期間** 令和2（2020）年7月24日（金・祝）～12月6日（日）  
**会場** 東京芸術劇場  
**主催** 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場・アーツカウンシル東京、東京都  
**入籍・参加費** 3,845人

### 【事業趣旨（目的）】

若手の人材育成と国際・創造発信を目的として、東京芸術劇場のセレクションにより、若手を中心とした公演や海外の上質な作品を紹介する公演、企画性に富んだプロデュース公演等、様々な舞台芸術作品を上演する。

### 【開催状況】

公演日（回数）	会場	公演名・事業名	作・出演者等	料金（円）	入場者・参加者（人）
7/24～8/16（22）	東京芸術劇場シアターイースト	『赤鬼』	作・演出：野田秀樹 出演：東京演劇道場生 ほか	一般：5,000 65歳以上：4,500 25歳以下：3,500 高校生以下：1,000 当日一般：5,500	2,516
8/23～9/19（17） ※発表公演除く	オンライン、東京芸術劇場リハーサルルームなど	北尾亘（Baobab）ダンスワークショップ	ワークショップ講師：北尾亘（Baobab） レクチャーゲスト講師：木ノ下裕一（木ノ下歌舞伎主宰）、山口とも（日本廃品打楽器協会会長）、大石始（ライター）	発表公演までの参加：3,500 オンラインのみ参加：1,500	35
9/20、21（2）	東京芸術劇場シアターイースト	北尾亘（Baobab）ダンスワークショップ発表公演『東京ディグ/ライズ2』	演出・振付：北尾亘（Baobab） 出演：北尾亘（Baobab）、米田沙織（Baobab）、山田茉莉、伊藤まこと、ワークショップ参加者（Dチーム、Rチーム）	一般：2,000 25歳以下：1,000	224
12/4～6（3）	東京芸術劇場プレイハウス	田中泯『村のドン・キホーテ』	空間演出：田中泯 言語演出：松岡正剛 出演：田中泯、石原淋、続木淳平、手打隆盛、高橋真大、野中浩一、藤田龍平、山本亮介 チェロ演奏：四家卯大、友田唱、佐々木恵、平間至	一般：5,000 65歳以上：3,500 25歳以下：2,500 高校生以下：1,000	1,070
合計					3,845

### 中止プログラム

公演日（回数）	会場	公演名・事業名	作・出演者等	料金（円）	入場者・参加者（人）
5/30～6/7（7）	東京芸術劇場シアターイースト	『三人吉三』	作：河竹黙阿弥 監修・補綴：木ノ下裕一 演出・美術：杉原邦生 出演：内田朝陽、大鶴佐助、千葉冴太、山田由梨、小日向星一、山崎果倫、緑川史絵、森田真和、田中佑弥、高山のえみ、武谷公雄、みのすけ、篠山輝信、緒川たまき、村上淳	一般S席：7,700 一般A席：6,500 65歳以上（S席）：6,000 25歳以下（A席）：4,500 高校生以下：1,000	—
8/8～30	東京芸術劇場プレイハウス	『人形の家』	演出：トーマス・オスターマイアー	—	—

### 【参加者の声】

#### ●『赤鬼』

- ・この大変な時期に創り上げること、上演をやりきること、本当に苦労されたと思います。スタッフの皆様、演者の皆さま。お疲れ様でした。素晴らしい体験でした。
- ・久しぶりに舞台を見られてとてもうれしいです。当日券を購入し、チケットを手にして、しみじみ感じました。演目が今の世とあまりにも似ていて、胸が苦しくなりました。この演目を今見ることが出来て、本当に良かった。ありがとう。

#### ●北尾亘（Baobab）ダンスワークショップ発表公演『東京ディグ/ライズ2』

- ・制限が多くまた期間の短いなか公演にこぎ着けることの苦労が察せられました。昨年参加させていただいたのですが、観客の立場はこういう気分なんだな、ということが1年越しでわかったような気がします。続いていけば良いなとも思いますが、人に見せることの大変さも感じました。
- ・心が解放されました。芸術は自由に生きてほしい。私も自由でいたいと思った。

●田中泯『村のドン・キホーテ』

- ・演出、舞台装置、共に空間活用が存分に機能していました。田中泯さんの踊りがとても好きで、こうして公演に来られることが感慨深く、スタッフさんの対応や、他の観客一人一人の配慮を感じました。劇場が賑わう日々に戻れた気がして、たいへん嬉しかったです。
- ・総合芸術として素晴らしかった。幸せな時間を体感させていただきましてありがとうございました。

# 23

## 東京芸術祭2020

### 【事業概要】

- 開催日時** 令和2（2020）年9月30日（水）～11月29日（日）
- 開催場所** 東京芸術劇場、あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）、東京建物 Brillia HALL（豊島区立芸術文化劇場）、GLOBAL RING THEATRE（池袋西口公園野外劇場）ほか池袋周辺エリア
- 主催** 東京芸術祭実行委員会〔豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会、公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）〕
- 総合ディレクター** 宮城聡

### 【参加事業】

- 東京芸術祭直轄プログラム、としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム、フェスティバル/トーキョー20、東京芸術劇場（芸劇オータムセレクション）、APAF-アジア舞台芸術人材育成ファーム
- 来場・参加者数：31,574人 オンライン公演：57,117リーチ
- 東京芸術祭直轄プログラム 来場・参加者数：6,731人 オンライン公演：6,246リーチ
  - としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム 来場・参加者数：6,787人 オンライン公演：21,303リーチ
  - フェスティバル/トーキョー20 来場・参加者数：7,345人 オンライン公演：23,174リーチ
  - 芸劇オータムセレクション 来場・参加者数：10,576人 オンライン公演：3,723リーチ
  - APAF-アジア舞台芸術人材育成ファーム 来場・参加者数：135人 オンライン公演：2,671リーチ

### 【事業趣旨（目的）】

東京の多彩な文化的特色をもった地域に着目し、それぞれの地域の文化的拠点の活動を支援することによって、芸術文化による都市の魅力の向上や機能強化を図る芸術文化拠点形成支援事業として、豊島区池袋を中心として幅広い層のアーティスト、クリエイター、芸術団体が参画、また幅広い層の観客に向けた舞台芸術祭として、東京芸術祭直轄プログラムのほか、〈としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム〉、〈フェスティバル/トーキョー〉、〈芸劇オータムセレクション〉、〈APAF-アジア舞台芸術人材育成ファーム〉を東京芸術祭として実施した。「プランニングチーム」として総合ディレクターと参加事業のディレクターが協働してディレクションを行っている。

### 【開催状況（上演演目）】

新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、一部の海外からの招聘作品を中止することとしたが、オンラインでのシンポジウムや上演、VR（ヴァーチャルリアリティ）などのデジタル技術を取り入れた、従来の舞台芸術の上演形態を拡張したプログラム展開を行った。

東京芸術祭直轄プログラム

開催日	プログラム名	会場	作・演出者等
10/18~25	東京芸術祭2020野外劇 『NIPPON・CHA!CHA!CHA!』	GLOBAL RING THEATRE (池袋西口公園野外劇場)	作:如月小春 上演台本・演出:中島諒人
11/6~8	東京芸術祭ワールドコンペティション2019受賞作 公演<最優秀作品賞> 『紫気東来ービッグ・ナッシング』	映像上映:東京芸術劇場シアターイースト オンライン	作・演出・出演:戴陳連
11/6~8	東京芸術祭ワールドコンペティション2019受賞作 公演<観客賞> 『汝、愛せよ』	映像上映:東京芸術劇場シアターウエスト オンライン	作:パブロ・マンシ 演出:アンドレイーナ・オリバリ、パブロ・マンシ 出演:ポノボ
9/29	【シリーズ・持続可能な舞台芸術の環境をつくる】 東京芸術祭2020「どうやって出会う!」シンポジウム 『今、なぜ舞台芸術が必要なのか〜より近く、よりゆっくり、より寛容に〜』	オンライン	登壇者:水野和夫、李静和、伊藤亜紗 司会:横山義志
10/11	【シリーズ・持続可能な舞台芸術の環境をつくる】 東京芸術祭2020「どうやって出会う!」トーク#1 『2030年以降、東京だからこそ可能な場とは?』	オンライン	登壇者:池田佳穂、齋藤圭汰、多田淳之介、長島確、渡邊梨恵子 司会:朴建雄
11/9	【シリーズ・持続可能な舞台芸術の環境をつくる】 東京芸術祭2020「どうやって出会う!」トーク#2 『今、舞台芸術にどう関わり続けるのか』	オンライン	登壇者:木皮成、武本拓也、多田淳之介、長島確、和田ながら 司会:朴建雄
11/12	【シリーズ・持続可能な舞台芸術の環境をつくる】 今日から役立つ国際共同の現場コミュニケーション術	オンライン	登壇者:田中沙希、中野三希子、和田華子 モデレーター:相磯展子、田村かのこ (Art Translators Collective)
11/15~16	【シリーズ・持続可能な舞台芸術の環境をつくる】 通訳者と考えるコミュニケーションワークショップ	東京芸術劇場リハーサルルームL	ファシリテーター:相磯展子、田村かのこ (Art Translators Collective) WSアドバイザー:和田華子、山田カイル
10/30~11/1	アトカル・マジカル学園 アート体験支援型託児「アート・サポート児童館」	東京芸術劇場アトリエイースト	
10/20~11/29	観劇サポートプログラム	東京芸術劇場、池袋西口公園野外劇場 (GLOBAL RING THEATRE) ほか	

としま国際アート・カルチャー都市発信プログラム

開催日	プログラム名	会場	作・演出者等
9/30~10/4	朗読劇『日の名残り』	あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)	原作:カズオ・イシグロ (早川書房刊) 訳:土屋政雄 上演台本・演出:村井雄 出演:真島秀和、大空ゆうひ/小島聖 (Wキャスト)、マキノノゾミ、桂やまと/ラサール石井 (Wキャスト)
10/7	奈々福の、惚れるひと。	あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)	出演:五街道雲助、神田阿久鯉、玉川奈々福 (曲師:沢村美舟)
10/8~10	神田阿久鯉・神田伯山連続読み 『天明白浪伝』 通し公演	あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)	出演:神田阿久鯉、神田伯山
10/22~26	ロームシアター京都レパートリー作品 木ノ下歌舞伎『糸井版 撰州合邦辻』	あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)	作:菅専助・若竹笛躬 監修・補綴・上演台本:木ノ下裕一 上演台本・演出・音楽:糸井幸之介 (FUKAIPRODUCE 羽衣) 出演:内田慈、土屋神葉 ほか
10/28~30	『柳家三三 三夜 三道楽×三席 江戸三昧』	あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)	出演:柳家三三
11/22~29	その男、ビッグテイル	あうるすぽっと (豊島区立舞台芸術交流センター)	作:秋之桜子 演出:寺十吾 出演:宮崎秋人、大藪丘、一色洋平、前島亜美 ほか
11/7	民俗芸能inとしま+plus 『まつりのおとがきこえる』	GLOBAL RING THEATRE (池袋西口公園野外劇場)	出演:小泉謙一、長崎獅子連、MAMADO、石見神楽東京社中、東京中野真南風エイサー、AYNURUTOMTE、富士元囃子連中、斎藤真文、町田春駒会、秋田西馬首内盆踊り首都圏踊り子会、イマジン盆踊り部、雑司ヶ谷鬼子母神御会式連合会、石神夏希、清宮陵一、BAQUEBA、高野右吉と秩父社中 (出演順) 司会:吉田晋一
11/7~29	としまおやこ小学校	あうるすぽっと会議室ほか 池袋周辺エリア	おやこ小学校担任・にぎわい空間作家:YORIKO
11/1~	あうるすぽっと×コンドルズ 『にゅ〜盆踊りNEO』	特設サイト (オンライン配信)	構成・振付・演出:近藤良平 (コンドルズ) アートディレクター:森本千絵 (goen)
12/18	第33回としま能の会『大般若』	東京建物 Brillia HALL (豊島区立芸術文化劇場)	宝生流仕舞『玉之段』:和久荘太郎 和泉流 狂言『救大名』:野村萬、万蔵、万之丞 観世流復曲能『大般若』:観世喜正

フェスティバル/トーキョー20

開催日	プログラム名	会場	作・演出者等
8/27	ディレクターズ・ラウンジ	F/T remote (オンライン)	ゲスト:高田唯
10/10~11/8	ダイアログ・ネクスト	F/T 椎名町オフィス ほか	全体監修:中尾根美沙子
10/16~11/15	とびだせ! ガリ版印刷発信基地	ガリ版印刷発信基地、Pop-up印刷トラック、Pop-up ZINEスタンド	ディレクション: Hand Saw Press
10/16~11/15	移動祝祭商店街 まぼろし編	特設ウェブサイト、豊島区内商店街、豊島区内各所、F/T remote (オンライン)	企画デザイン:セノ派

開催日	プログラム名	会場	作・演出者等
10/16~29、11/7~15	トランスフィールド from アジア Berak	F/T remote (オンライン)	製作：テアター・エカマトラ
10/17~11/12	Rendez-Vous Otsuka South & North	トランバル大塚、星野リゾートOMO5東京大塚4階OMOベース	製作：ファビアン・ブリオヴィル・ダンス・カンパニー
10/21	シンポジウム フェスティバル・アップデート なぜ舞台芸術祭をまちなかで？（そしていかにしてこの感染症の時代にさえも開催するのか）	F/T remote (オンライン)	登壇者：ナタリー・ヘンディッジ（シンガポール国際芸術祭次期ディレクター）、ソフィヤーン・ウィーシー（ドリーム・シティ（チュニス）芸術監督）、セルマ・ウィーシー（ドリーム・シティ（チュニス）芸術監督）、ジョン・E・マグラ（マンチェスター国際フェスティバル（MIF）芸術監督、最高責任者）、長島確（フェスティバル/トーキョーディレクター）、河合千佳（フェスティバル/トーキョー共同ディレクター）
10/24、25	わたしたちは、そろっている。	東京芸術劇場シアターイースト、F/T remote (オンライン)	出演：モモンガ・コンプレックス 振付・演出：白神ももこ
10/30~11/1	トランスフィールド from アジア F/T x BIPAM 交流プロジェクト [The City & The City: Divided Senses]	東京芸術劇場シアターウエスト、F/T remote (オンライン)	ディレクター/メンター：長島確（F/T） ササビン・シリワニット（BIPAM） パートナー：BIPAM（バンコク国際舞台芸術ミーティング）
10/31~11/1	ムーンライト	東京芸術劇場シアターイースト	構成・演出：村川拓也
11/2~15	神の末っ子アネモネ	F/T remote (オンライン)	作：松井周 演出：キム・ジョン 原案：ヨハン・アウグスト・ストリンドベリ「夢の劇」
11/11~	トランスフィールド from アジア Voices in the Time of Pandemic	F/T remote (オンライン)	参加メンバー：ピチュ・クランチェン、ソ・ヒョンソク、居間theater、リーダイグオ、オクイ・ララ×滝朝子、ノーウェア、ジャヒド・リボン、ウォン・オイミン、スン・シャオシン、イ・キョンソン

芸劇オータムセレクション

開催日	プログラム名	会場	作・演出者等
10/9~18	ダークマスター VR	東京芸術劇場シアターイースト	原作：狩撫麻礼 画：泉晴紀（株）エンターブレイン「オトナの漫画」所収 脚色・演出：タニノクロウ
10/15~11/1	真夏の夜の夢	東京芸術劇場プレイハウス	原作：ウィリアム・シェイクスピア 小田島雄志訳「夏の夜の夢」より 潤色：野田秀樹 演出：シルヴィウ・ブルカレテ
10/30、11/1	モーツァルト／オペラ『フィガロの結婚』～庭師は見た！～（再演）	東京芸術劇場コンサートホール	指揮・総監督：井上道義 演出：野田秀樹
11/6~8	ITA（インターナショナル・シアター・アムステルダム）イヴォ・ヴァン・ホーヴェ演出作品上映会	東京芸術劇場プレイハウス	演出：イヴォ・ヴァン・ホーヴェ 出演者：インターナショナル・シアター・アムステルダム俳優
11/24~12/7	芸術監督国際オンライン・ミーティング	オンライン	ホスト・パネリスト：野田秀樹（東京芸術劇場） ゲスト・パネリスト：デイディエ・デシャン（パリシヤイヨ劇場）、トーマス・オスターマイヤー（ベルリンシャウビューネ）、イヴォ・ヴァン・ホーヴェ（インターナショナル・シアター・アムステルダム）、コンスタンティン・キリアック（シビウ国際演劇祭）、アン・リユー（台湾 国家两厅院）

APAF-アジア舞台芸術人材育成ファーム

開催日	プログラム名	会場	作・演出者等
7/10~10/21	APAF2020 Exhibition 稽古	オンライン、3331 Arts Chiyoda ほか	ディレクションチーム：ジェームズ・ハーヴェイ・エストラータ、Aokid、額田大志
10/22~25	APAF2020 Exhibition 『フレフレ Ostrich!! Hayupang Die-Bow-Ken!』 + Happy Birthual Tamago Party	ソーシャル・アジア・シアター（オンライン）、東京芸術劇場シアターウエスト	ディレクションチーム：ジェームズ・ハーヴェイ・エストラータ、Aokid、額田大志 パフォーマー：パニー・カダック、ロビ・ルスティアナ、山中芽衣
8/20~10/22	APAF2020 Lab	オンライン	Lab ファシリテーター：JK アニコチェ、アルシタ・イスワルダニ、武田力 Lab メンバー：ニア・アグスティーナ、ショーン・チュア、アレクシス・カン、ホルム・カン、ジュンイー・マー、スナヤナ・プレムチャンドル、ネス・ロケ、山口恵子
10/23~31	APAF2020 Lab 最終プレゼンテーション	オンライン、東京芸術劇場アトリイースト	Lab ファシリテーター：JK アニコチェ、アルシタ・イスワルダニ、武田力 Lab メンバー：ニア・アグスティーナ、ショーン・チュア、アレクシス・カン、ホルム・カン、ジュンイー・マー、スナヤナ・プレムチャンドル、ネス・ロケ、山口恵子
10/25	APAF2020 Lab フィードバックセッション	オンライン	フィードバック：リバー・リン、武藤大祐 APAFディレクター：多田淳之介 Lab ファシリテーター Lab メンバー
9/10~10/25	APAF2020 Young Farmers Camp	オンライン	YFC ファシリテーター：柴幸男 YFC メンバー：本坊由華子、堀春菜、大橋玲、酒井直之、私道かび
10/24	APAF2020 Young Farmers Camp OPEN YFC ディスカッション 「ライブか？オンラインか？地方か？都市か？これからどうする20代!？」	オンライン	YFC ファシリテーター：柴幸男 YFC メンバー：本坊由華子、堀春菜、大橋玲、酒井直之、私道かび ゲスト：阿部健一、小西慶信、小川直史、山田カイル
10/20	APAF2020 Panel Discussion 「2030年代のアジアのプラットフォーム」	オンライン	登壇者：JK アニコチェ、リバー・リン、多田淳之介 司会：山崎健太

## 中止プログラム

芸劇オータムセレクション

開催日	プログラム名	会場	作・演出者等
11月	イヴォ・ヴァン・ホーヴェ演出 ITA「ローマ悲劇」	東京芸術劇場プレイハウス	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
11月	ダミアン・ジャレト名和晃平新作公演 「Planet」	東京芸術劇場プレイハウス	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

### ■連携事業（中止）

国立劇場共催公演事業

<言葉～ひびく～身体Ⅱ>「今を生きる」—現前する舞と生—（5/23、24 国立劇場 大劇場）

「伝統芸能の饗宴」（8/1、2 国立劇場 大劇場）

主催：独立行政法人日本芸術文化振興会（国立劇場）、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京（P.49「伝統芸能公演」参照）

伝統芸能普及公演「日本の心～吟と剣詩舞～」（8/19 国立劇場 大劇場）

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

（P.49「伝統芸能公演」参照）

### 【参加者の声】

●通訳者と考えるコミュニケーションワークショップ | 東京芸術祭2020 ～どうやって出会う！ To Meet or Not to Meet?～

・本日こちら受講してきました。国際協働の場のみでなく、よいクリエイションにするために必要な視点と準備、場のデザインを考える貴重な時間でした。

●野外劇「NIPPON・CHA! CHA! CHA!」

・役者陣がエネルギーをもって演ずれば演ずるほど作品が持つメッセージが浮かんでくるようでした。気持ち悪さがありながら、胸をすかされる心地よさ。ああ、空の空。この感覚こそ生舞台の醍醐味、と思えました。ふっと聞こえる池袋の喧騒が雄弁。素晴らしかったです！

# 24 東京芸術祭特別公演 ファンタスティック・サイト

## 【事業概要】

総合ディレクション：宮城聡（東京芸術祭 総合ディレクター）

### ■フィルム&パフォーマンス「Undercurrents」

ディレクション：長島確（フェスティバル/トーキョー ディレクター）、河合千佳（フェスティバル/トーキョー 共同ディレクター）

主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

共 催：東京芸術祭実行委員会 [豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会、公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）]

協 力：フェスティバル/トーキョー実行委員会、季節の佃煮 柳ばし 小松屋、八王子市、公益財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団、株式会社カフス、公益財団法人セゾン文化財団、株式会社森崎工業、MODESTE、八王子食糧株式会社、目黒ハウス

制 作：NPO法人アートネットワーク・ジャパン

### ■大駱駝艦・天賦典式「Crazy Camel Garden」

企画ディレクション：宮城聡（東京芸術祭 総合ディレクター）

主 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

共 催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、東京芸術祭実行委員会 [豊島区、公益財団法人としま未来文化財団、フェスティバル/トーキョー実行委員会、公益財団法人東京都歴史文化財団（東京芸術劇場・アーツカウンシル東京）]

制作協力：大駱駝艦、キャメルアーツ株式会社

宣伝協力：株式会社ポスターハリス・カンパニー

協 力：cozfish、株式会社アイネット

## 【事業趣旨（目的）】

国の重要文化財でもある東京都庭園美術館や、江戸から明治にかけて織物の一大産業地であった八王子のまちなかといった、「江戸」から「東京」へ、発展していった境目が垣間見える場所が東京にはある。それぞれ東京の歴史を感じられる場所＝サイトにおいて、パフォーマンス・アーツのジャンルの一つとして世界的に評価された日本発の身体表現「舞踏（暗黒舞踏）」や舞踏の流れを汲むダンサーによるパフォーマンスを上演した。

## 【開催状況】

新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえ、5月に予定していた「Crazy Camel Garden」は2021年度へ開催を延期することとしたが、「Undercurrents」は無観客公演のライブ配信と映像作品のオンライン発表を行った。

### ■フィルム&パフォーマンス「Undercurrents」

開催日	プログラム名	会場	アーティスト名	料金	視聴数(回)
1/11	『Tune To A Dead Channel: Departure / Arrival』 Arrival ライブ配信	森崎工業第二工場（北八王子）※オンライン生配信のみ	出演：大橋可也&ダンサーズ	無料	629
3/25配信開始	『Tune To A Dead Channel: Departure / Arrival』	オンライン	出演：大橋可也&ダンサーズ 映像：宮澤響	無料	295
3/25配信開始	『A Water Vein』	オンライン	出演：岩淵貞太 映像：宮澤響	無料	138
3/25配信開始	『病める舞姫』	オンライン	出演：黒田育世 映像：宮澤響	無料	645

## 中止プログラム（2021年度へ開催を延期）

開催予定日	会場	プログラム名
5/29~31	東京都庭園美術館	大駱駝艦・天賦典式『Crazy Camel Garden』

## 【参加者の声】

・ 静謐な空気が美しい映像でした。知っている感覚と、でも異物感の高い人と何もない家の緊張感がスリリング。インタビューもあって、初めて「病める舞姫」にとっつけた気がします。

- ・ 山海塾の動画を探していたところたまたまこちらの動画がおすすめ欄に上がってきました。黒田育世さんが大好きなので視聴しました。舞台ではこんな至近距離で動きを見ることはできませんし撮影手法にも感動。黒田さんの手のような足の動き。息も詰まるほどじっと見入ってしまい、サディスティックなまでに踊り通してきたのがこの足なんだとうるうしてしまいました。ライブ配信でこのような素晴らしいものを予期せず見られるなんて！数年前まで舞台以外ではDVDくらいしか本格的に見ることは叶わなかったのでメディアの進歩に感謝です。昨日の山海塾の舞台に続いて今日も感動。幸せです。ありがとうございます。

# 25

## Shibuya StreetDance Week 2020

### 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年11月1日（日）～7日（土）
会場	オンライン（Shibuya StreetDance Week公式YouTubeチャンネル）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、Shibuya StreetDance Week 実行委員会
共催	渋谷区
助成・協力	東京都
後援	渋谷区教育委員会、一般社団法人渋谷未来デザイン、一般財団法人渋谷区観光協会、東京商工会議所渋谷支部、商店街振興組合原宿表参道櫛会
協力	渋谷区立宮下公園（宮下公園パートナーズ）、En Dance Studio、EMPTY KRAFT、coba、日本工学院専門学校ダンスパフォーマンス科
企画・制作・運営	株式会社パルコ、ファイブメディット株式会社
制作協力	株式会社アノマリー、株式会社LAST TRAIN GETTER、株式会社ODORIBA、株式会社ワタナベエンターテインメント、株式会社ライジングプロダクション
視聴料	無料
総視聴数	33,925回

### 【事業趣旨（目的）】

表現者（ダンサー）、参加者（オーディエンス）、舞台（ステージ）を繋ぎ、幅広い客層に支持される新しい芸術文化として、ストリートダンスのポジショニングを確立し、ストリートダンサーの聖地である渋谷からストリートダンスの魅力や本質的な価値を国内外へ発信し、活力に溢れた街をつくる。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症の拡大の状況を踏まえ、代々木公園等での開催は見送り、全プログラムをオンライン配信で実施した。（各開催日から1週間アーカイブ配信）

開催日	プログラム名	アーティスト名	内容	視聴数(回)
11/1	ONLINE SSDW CONTEST	<出場校> 東京都立杉並高等学校、目黒学院高等学校 <審査員> ZIN (Hilty & Bosch)、suzuyaka、Sota (GANMI) <MC> IMAGINE	次世代のルーキーの育成、発掘を目的とした高校生対抗ストリートダンス選手権。	3,833
11/3	ONLINE DANCE LESSON	<講師> Nazuki (発育・脳育ダンス) HORIE (リズム&ステップ) FISHBOY (POPPING) SHIGE (HIPHOP)	プロダンサーによるオンラインダンスレッスン。	4,147
	ONLINE HIPHOP LEARNING	<講師> MAR SKI、KITE、KENTO <MC> Co1	ダンススキルやカルチャーを学びながら、ストリートダンスをより深く理解できるワークショップ。	1,726
11/7	ONLINE SHOWCASE LIVE	<出演者> AMI、BlackIllmurai、Sota&Kazashi&kooouya from GANMI、Miyu、NADiA、Revety、yu-ki. ☆	渋谷 MIYASHITA PARK で撮影したスペシャルワンカットショーケースの映像を配信。	24,219
	ONLINE DANCE WITH music	<出演者> 三浦大知	テーマソングにあわせたパフォーマンス動画を募集し、アンバサダーの三浦大知と映像上で共演するプログラム。	

### 【参加者の声】

- ・オンラインでのイベント開催楽しかったです。オフラインだけでなく、今後もオンラインでもイベントをやってほしいです。（30代／女性）
- ・一般から動画を募集して、子供から大人まで参加でき、オンラインだったので地方でも見られるので良かったです。もっとこういうイベントがメジャーになるといいなと思いました。（50代／女性）
- ・ダンサーさん達が踊る姿から、楽しいという気持ちが伝わってきて、見てるこちらが元気を貰いました。ありがとうございました。（30代／男性）

# 26

## キッズ伝統芸能体験

### 【事業概要】

開催日	令和2（2020）年11月1日（日）～令和3（2021）年3月30日（火）
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
企画制作・運営	公益社団法人日本芸能実演家団体協議会〔芸団協〕
制作協力	公益社団法人能楽協会、公益社団法人日本舞踊協会、公益社団法人日本三曲協会、一般社団法人長唄協会
共催	公益財団法人新宿未来創造財団（新宿区立新宿文化センター）、東村山市教育委員会、公益財団法人立川市地域文化振興財団
協賛	独立行政法人日本芸術文化振興会
後援	新宿区、立川市教育委員会
協力	公益財団法人梅若会、公益社団法人宝生会、公益財団法人日本伝統文化振興財団
参加申込者数	1,392人
参加費	スタンダードプログラム15,000円（全16回／稽古14回、リハーサル1回、発表会1回） ユースプログラム15,000円（全12回／稽古10回、リハーサル1回、発表会1回）
参加者数	192人
発表会鑑賞者数	723人

### 【事業趣旨（目的）】

伝統芸能のプロの実演家が稽古にふさわしい場所で、子供たちに直接、定期的かつ継続的に指導を行うことで、伝統芸能の世界が培ってきた礼儀作法、厳しさなどの文化環境を、子供たちが自然と身につけられるような学びの場を作る。あわせて、その成果を舞台上で発表する機会を提供することによって、目的意識をもって学ぶ大切さを知るとともに、本格的な伝統芸能体験を通して、世界の中の日本人としての意識と感性を涵養することで、子供たちばかりでなく、家庭内での伝統芸能に対する興味・関心を高め、伝統芸能を次世代へ継承し、東京の文化的魅力を向上させることを目的として実施。

### 【開催状況】

当初は6月から参加者募集を開始する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況を受け、参加者募集を9月からとし、開講式の動画での代替、各コースの定員縮小、稽古時間の短縮、十分な換気と消毒を行うなど対策を徹底し、実施した。

#### 1 スタンダードプログラム

ジャンル	コース	稽古場所	稽古日	指導者	参加者（人）	
能楽	謡・仕舞（金春流）	梅若能楽学院会館	11/2、9、16、30 12/7、21 1/18、25	辻井八郎、中村昌弘、村岡聖美、柏崎真由子、林美佐	7	
	狂言（和泉流）		2/1、8、15 3/1、8、15	深田博治、高野和憲、月崎晴夫、中村修一、内藤連、飯田豪	8	
長唄	三味線 [東村山]	東村山市立中央公民館	11/22、29 12/6、13、20 1/17、24、31 2/7、14、21 3/7、14、21	杵家弥七、東音岩田喜美子、今藤政音、杵屋栄日陽、杵屋五三吉都、杵屋五章、芳村伊十治郎、東音植松美名ほか	15	
	三味線 [渋谷]	杵家会館	11/15、22 12/6、13 1/10、17、24、31 2/7、14、21 3/7、14、21		15	
	囃子 [篠笛]	芸能花伝舎	11/29 12/6、13、20 1/10、17、24		鳳聲千晴、藤舎理生ほか	10
	囃子 [小鼓]		2/7、14、21、28 3/7、14、21		望月庸子、望月太左衛、梅屋巴、川島佑介、望月太津之ほか	16

ジャンル	コース	稽古場所	稽古日	指導者	参加者(人)
三曲	箏曲(おこと) (A) (B) 生田流 (C) 山田流	新宿区立新宿文化センター	11/29 12/6、13、20 1/10、17、24、31 2/7、14、21 3/7、14、21	(生田流) 福田栄香、青野雅楽浪、大嶋敦子、多田操彩秀、富山清仁、吉永真奈 (山田流) 山勢麻衣子、小林名与郁、杉本禮代賀、奥山益勢、渡理潤子、萩岡松柯	28
	尺八			黒田鈴尊、青木混一郎	9
日本舞踊	日本舞踊[新宿] (女子)	芸能花伝舎	11/22 12/6、13、20 1/11、17、24、31 2/7、21、28 3/7、14、21	西川扇左衛門、花柳寿美琴音、花柳昌鳳生、坂東はつ花、花柳寿々彦、花柳静久郎、藤間翔央、水木優翠	20
	日本舞踊[新宿] (男子)				10
	日本舞踊[立川] (女子)	たましん RISURUホール	11/1、29 12/6、13、20、27 1/17、24 2/21、28 3/7、14、21、28	藤間仁鳳、吾妻君彌、藤間涼太郎、水木紅耶、若見匠祐助	15
計					153

## 2 ユースプログラム

ジャンル	コース	稽古場所	稽古日	指導者	参加者(人)
長唄	三味線[ユース]	紫山会館	12/20、27 1/10、31 2/7、21、28 3/7、14、21	杵家弥七、東音岩田喜美子、今藤政音、杵屋栄日陽、杵屋五三吉都、杵屋五章、芳村伊十治郎、東音植松美名ほか	20
三曲	箏曲[ユース] (山田流)	新宿区立新宿文化センター	1/10、17、24、31 2/7、14、21 3/7、14、21	(山田流) 山勢麻衣子、小林名与郁、杉本禮代賀、奥山益勢、渡理潤子、萩岡松柯	10
日本舞踊	日本舞踊[ユース]	芸能花伝舎	1/11、17、24、31 2/7、21、28 3/7、14、21	西川扇左衛門、花柳寿美琴音、花柳昌鳳生、坂東はつ花、花柳寿々彦、花柳静久郎、藤間翔央、水木優翠	9
計					39

## 3 発表会

ジャンル	コース	日程	会場	入場者数
能楽	謡・仕舞(金春流)／狂言(和泉流)	3/21	宝生能楽堂	92
日本舞踊Ⅰ	日本舞踊[新宿](ユース)	3/29		149
三曲Ⅰ・日本舞踊Ⅱ	尺八/日本舞踊[立川]			101
三曲Ⅱ	箏曲(生田流)(山田流)、(ユース)(山田流)	3/30	国立劇場 大劇場	119
長唄Ⅰ	三味線(東村山)(ユース(Y1))／囃子(小鼓)			154
長唄Ⅱ	三味線(渋谷)(ユース(Y2))／囃子(篠笛)			108
計				723

## 中止プログラム

開催予定日	会場	プログラム名
9/20	国立能楽堂	開講式

### 【参加者の声】

#### ●お稽古に参加した子供の声

- ・毎回、能ぶたいにいておけいこできて、とてもよかった。(謡・仕舞/小学生女子)
- ・目標に向かってがんばれるようになった。(囃子〔小鼓〕/小学生男子)
- ・わたしはでんとう文化にふれるのがはじめてで自信が持てませんでした。でも先生がていねいに教えてくれたから、自信がもてました。先生にはとても感しゃしています。(三味線/小学生女子)
- ・先生のえんそうが美しかった。自分もあのような音色を出せるようになりたい。(尺八/小学生男子)
- ・すごく楽しかったです。おけいこはきつかったけれど、姿勢が良くなったり、国立げき場で踊れて良かったです。(日本舞踊/小学生男子)
- ・短い期間で先生たちに熱い気持ちで教えてもらっていたので、大きなたっせい感がえられました。心からまたやりたいと思っています！(箏曲/小学生女子)
- ・先生方、スタッフの皆様、この度は大変貴重な体験をありがとうございました。先生方のご指導を受けたこと、浴衣を着れるようになったこと、着物を着て大劇場で踊ったこと…今回の素晴らしい経験は一生の思い出になる出来事でした。参加して良かったなとおもいます。お忙しい中、このような体験プログラムを行って下さり、大変ありがとうございました！！(日本舞踊/高校生女子)

●保護者の声

- ・この度は貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。コロナ禍での実施でしたが、先生方をはじめ皆様さまにさまざまな面でご配慮いただき、安心して元気に最後まで続けることができました。練習中も指が細く穴がふさがらない娘のためにシールを用意してくださったり、うまくいかない時も励ましてくださり感謝でいっぱいです。貴重な体験ができ、親子共々成長できるととても素晴らしい事業だと思いますので、ぜひ今後も続けてほしいです。(囃子〔篠笛〕)
- ・先生方やお道具など、一流の世界をのぞかせていただくことは、子供時代の宝になるとつくづく感じました。コロナ禍の対策は誰もが初めての中、最大限のことをして頂いたと思っています。(三味線)
- ・コロナ禍で大変な状況のなか、稽古継続、発表会と実施していただけたのは、本当に感謝しております。稽古最終日、本人は帰路の途中、号泣しておりました。さみしい…。一生の宝です。(謡・仕舞)
- ・コロナで後ろ向きだった心が、ずっと前に向くような積極性が出てきたように思います。こんな時だからこそやってよかったと思いました。(日本舞踊)
- ・本人が私の想像よりもはるかにおけいこの日を楽しみにしていました。日本の文化を先生方のお陰で大人よりもスムーズに気楽に受け入れていました。子供にとっても親にとっても引き出しが増え、これからも興味を持ち続けていきたいと思っています。(狂言)



お稽古の様子 能楽(狂言) 撮影：菅原康太



お稽古の様子 三曲(箏曲) 撮影：武藤奈緒美



発表会の様子 日本舞踊 撮影：武藤奈緒美



発表会の様子 長唄(囃子) 撮影：武藤奈緒美

# 27

## 子供のための伝統文化・芸能体験事業

### 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年9月～令和3（2021）年2月
会場	小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校、高等学校 等
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
助成・協力	東京都
参加者数	2,639人

### 【事業趣旨（目的）】

子供たちが日本の伝統文化・芸能に触れ、日本の文化の価値に対する正しい理解を深めるとともに、多様な文化に対する幅広い知識を育めるよう、若手実演家等を講師とする体験・鑑賞プログラムを、学校と連携した取組として実施する。

### 【開催状況】

当初は6月から事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、事業実施開始を9月からとし、一部をオンライン実施や事前に映像を見て予習をしていただくことで事業実施の際の接触を最少限にできるように工夫して実施した。また、予定していた実施の一部を中止することとした。

開催日	学校名	内容	実施団体	体験者（人）
9/2	江戸川区立小松川第三中学校	演芸（落語）	公益社団法人 落語芸術協会	62
9/12	目黒区立緑ヶ丘小学校	演芸（紙切り）	公益社団法人 落語芸術協会	80
9/28	港区立麻布小学校	演芸（落語）	公益社団法人 落語芸術協会	45
10/5	墨田区立錦糸小学校	演芸（落語）	公益社団法人 落語芸術協会	40
10/7	青梅市立第四小学校	芸能（江戸糸あやつり）	公益財団法人 江戸糸あやつり人形 結城座	67
10/20	品川区立第一日野小学校	演芸（落語）	公益社団法人 落語芸術協会	90
10/28	あきる野市立西秋留小学校	芸能（八王子車人形）	西川古柳座	68
11/5	青梅市立新町中学校	能楽（狂言）	公益社団法人 能楽協会	139
11/14	三鷹市立中原小学校	演芸（紙切り）	公益社団法人 落語芸術協会	85
11/17	狛江市立狛江第五小学校	能楽（狂言）	公益社団法人 能楽協会	92
11/20	板橋区立志村第二中学校	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人 能楽協会	118
11/27	立川市立立川第一中学校	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人 能楽協会	120
11/28	中野区立桃園第二小学校	能楽（狂言）	公益社団法人 能楽協会	55
11/28	国立市立国立第六小学校	演芸（落語）	公益社団法人 落語芸術協会	58
11/30	世田谷区立奥沢中学校	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人 能楽協会	27
12/1	八王子市立第二中学校	伝統工芸（江戸木版画）	株式会社 高橋工房	53
12/2	町田市立南第三小学校	能楽（謡・仕舞）	公益社団法人 能楽協会	60
12/3	八丈町立大賀郷中学校	箏	公益社団法人 日本三曲協会	32
12/5	杉並区立済美小学校	伝統工芸（江戸表具）	東京表具経師内装文化協会	57
12/11	東村山市立久米川小学校	演芸（落語）	公益社団法人 落語芸術協会	90
12/12	大田区立志茂田小学校	雅楽	一般社団法人 伶楽舎	69
12/15	府中市立府中第六小学校	能楽（狂言）	公益社団法人 能楽協会	124
12/16	文京区立指ヶ谷小学校	三味線	一般社団法人 長唄協会	43
12/17	台東区立金曾木小学校	箏	公益社団法人 日本三曲協会	72
12/21	東大和市立第九小学校	三味線	公益社団法人 日本小唄連盟	53
12/22	東京都立松原高等学校 定時制課程	日本舞踊	公益社団法人 日本舞踊協会	18
12/23	武蔵野市立井之頭小学校	雅楽	一般社団法人 伶楽舎	85
12/25	東京都立足立新田高等学校	箏	公益社団法人 日本三曲協会	34
1/13	福生市立福生第七小学校	演芸（紙切り）／オンライン	公益社団法人 落語芸術協会	40
1/14	大田区立中萩中小学校	伝統工芸（江戸友禅）	東京都工芸染色協同組合	74
1/14	渋谷区立笹塚小学校	雅楽	一般社団法人 伶楽舎	65
1/16	葛飾区立住吉小学校	演芸（落語）	公益社団法人 落語芸術協会	72
1/18	練馬区立豊玉南小学校	三味線	一般社団法人 長唄協会	74
1/22	小平市立小平第七小学校	雅楽	一般社団法人 伶楽舎	108
1/25	荒川区立第六瑞光小学校	雅楽	一般社団法人 伶楽舎	101
2/8	立川市立柏小学校	日本舞踊	公益社団法人 日本舞踊協会	95
2/12	世田谷区立代沢小学校	箏	公益社団法人 日本三曲協会	74
合計				2,639

## 中止プログラム

開催日	学校名	内容	実施団体	体験者(人)
—	杉並区立大宮小学校	茶道	東京都華道茶道連盟	—
—	足立区立北鹿浜小学校	茶道	東京都華道茶道連盟	—
—	東京都立あきる野学園	雅楽	一般社団法人 伶楽舎	—
—	東京国際フランス学園	日本舞踊	公益社団法人 日本舞踊協会	—
—	東京都立田園調布特別支援学校	能楽(狂言)	公益社団法人 能楽協会	—

### 【教員の声】

- ・放課後、すれ違った生徒に感想を聞いたところ、「楽しかったです！」や、「ちょっと難しかったけどおもしろかった。」などの声がありました。また、廊下で基本の姿勢を実践してくれた3人組もいました。(能楽/謡・仕舞)
- ・直前に国語の授業で柿山伏を学習し、音読発表会を行っていたため、本物の狂言師さんと自分達の音読を比較しながら夢中になって鑑賞していました。鑑賞後、教室では、すり足をしていたり、音読練習をしていたりする姿が見られました。(能楽/狂言)
- ・初めて鑑賞する子供が多かったのですが、とても集中して聞いていました。授業後の感想でも、落語の良さに気づき、興味を示す子供が多くいました。また次は他の伝統芸能も鑑賞してみたいです。(演芸/落語)
- ・オンラインにもかかわらず、集中して取り組んでいた。実際に自分で紙切りを体験できたので、伝統芸能をより身近に感じられた。(演芸/紙切り)
- ・あまり触れたことのない日本舞踊を間近に見ることができ、とても喜んでいました。事前に動画を見せていただいたことで興味・関心を高めることもできました。(日本舞踊)
- ・とても集中して真剣に説明を聞いていました。初めて箏に触れる子がほとんどで、おそろおそろ弾いている様子が微笑ましかったです。貴重な経験となりました。ありがとうございました。(箏)
- ・なかなか伝統音楽に触れる機会が少ないので、生の音楽を聴かせていただき子供達はとても嬉しそうでした。楽器の体験では、はじめてさわる楽器に、目を輝かせて演奏していました。この状況では困難だとは思いますが、楽器を演奏する時間をもう少しとれたらよかったです。(三味線)
- ・生徒は楽器や楽器の音色にはとても興味をしめして、本物を見て、体験もすることができて、楽しかったと言っていました。とても強く印象に残ったと思うので、これからは雅楽の楽器の音色に反応できると思います。(雅楽)
- ・大変楽しそうにしており、有意義な時間になったことと思います。説明も大変わかりやすく、生徒も理解しやすい内容であったように感じました。(伝統工芸/江戸木版画)
- ・この一年間で一番楽しかったと、多くの子の声が聞こえてきました。(伝統工芸/江戸友禅)
- ・子供たちは、実施前から楽しみにしていました。一生懸命に話を聞き、休み時間や授業後に話を個人的に聞きに行く姿が見られました。興味深かったのだと思います。つくったものを持って帰れたこともとても良かったです。家で今回のことが話題になったという声が多く聞こえてきました。(伝統工芸/江戸表具)
- ・実際に触ることができ、とても喜んでいました。実演があったことで、自分たちが行った時の難しさと、演者の方の上手な動かし方を比べることができたようです。(芸能/江戸糸あやつり人形)
- ・とても引き込まれていました。しっかりとした説明や児童が体験できるコーナーなど工夫されていて大変良かったと思います。(芸能/八王子車人形)

# 28

## パフォーマンススキッツ・トーキョー

### 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年7月3日（金）～令和3（2021）年3月25日（木）
会場	ホール5か所（狛江エコルマホール、東大和市民会館ハミングホール、羽村市生涯学習センターゆとろぎ、※新宿文化センターと武蔵村山市民会館は中止）、公立小中学校14校（うち特別支援学級5校）、障害児入所施設2施設
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人 芸術家と子どもたち、羽村市教育委員会（羽村市生涯学習センターゆとろぎ開催のみ）、公益財団法人新宿未来創造財団（新宿文化センター開催のみ）
共催	一般財団法人狛江市文化振興事業団（狛江エコルマホール開催のみ）、東大和市民会館ハミングホール（東大和市民会館ハミングホール開催のみ）、武蔵村山市民会館、武蔵村山市教育委員会（武蔵村山市民会館開催のみ）
助成・協力	東京都
後援	東大和市教育委員会（東大和市民会館ハミングホール開催のみ）
参加費	無料（参加、公演観覧）
参加者数	760人
鑑賞者数	2,077人（ただし、2事業は公演中止につき、鑑賞者なし）

### 【事業趣旨（目的）】

子供たちの創造性・自主性・コミュニケーション能力の向上、身体を使ったプレゼンテーション能力の向上と地域住民への成果発表、プロのアーティストとの触れ合い・キャリア教育を目的とし、また、ホールを拠点にした地域活性化、本事業をより多くの可能性を持って必要とする子供たちへのアプローチを行う。

### 【開催状況】

ダンスや演劇、音楽などの分野で活動するプロの現代アーティストを、都内の小中学校やホール・文化施設、児童養護施設等に派遣。10日間程度のワークショップを行い、子供たちが主役のオリジナルの舞台作品をつくりあげる。最後に発表公演を行い、地域や教育・文化各方面の多くの人たちにワークショップの成果を発信する。

令和2（2020）年度は、3ホール、14小中学校（島しょ部含む）、2障害児入所施設にて開催した。学校での開催にあたっては、より多くの影響を与える可能性の高い子供たちへのアプローチとして、一部特別支援学級でも実施した。

広報活動の一環として、学校向け事業に関する広報用パンフレットを都内全公立小中学校・特別支援学校1,950校ほか、各教育委員会等へ広く配布した。

令和2（2020）年度 パフォーマンスキッズ・トーキョー実績一覧

会場名	アーティスト	開催日	日数	対象学年	参加者 (人)	発表公演タイトル	発表	鑑賞者 (人)
江東区立東雲小学校	青木尚哉 (振付家・ダンサー)	10/27、11/2、 10、13、17、 12/1、4、8	8	6年生4クラス	134	『おどって(おどろ)し のめ^134(おどろ)^』	12/8	230
品川区立戸越小学校	渡辺麻依 (演出家・俳優)	9/28、10/14、 19、11/5、9、 16、18、25、 26、27	10	6年生2クラス	78	『ライオンと魔女』	11/27	100
大田区立矢口西小学校	ASA-CHANG (音楽家)	9/28、10/19、 22、11/2、 12、18、25、 26	8	特別支援学級 1～5年生	8	『ロックミーズ!の100 年グルーヴ』	11/26	700
渋谷区立加計塚小学校	楠原竜也 (振付家・ダンサー)	11/19、 12/25、1/13、 2/1、18、24、 26、27	8	2年生2クラス	44	『スイミー』	2/27	50
板橋区立中台小学校	森下真樹 (振付家・ダンサー)	12/18、23、 24、1/13、 14、15、16	7	6年生2クラス	57	『I can feel it all over』 ～世界へ向けた私たちの 冒険～	1/16 (映像撮影) ※後日 映像鑑賞	43
練馬区立大泉第二小学校	棚川寛子 (舞台音楽家)	10/16、30、 11/20、1/15、 22、2/1、5、 17、19、22、 24、26	12	6年生4クラス	126	『オフェリアと影の一座』	2/24、26	260
府中市立白糸台小学校	棚川寛子 (舞台音楽家)	10/6、13、 20、27、 11/2、4、6、 10、17、19、 21	11	6年生3クラス	86	『オフェリアと影の一座』	11/21	80
府中市立南町小学校	長井江里奈 (ダンサー・演出家・ 山猫団主宰)	9/24、10/2、 12、28、 11/5、9、11、 14	8	特別支援学級 1～6年生	24	『ナリキリ国へようこそ』	11/14 (映像撮影) ※後日 映像鑑賞	25
国立市立国立第八小学校	加藤紗希 (振付家・ダンサー・ 俳優)	1/12、19、 26、28、2/2、 9、15、16、 20	9	4年生1クラス	41	『わたしの今いるこの場 所で』	2/16、20	90
練馬区立石神井中学校	中村蓉 (ダンサー)	10/14、22、 28、11/4、 16、30、 12/10、16、 21	9	特別支援学級 1～3年生	44	『新・オズの魔法使い』	12/21	40
八王子市立第四中学校	渡辺麻依 (演出家・俳優)	12/21、1/13、 18、20、27、 2/3、8、10、 13	9	特別支援学級 1～3年生	29	『じごくのそうべえ』	2/13	60
多摩市立青陵中学校	田村一行 (舞踏家・振付家・俳優)	10/21、 11/10、17、 24、30、 12/2、10、 14	8	特別支援学級 1～3年生	27	『なにもない空間』	12/14	20
合計			107		698			1,698

会場名	アーティスト	開催日	日数	対象学年	参加者 (人)	発表公演タイトル	発表	鑑賞者 (人)
八丈町立三原小学校	小林利那 (振付家・ダンサー)	12/17 (三原小 学校にて) 1/14、22、28、 2/4、12 (オン ライン)	6	6年生	3	『魔法教師と6年生』	映像制作	100
青ヶ島村立青ヶ島小学校	川合ロン (振付家・ダンサー)	7/3、15、9/ 9 (オンライン) 9/2、3、14、 15、16、17、 18、20 (青ヶ 島小学校にて)	11	1～5年生	7	『風と雨と霧と虹と星と 海と空のはなし』	9/20	100
合計			17		10			200

会場名	アーティスト	開催日	日数	参加者	参加者 (人)	発表公演タイトル	発表	鑑賞者 (人)
新宿文化センター	東野祥子 (振付家・ダンサー)	—	—	—	—	『ニモマケズ ～世界は君の手の中に～』	—	—
狛江エコルマホール	安藤洋子 (振付家・ダンサー)	8/12、13、 14、17、19、 20、21、22	8	小学2～ 中学1 年生	14	『「空」～ひかりマップ& おとマップ～』	8/22	68
東大和市民会館 ハミングホール	岩淵貞太 (振付家・ダンサー)	12/1、2、3、8、 10、17、18、 19	8	小学3～ 小学6 年生	11	『星々、もしもし。』	12/19	41
武蔵村山市民会館さくら ホール	阿部初美 (演出家)	—	—	—	—	『コラージュ コラージュ』	—	—
羽村市生涯学習センター ゆとろぎ	渡辺麻依 (演出家・俳優)	12/3、4、6、8、 9、11、16、 17、18、19	10	小学3～ 中学1 年生	12	『水のまにまに』	12/19	55
合計			26		37			164

会場名	アーティスト	開催日	日数	対象学年	参加者 (人)	発表公演タイトル	発表	鑑賞者 (人)
児童養護施設等 渋谷区宮代学園	松岡大 (舞踏家)	10/10 (宮代学 園にて) 12/12、1/17、 2/13、3/7 (オ ンライン)	5	小学4～ 高校2 年生	5	なし	3/7 (映像撮影)	15
青梅市立友愛学園児童部	新井英夫 (体奏家・ダ ンスアーティスト) はしむかいゆうき (演奏家)	2/20、3/6、 25 (全てオン ライン)	3	小学4～ 高校3 年生	10	なし	なし (CD作成)	—
合計			8		15			15

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新宿文化センター、武蔵村山市民会館は中止  
※実績日数は発表を含む

## 【参加者の声】

### ●ホール

- ・知らない子同士で期間も短いこともあり、最初は大丈夫かな？と心配しておりましたが、日に日に通うのが楽しくなってきたようで、帰ると楽しそうに一日の出来事を話していました。自分の考えなども取り入れてくれるところが、本人にとっても、参加している意義を感じられ、とても良かったようです。このワークショップに参加し、度胸が付き、ひとまわりもふたまわりも大人になったように感じます。(羽村市生涯学習センターゆとろぎ/保護者)
- ・決められたことをその通りにやるのは簡単だけど、自分で考えて動く事がとても楽しかった。(狛江エコルマホール/出演者)

### ●学校

- ・劇といえば台本ありきが当たり前で、子供たちとストーリーを考えるなんて、まして特別支援学級でそれが出来るなんて考えもしなかったが、アーティストの力でそれを実現できたことで、子供を導き想いを引き出す方法を知ることが出来たことが一番の学びです。(府中市立南町小学校/先生)
- ・小学生最後の1年間、コロナ禍で行事はほぼ皆無に近い状態で子供たちも卒業の実感も薄く、諦めがちのように見え、「何とか思い出に残ることがあれば…」と願っていました。練習が始まってから「今日はPKTの練習の日なんだ」と嬉しそうな顔を見ることが増え、帰ってきてからも出来事を楽しそうに話していました。限られた日数の中で信頼関係を築けたようで、学年全体の力を合わせ、素敵な作品を創ることができたのだと思います。みんなマスク越しではありましたが、表情は明るく目がキラキラと輝いていたように見えました。子供たちも心に残る思い出となったと思います。貴重な体験をありがとうございました。(練馬区立大泉第二小学校/保護者)
- ・今回のワークショップを通して、日常の何気ない動きも踊りの瞬間になることを知りました。そして、練習を重ねることによって、言葉にならないことを身体で表現する面白さや難しさを知ることができました。ありがとうございます。(多摩市立青陵中学校/生徒)

### ●児童養護施設等

- ・毎回、何が飛び出すかわからない、そして、何をしても正解というワークショップは、職員の日々の関わりでは引き出せない児童の表現や動きを引き出し、職員も一緒になって活動することから、一体感、心理的な距離感を近づける効果があったと思います。3月のワークショップでは、新任職員にも入ってもらいましたが、児童との信頼関係醸成や距離感を一気に近づける機会になったと思います。(友愛学園/職員)

# 29

## Museum Start あいうえの

### 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月1日（水）～令和3（2021）年3月31日（水）
場 所	上野公園内の集積する9つのミュージアム
主 催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館・アーツカウンシル東京、東京藝術大学
共 催	上野の森美術館、恩賜上野動物園、国立科学博物館、国立国会図書館国際子ども図書館、国立西洋美術館、東京国立博物館、東京文化会館（五十音順）
参加者数	延べ2,316人 ※準備会等 516人を含む

### 【事業趣旨（目的）】

「Museum Start あいうえの」は、ミュージアム、大学、行政、市民が手を携え、新しい学びの機会の創出を目指す、21世紀型の教育事業（ラーニング・デザイン・プロジェクト）である。さらに、アートを介してコミュニティを育む事業、東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」と連動しながら、子供と大人がフラットに学び合える環境を創造することを目指す。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染拡大の状況を受け、プログラムの一部を中止した。

#### 1. 学校プログラム うえのウェルカム

開催日	参加校	参加者（人）
8/24、9/12、10/22	私立東洋女子高等学校（8/24、9/12オンライン）	264
11/9	足立区立高野小学校	59
	都立墨東特別支援学校（オンライン）	13
12/17	北区立田端小学校	83
	台東区立浅草小学校	54
計		※473

- ※ 参加者（子供）のほか、引率者、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ169人がプログラムに参加
- ※ 上記開催日のほか、準備会（オンライン含む）として、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ97人がプログラムに参加
- ※ 上記の開催のほかに、専門人材育成として、5月23日に国際基督教大学をオンラインで受入（29人参加）

#### 2. ダイバーシティ・プログラム やさしい日本語プログラム

開催日	協力団体名	会場	参加者（人）
11/23	NPO法人Sharing Caring Culture	東京都美術館	※12

- ※ 参加者（子供）のほか、保護者、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ25人がプログラムに参加
- ※ 上記開催日のほか、準備会として、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ5人がプログラムに参加

#### 3. ファミリー・プログラム

##### (1) 上野へGO!

開催日	内容	対象	参加者（人）
7/30、8/1、2、11/8、12/5（5日間全9回）	ステップ1（オンライン）	小学校1年生～高校3年生とその保護者	196
8/22、9/13、12/5、3/26（4日間全20回）	ステップ2（リアル）	「上野へGO! オンライン」に参加した子供とその保護者	143
計			※339

- ※ 参加者（子供）のほか、保護者、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ485人がプログラムに参加
- ※ 「オンライン」の実施回数・人数には「接続テスト会」1回を含む。
- ※ 上記開催日のほか、準備会・作品下見会等（オンライン含む）として、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ176人がプログラムに参加

##### (2) あいうえのアンバサダー

開催日	内容	参加団体	参加者（人）
9/26	オンライン	Miracle Kids Gakugeidai	23
11/3	リアル	Miracle Kids Gakugeidai	13
計			※36

- ※ 参加者（子供）のほか、保護者、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ90人がプログラムに参加
- ※ 上記開催日のほか、準備会（オンライン含む）として、アート・コミュニケーター（とびラー）など延べ176人がプログラムに参加

(3) ムービー部

開催日	内容	参加者(人)
5/10、17	オンライン	※55

※ 参加者(子供)のほか、保護者、アート・コミュニケーター(とびラー)など延べ87人がプログラムに参加  
 ※ 上記開催日のほか、準備会として、アート・コミュニケーター(とびラー)など延べ32人がプログラムに参加

中止プログラム

開催予定日	プログラム	会場
1/30	上野へGO！ステップ2(ファミリー・プログラム)	東京都美術館

【参加者の声】

●学校プログラム

・コロナ禍での通常の展覧会での活動ではない、本当に1からの企画、春から長きに渡りご検討くださり、ありがとうございます。今回気付かされたことは、展覧会が無い分、本質的に「鑑賞とは何か」という「問い」が必然的に湧き上がってきたことです。企画展ありきではなく、子どもたちに何を見て欲しいのか、何を考えて欲しいのか、関わって欲しいのか、とすることを考えさせられた、有意義な企画でした。(都内公立小学校教員)

●ファミリー・プログラム

・絵をみんなとみている時みんなの意見が聞けたのがよかったです。自分の意見も言えました(オンライン・子供)  
 ・正解や知識、情報をたくさん入れるだけが大切なのではなく、自分のなかにあるものを感じる、考えることで子供はまた大きくなるのですね。また、思ったことを伝えて、それを受けとめてもらえる安心感があれば子供はもっともって伝えてくれるのかもしれないね。(オンライン・保護者)

・こどもが とびラーさんに敬語で話し、「同じ意見です」など意外にしっかりコミュニケーションをとれていることに驚きました。また、親が介在しないことの重要性を非常に感じました。大人との上下とは違うとびラーさんとの時間が貴重だと思いました。(オンライン・保護者)

・いろいろはっけんできてまた来たいと思いました。国際子ども図書館をじっくりみるきかいがなかったから楽しいと感じました。(リアル・子供)

・今までかはくや動物園中心でしたが、絵画をみるきっかけになりました。またまとめの時間も子供と話しながら振り返ることができ印象に残った絵の話を深めることができました。(リアル・保護者)

●ダイバーシティ・プログラム

・筆を自由に動かすのが楽しかったです。色々な人と作品を見せあうとき、人によって「うつくしい」がちがっておもしろかったです。(子供)

# 30

## TACT FESTIVAL 2020

### 【事業概要】

開催期間 令和2（2020）年11月13日（金）～15日（日）  
 会場 東京芸術劇場 プレイハウス  
 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場・アーツカウンシル東京、東京都、豊島区  
 来場者数 553人

### 【事業趣旨（目的）】

青少年の感受性を育み、コミュニケーション能力を向上させることを目的として、海外から一流の劇団を招聘し、親子で楽しむことのできる上質な舞台公演やパフォーマンスを上演する。

### 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症の拡大の状況を受け、5月に実施を予定していたTACT FESTIVALは中止することとし、実施予定だったプログラムの一部をスピンオフ公演として11月に実施した。

公演日（回数）	会場	公演名	出演者等	料金（円）	入場者・参加者（人）
11/13～15（3）	東京芸術劇場 プレイハウス	TACT FESTIVAL2020 EX タクト・フェスティバル スピンオフ公演 伊藤キム×森下真樹『マキム！ーカラダとコエとオンガクと』	振付・演出：伊藤キム、森下真樹 出演：伊藤キム、森下真樹 【GERO】青沼沙季、KEKE、志筑瑞希 篠原健、鈴木しゅう、鈴木淳 【森下スタンド】伊藤奨、甲斐ひろな、甲斐美奈寿、中村駿、根本和歌菜	一般：3,500 65歳以上：2,500 25歳以下：2,000 高校生以下：1,000	553
合計					553

### 中止プログラム

公演日（回数）	会場	公演名	作・出演者等	料金（円）	入場者・来場者（人）
5/1～4（4）	東京芸術劇場 シアターイースト	ステレオプティック『STELLAIRE（ステレール）～星たちと愛の物語』	作・演出・演奏・出演：ステレオプティック（ロマン・ベルモン、ジャン＝パティエ・スト・マイエ）	一般：3,500 25歳以下：2,000 高校生以下：1,000	—
5/5（1）	東京芸術劇場 コンサートホール	『鈴木優人&読響ファミリーコンサート～きみと僕のハーモニー～』	出演：鈴木優人（指揮／マサト先生）、温水洋一（語り）、読売日本交響楽団（管弦楽）	大人：3,500 子供（4歳以上、高校生以下）：1,000	—
5/2～5（4）	東京芸術劇場 シアターイースト	伊藤キム×森下真樹『マキム！カラダとコエとオンガクと』【シアターバージョン】	振付・演出：伊藤キム、森下真樹 出演：伊藤キム、森下真樹 【GERO】青沼沙季、KEKE、定行夏海、志筑瑞希、篠原健、鈴木淳 【森下スタンド】伊藤奨、甲斐美奈寿、久保佳絵、小林利那、中村駿、根本和歌菜、宮崎あかね、山口将太郎	一般：3,000 25歳以下：1,500 高校生以下：1,000	—
5/3～5（3）	東京芸術劇場 ロワー広場	伊藤キム×森下真樹『マキム！カラダとコエとオンガクと』【フィールドバージョン】	出演：伊藤キム、森下真樹	無料	—
5/3～5（3）	東京芸術劇場 アトリエイースト	かんげきのおみやげ vol.2 『マキム！カラダとコエとオンガクと』関連企画 芸劇こどものアトリエ	講師：柏木俊彦、ストウミキコ	500	—
公開展示： 5/1～5 ワークショップ： 5/3～5（9）	東京芸術劇場 アトリエウエスト、ロワー広場	カ石咲『ニット・インベーター in 東京芸術劇場』&『ワークショップ』	出演：カ石咲	無料	—
5/1～5	東京芸術劇場アトリウム、東武東上線池袋駅南改札口前、グローバルリング（池袋西口公園野外劇場）	『街角LIVE！』	出演：様々なアーティスト	無料	—

### 【参加者の声】

#### ●伊藤キム×森下真樹『マキム！ーカラダとコエとオンガクと』

・自分自身の身体を自由に使いこなしている皆さんの姿を拝見して、あまり動かない日々を過ごしているため、家中でももっと身体を動かせる公園を歩いたりしよう！と強く感じました。ありがとうございました。

# 31 外国人向け伝統文化・芸能 短時間体験プログラム

## 【事業概要】

開催期間 令和2（2020）年4月4日（土）～令和3（2021）年3月28日（日）  
 会場 東京都江戸東京博物館、浅草文化観光センター ほか  
 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
 助成・協力 東京都

## 【事業趣旨（目的）】

東京が誇る日本の伝統文化・芸能を国内外に広く発信するため、観光拠点等において外国人が伝統文化・芸能を短時間で体験し、理解できる機会を提供することを目的に実施。

## 【開催状況】

新型コロナウイルス感染拡大の状況を受け、全プログラムを中止した。

## 中止プログラム

開催予定	会場	プログラム名
4/4～3/27 毎週土曜日 (ただし、12/26、1/2は除く)	東京都江戸東京博物館	演芸
4/12～3/28 毎週日曜日 (ただし、4/5、4/26、5/17、5/24、6/28、7/5、 7/12、7/26、8/23、9/27、10/25、1/3、3/7 は除く)	浅草文化観光センター	日本舞踊
5/24、6/28、7/26、8/23、9/27、10/25		長唄三味線
5/16、17	TAKAO 599 MUSEUM	獅子舞・曲芸、伝統工芸
10/3、4（東京大茶会2020同日開催）	江戸東京たてもの園	着物着付け、伝統工芸
10/17、18（東京大茶会2020同日開催）	浜離宮恩賜庭園	華道、着物着付け、伝統工芸

# 32 外国人向け伝統文化・芸能 体験・鑑賞プログラム

## 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年1月29日（金）～3月31日（水）
会場	オンライン
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
助成・協力	東京都
視聴数	25,981回

## 【事業趣旨（目的）】

東京が誇る日本の伝統文化・芸能を国内外に広く発信するため、外国人に向けて日本の伝統芸能をわかりやすく鑑賞できる公演を行う。公演の内容や伝統芸能の理解をより深めることができるよう、実際に楽器や道具に触れる等の工夫を凝らした体験をセットで実施する。

## 【開催状況】

新型コロナウイルス感染症の拡大の状況を受け、東京都庭園美術館で予定していた公演は中止することとし、インターネットを活用して、日本の伝統芸能を鑑賞頂ける機会を創出し、国内外へ広く発信するため、オンラインにて動画を配信した。

配信期間	公演名・事業名	演目・出演者等	料金（円）	視聴数（回）
1/29～3/31	『オンライン能「船弁慶」一伝説の英雄、日本文化の波動を東京から世界へ』	演目：能『船弁慶 真ノ伝』 出演者：友枝雄人、宝生欣哉、野村萬斎 ほか	無料	25,981
			計	25,981

## 中止プログラム

公演日	会場	公演名・事業名	出演者	料金（円）	入場者・参加者（人）
10/9、10	東京都庭園美術館・庭園（屋外） ※雨天時は喜多能楽堂にて実施	『庭園能 -初秋の空、躍動する伝統美-』	友枝雄人 ほか	—	—

## 参加者の声

### ■「オンライン能『船弁慶』一伝説の英雄、日本文化の波動を東京から世界へ」

- ・アーツカウンシル東京のオンライン能『船弁慶』、普段、絶対見られないアングルなどで映像を構成。面白かった…。
- ・アーツカウンシル東京のYouTubeで『船弁慶』。カメラワークが多く、能を違った角度から観られる映像で、貴重なものと思います。
- ・外国人向けらしいけど、定点カメラじゃないから席に座っていると見えないところも見えたりして面白い。
- ・ I wanted to express my appreciation for your posting on YouTube of Noh Online: Funa Benkei, Legendary Hero, Riding the Wave from Tokyo to the World; with English subtitles. It was beautifully filmed and presented in such a creative and artistic manner. I am very grateful that I was able to understand the presentation in its entirety. Thank you very much.

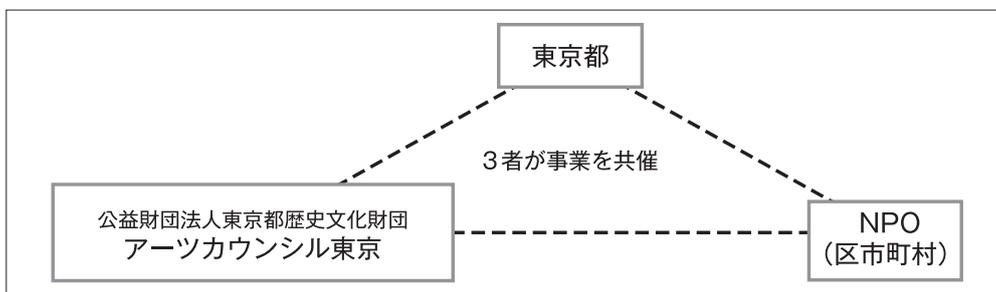
## 東京アートポイント計画 東京における文化創造拠点の形成

東京アートポイント計画は、地域社会を担うNPOとアートプロジェクトを展開することで、無数の「アートポイント」を生み出す事業である。

日常の営みに穏やかに寄り添い、まち・人・活動をつなぐアートプロジェクト。東京アートポイント計画では、平成21（2009）年度から現在（令和3年3月）までに、NPOを中心に50団体と40件のプロジェクトを共催してきた。本事業では、日常や社会に芸術文化が根付き、長期的な東京の魅力創造につながっていくために、アートプロジェクトを担う人材の育成や活動基盤の整備、区市町村の参画も重視している。

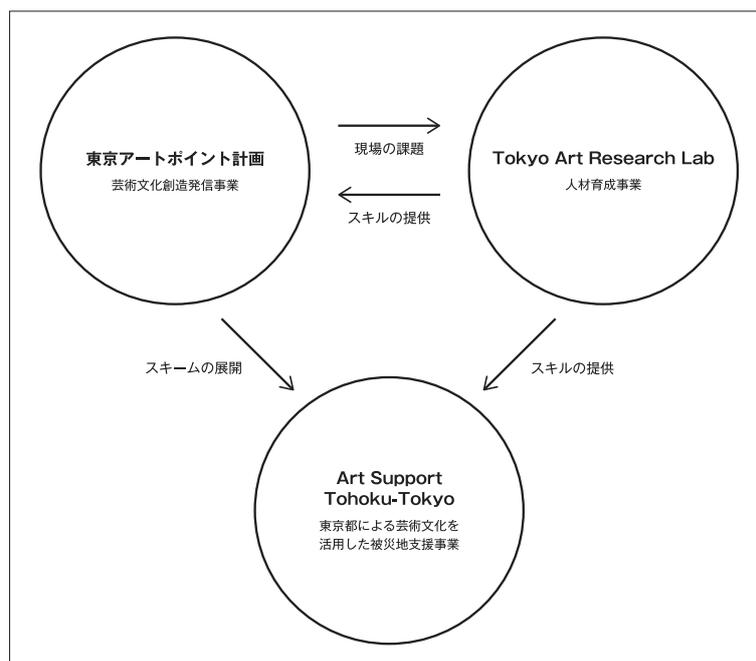
東京アートポイント計画の各アートプロジェクトは、東京都およびアーツカウンシル東京とNPOとの「共催事業」として実施している。費用負担のみならず、東京アートポイント計画のプログラムオフィサーが各プロジェクトに伴走し、情報、スキル、ネットワーク等をNPOに提供する点が特徴である。

### 東京アートポイント計画「共催事業」の実施体制



東京アートポイント計画は、アーツカウンシル東京の人材育成事業「Tokyo Art Research Lab」と連携し、アートプロジェクトの運営を担う人材を育てる「思考と技術と対話の学校」や、記録や評価手法を研究・開発するプログラムと相互にフィードバックを行っている。また、平成23（2011）年から令和2（2020）年度まで実施した「Art Support Tohoku-Tokyo（東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業）」では、東京アートポイント計画のスキームを東日本大震災の被災地域（岩手県、宮城県、福島県）で展開した。

### アーツカウンシル東京におけるアートプロジェクト関連事業での連携



## 33

## TERATOTERA

## 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
会場	オンライン
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人Ongoing
参加者数	延べ854人（オンライン）／動画視聴者数：1,339人／サイト訪問者：延べ3,895人

## 【事業趣旨（目的）】

古くから多くの芸術家や作家が居住し、近年は若者の住んでみたいまちとしても不動の人気を誇るJR中央線高円寺駅～国分寺駅区間を中心とする杉並、武蔵野・多摩地域に点在しているアートスポットをつなぎながら、現在進行形のアートを発信するプログラムを展開。テラッコ（ボランティア）の人材育成に注力し、プログラムの企画・運営の実践を通じ、アーティストとともにアートプロジェクトをプロデュースできる人材を育む。

## 【開催状況】

## アートプログラム

## 1. TERATOTERA祭り2020 Collective ～共生の次代～

例年街中で大規模展覧会を行っていたが、新型コロナウイルスの影響により、全てオンラインで開催した。

平成30（2018）年度に、TERATOTERAのボランティアスタッフであるTERACCO（テラッコ）の歴代コアメンバー16人によるTeraccolleative（テラッコレクティブ）を設立するなど、思慮を深めてきた「コレクティブ」を軸とし、日本国内外、6組のコレクティブと3組のバンドが参加した。

開催日：令和2（2020）年10月15日（木）～18日（日）

入場料：無料

開催日	プログラム名	内容	会場	参加コレクティブ	参加者（人）
10/15 ～18	オンライン展示	東南アジアと日本のアートコレクティブ6組のアート作品、パフォーマンス、演劇などをオンラインで配信した。	特設ウェブサイト	Chiang Mai Art Conversation (CAC)、Ongoing Collective、Ruang MES56、Sapporo Dance Collective、Sa Sa Art Projects、hyslom	サイト訪問者： 延べ3,895
10/15 ～18	ライブ配信 Seri Bincang Seni Unstocking Room X TERATOTERA	Ruang MES56が、新型コロナウイルスの影響でインドネシアにおけるオフラインでのプログラム開催が制限されていることへの対応として始めたInstagramのライブ配信プログラム。今回は、特にコロナ以降の彼らの様々な活動について議論を交わした。	Ruang MES56 Instagram	Ruang MES56	参加者 (オンライン)：284
10/16 ～18	ライブ配信 シテイII	劇作家のカゲヤマ気象台による三部作戯曲の「シテイI・II・III」。そのうちのhyslomが演出、出演した「シテイII」の戯曲を元に映画制作を試み、その様子をライブ配信として発表した。	特設ウェブサイト	hyslom	参加者 (オンライン)：123
10/16	ライブ配信 トーク： Teraccolleative	Teraccolleativeが過去10年間を振り返り、TERACCO（テラッコ）から見たTERATOTERAの各イベント感想、裏話などを語り合った。	特設ウェブサイト	Teraccolleative	参加者 (オンライン)：25 アーカイブ動画 視聴回数：41回
10/16	ライブ配信 Special Live& Collective Forum vol.3	TERATOTERA祭り2020に参加する5組のコレクティブによるオンライン・シンポジウム。シンポジウムの前には、AMOK、Senyawa、テニス Courts によるオンラインライブも開催した。	特設ウェブサイト	Chiang Mai Art Conversation (CAC)、Ongoing Collective、Ruang MES56、Sapporo Dance Collective、Sa Sa Art Projects、AMOK、Senyawa、テニス Courts	参加者 (オンライン)：112 アーカイブ動画 視聴回数：232回
10/18	ライブ配信 The Artist's Milk Tea Alliance	香港、台湾、タイの社会の間で令和2（2020）年春ごろに自然発生的に結ばれた「Milk Tea Alliance（ミルクティー同盟）」。Chiang Mai Art Conversation がホストとなって、各地域のアーティストがオンラインで語り合った。	特設ウェブサイト	Chiang Mai Art Conversation (CAC)	参加者 (オンライン)：63
10/18	ライブ配信 ディレクターズトーク 「てらとてらを結んで」	10年以上にわたりTERATOTERAを企画運営してきたディレクター小川希と、その活動を開始当初より見つけ併走してきた東京アートポイント計画ディレクター森司によるスペシャル対談。	特設ウェブサイト	参加者：小川希、森司	参加者 (オンライン)：63 アーカイブ動画 視聴回数：236回

## 2. TERATOTERA祭り2020 Collective ～共生の次代～ プレ企画 オンラインディスカッション

TERATOTERA祭り2020に参加する各地のアートコレクティブとTERATOTERAディレクターの小川希、

TERATOTERA事務局スタッフが、作品制作の経過についてディスカッションし、TERATOTERAのYouTubeチャンネルにてその様子を配信した。

入場料：無料

参加コレクティブ：Chiang Mai Art Conversation (CAC)

配信開始日：令和2（2020）年8月28日（金）～

アーカイブ動画視聴回数：62回

参加コレクティブ：Sa Sa Art Projects

配信開始日：令和2（2020）年9月4日（金）～

アーカイブ動画視聴回数：89回

参加コレクティブ：Ongoing Collective

配信開始日：令和2（2020）年9月11日（金）～

アーカイブ動画視聴回数：103回

参加コレクティブ：Ruang MES56

配信開始日：令和2（2020）年9月18日（金）～

アーカイブ動画視聴回数：95回

参加コレクティブ：hyslom

配信開始日：令和2（2020）年9月25日（金）～

アーカイブ動画視聴回数：vol.1/146回、vol.2/133回、vol.3/82回

参加コレクティブ：Sapporo Dance Collective

配信開始日：令和2（2020）年10月2日（金）～

アーカイブ動画視聴回数：120回

### 3. 人材育成プログラム『TERACCO（テラッコ）屋』

TERATOTERAの活動を推進する人材を1年間かけて育成するプログラム。今年は新型コロナウイルスの影響により、オンラインで『TERACCO屋』を開催した。新規TERACCOメンバーの募集を積極的に行えない状況であったが、TERATOTERAの活動に興味を持った新たなTERACCOも参加し、TERATOTERA祭りに遠隔で参加できるよう、コアメンバーが中心となり活動に取り組んだ。

開催回数：8回

コアメンバー：約23人（うち今年度新規TERACCO：3人）

参加者（オンライン）：延べ184人

### 【参加者の声】

#### ● Special Live&Collective Forum vol.3

・今回のフォーラムは日本と海外のコレクティブそれぞれの意識や活動形態を知る貴重な場であった。ディレクターの小川さんが数年かけて続けてきた海外コレクティブとの交流があってこそ実現できた、TERATOTERAならではの企画だった。

#### ● Sapporo Dance Collective 『さっぽろ文庫101巻『声』』

・ソーシャル・ディスタンス（ひととの距離／ひとと触れること）やマスクをテーマとしたダンス作品もあり、この作品集（＝コレクティブ）自体がまさにいまのこの状況に対する一つの応答（体）となっている。

#### ● hyslom 『シティⅡ』

・「人間」のパフォーマンスが人工物と自然が入り混じった背景とうまく調和した、不思議な映像だった。

## 34

## 小金井アートフル・アクション！

## 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
会場	小金井市
主催	東京都、小金井市、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、NPO法人アートフル・アクション
参加者数	1,679人

## 【事業趣旨（目的）】

市民がアートと出会うことから、日常生活の暮らしの中に新たな発見や自らの潜在能力に可能性を見出すことにより、心豊かな生き方を追求するきっかけをつくりだすことを目指す。すべての事業を人材育成と位置づけ、市民が主体となった事業推進の体制づくりと創造的な文化政策の提言組織としての成長に向けた事業に取り組む。

## 【開催状況】

## 1. 地域で芸術文化活動を行うための基盤整備

これまで、市内の保育園、小学校でのアーティストを交えた表現ワークショップを行ってきた。今年度も学校と連携し、学校の課題や需要に即したテーマをアーティスト、サポートする市民とともに取り組んだ。また、平成30年度に開始した高齢世代の映像制作ワークショップ「えいちゃんくらぶ（映像メモリーちゃんぼんくらぶ）」を継続して実施し、参加者主体で進めていく活動を目指した。

開催日	プログラム名	内容	会場	参加者（人）
10/14～11/5	本町小学校「どうめいになった私が見た景色～Chromebookで撮影してみよう～」	小金井市で全児童に配布されているChromebookの動画機能を使い、撮影という手段を用いて、「私の視点」、「他者の視点」、あるいは「全くそれらとは異なる俯瞰した視点」といった主観的かつ客観的な視点を体験する。	小金井市立本町小学校	延べ744

## (1) えいちゃんくらぶ（映像メモリーちゃんぼんクラブ）

誰でも簡単に映像が撮れるようになったこの時代。スマートフォンやデジタルカメラで映像を撮った経験はないけれど、「新しいことにチャレンジしたい」「地域の仲間を作りたい」というおおむね70歳以上の方々と、映像制作のはじめの一歩から学び、映像に触れる・作る・遊ぶクラブ。若手のサポートメンバーも参加し、「映像」「メモリー」「ちゃんぼん」をキーワードに、世代を超えて楽しく活動する、緩やかな地域のコミュニティづくりを目指す。

今年度は、対象となる高齢者の安全確保を第一に考え、オンラインも積極的に取り入れた新しい形を模索しつつ、映像×メモリー×ちゃんぼんをベースに、緩やかなコミュニティの拡がりを大切にしながら活動した。

開催期間	4月～3月
参加者	延べ220人※
会場	小金井アートスポットシャトー2 F ギャラリー、Zoom

開催日	プログラム名	内容	会場	講師、アーティスト	参加者（人）
12/20	えいちゃんオープンデー	えいちゃんメンバーの映像制作現場に参加する時間や、えいちゃんくらぶの活動についてのトークセッションを行った。	小金井市前原暫定集会施設A会議室	角尾宣信	14 ※上記参加者に含む
2/27、28	えいちゃんふえす3～冬ごもりから見える聞こえる地域の未来～	これまで3年間のえいちゃんくらぶの活動を紹介し、体験できるイベントを開催した。	オンライン、宮地楽器ホール 小ホール	—	17 ※上記参加者に含む

## 2. 地域資源を生かした市民の表現（地域連携Lab）

公募市民とアーティストが協働し、今日の社会経済的な課題、地域の文化や歴史的背景、自然資産についてリサーチを展開し、表現活動の可能性を追求した。これらの活動により、今日的な課題や時代特性などを浮かび上がらせることを通して、「小金井」を相対化することを試みた。また、子供の学びと学校運営に関する実験的活動も実施した。

## (1) 越境／pen友プロジェクト

オーストラリア在住のアーティスト、呉夏枝（お はち）を招き、市民とともに、アーティスト独自の視点を手がかりに、身の回りのもの／ことから導き出される記憶や歴史に丁寧に向き合うための試みとして、越境を主題とした

活動を行った。アーティストだけではなく、活動に参加した市民がプロジェクトを通してそれぞれの越境をめぐって思索した。

開催期間 4月～12月  
 参加者 176人  
 会場 小金井アートスポットシャトー2F、Zoom  
 アーティスト 呉夏枝（美術作家）

開催日	プログラム名	内容	会場	講師、アーティスト	参加者(人)
11/13～12/6	越境/pen友プロジェクト「おばあさんのくらし」記憶の水脈をたどる展	このプロジェクトでは、アーティストと海外に出自を持つ4人の参加者が「おばあさんのくらし」に関する記憶をめぐり文通を重ねてきた。この記憶を元にした作品として、それぞれのおばあさんまつわる記憶を綴ったノートが生まれた。このノートとともに、pen友プロジェクトをともに歩んできた市民の作品のそれぞれの越境の様を展示した。	小金井アートスポットシャトー2F	呉夏枝、野澤佐知子、福島瑞葉、森山晴香、田制可奈子（広報担当）	176

## (2) まちはみんなのミュージアム'20

「つくること／表現すること／伝えること」を通して、自ら問いを見つけ、ともに深め学び合うを目的とした連続講座。身体表現のワークショップや、ゲストとのワークショップでの気づきをもとに、メンバーは自ら問いを立てて、作品を制作していく。困難な状況のなかでも、様々な出来事、物事、他者や自分自身への想像力の羽をのばすこと、「生きる技術としての表現」をつくりながら思考することを試みる。自分を巻き込む世界をまったく新しい眼差しで見つめ返すことができたとき、同じまちにいても出会うことのできなかった人に想いを馳せ、私たちがこれまで想像しえなかった「ミュージアム」をささやかに立ち上げる。

開催期間 8月～2月  
 参加者 延べ197人※  
 会場 小金井アートスポットシャトー2F、Zoom  
 アーティスト 砂連尾理（ダンサー/振付家）、大崎清夏（詩人）、古川友紀（ダンサー・散歩家）

開催日	プログラム名	内容	会場	講師、アーティスト	参加者(人)
1/19～24	まちはみんなのミュージアム'20 フェスティバル	参加アーティストの砂連尾理と、ゲストも交えた身体表現などのワークショップでの気づきをもとに、メンバー自らが問いを立て、表現に取り組んできた。今回のフェスティバルでは、それらの表現が一堂に会し、ささやかな「ミュージアム」を立ち上げることを試みた。	オンライン（特設ウェブサイト）	砂連尾理（ダンサー/振付家）	サイトページビュー数 1,094件
2/13	まちはみんなのミュージアム'20 オンライントークイベント「コロナ禍を歩く」	メンバー一人一人が、ともに、表現することに取り組む過程で、砂連尾理、大崎清夏、古川友紀による制作の試みも始まった。今回のトークイベントでは、登壇者3人に、そこで生まれた作品の紹介や制作のなかで考えたことについて話を聞いた。	オンライン（Zoom）	砂連尾理（ダンサー/振付家）、大崎清夏（詩人）、古川友紀（ダンサー・散歩家）	15 ※上記参加者を含む

## (3) 南台小学校「相棒と旅に出てみよう」

開催日	プログラム名	内容	会場	参加者(人)
9月～10月	南台小学校「相棒と旅に出てみよう」	授業のテーマは、「相棒と旅に出てみよう」。様々なことが制限された状況の中で、相棒との旅を通して、身体を開放し、それを形にし、さらに他者との関係性を見出すことで自分と世界との繋がりに改めて触れてみることを試みた。	東村山市立南台小学校	延べ342

## 3. 活動成果の可視化プログラム（アーカイブと広報）

広報面ではニュースレターの発行やウェブサイトでの発信、これまでの活動のアーカイブを活用し、その成果や課題をとりまとめた冊子等を制作した。

### (1) ニュースレター「まちはみんなのミュージアムだより」の発行

発行日 第9号：令和2（2020）年10月発行、第10号：令和3（2021）年3月発行  
 内容 第9号：特集 越境／pen友プロジェクト「おばあさんの記憶の水脈をたどる」展  
 第10号：特集『まちはみんなのミュージアム'20』コロナ禍を歩く  
 発行部数 第9号1,200部、第10号500部

**【参加者の声】**

## ● えいちゃんくらぶ（映像メモリーちゃんぽんくらぶ）

- ・ 上映会が中止になったりリモートの集まりと「ふえす」もZoom中心でしたが、映像作り以外にZoomやYouTubeのことなども知識が増えました。いろんな形の「えいちゃんくらぶ」がある様に感じています。Zoomでの話し合いはもどかしさもあるものの皆さんのいろいろな意見を聞けることは私には新鮮で楽しいことです。
- ・ あっという間に私も2年目、映像作成という目的があるので、色々おはなしができ、Zoomになったために一人一人のつぶやきを聞くことができYouTubeも利用できるために、たくさんの作品をじっくり拝見することができます。

**【発行物】**

## 1. 『氾濫原の autonomy 自己生成するデザイン』

小金井市芸術文化振興計画推進事業の第一期最終年度にあたり、これまでの気づきについてアーカイブを活用し、これまでの事業の考え方やノウハウの取りまとめを行い、冊子にまとめた。

## 2. 『ふりむきながら続く地図 越境／pen友プロジェクトでの気づき2019-2020』

「pen友プロジェクト」に参加した市民がたどった道筋をまとめたドキュメントを発行した。

## 35

## アートアクセスあだち 音まち千住の縁

## 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
会場	足立区千住地域 ほか
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、東京藝術大学音楽学部・大学院国際芸術創造研究科、特定非営利活動法人音まち計画、足立区
助成	令和2年度 文化庁 大学における文化芸術推進事業
参加者数	10,826人

## 【事業趣旨（目的）】

足立区の千住地域を舞台に、アートを通じた地域文化の形成と創造発信を目的として実施している住民参加型のアートプロジェクト。

「音」をテーマとした多様なプログラムによって、市民とアーティストが協働する“まちなかアートプロジェクト”を展開し、人と人、人と場所、人とアートの様々な「縁」を結び、足立区の魅力を創造発信するとともに、新たな地域文化の交流と形成を目指す。

## 【開催状況】

プログラム構成：

## 1. 大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住」

無数のシャボン玉で見慣れた景色を変容させ、新たな記憶を生む、現代美術家・大巻伸嗣によるアートパフォーマンス作品（通称「メモリバ」）。地域住民との関わりを広げ、協働しながら千住地域ゆかりの場所（小中学校や商店街、公園等）を舞台に平成23（2011）年度から実施してきた。今年度は当初4月に予定していた本番が中止となってしまったが、コロナ禍でもできる形で自分たちがやるべき「メモリバ」の形を市民メンバー「大巻電機K.K.」と模索し実践を継続する中で、縁が深まるとともに各メンバーの個性や自発的な動きが発揮され、「メモリバのホームステイ」「メモリバ工房」という次年度の新企画につながっていった。さらに、昨年度のワークショップ「メモリバ学校」参加者にも、月に2回のメーリングリスト配信で活動の様子を届け続け、縁の維持に努めた。

開催日	プログラム名	内容	会場	出演	参加者（人）
4月～3月 (全13回)	定例活動日（大巻電機K.K.）	オンライン（Zoom）を中心に定例ミーティングを継続。コロナ禍における活動プランから、実際の活動の企画・実施までを行った。	オンライン（Zoom）、東京藝術大学 千住キャンパス	大巻電機K.K.	延べ125
4/19	特別企画 「#メモリバ0419」	4/19に実施予定だった「Memorial Rebirth 千住 2020 舍人公園」の開始予定時刻にあわせ、人々の「大事にしたい何気ない日常風景」を撮影しSNSにアップまたは応募する企画。	特設ウェブサイト	大巻電機K.K.、メモリバ音楽隊、他過去にメモリバに関わった市民等	81
5月～11月	動画コンテンツ 「メモリバ学校の昼やすみ」	市民メンバー大巻電機K.K.とともに、メモリバから発想を揚げた様々な「あそび」を提案する動画を計8本制作した。	特設ウェブサイト、YouTube	大巻電機K.K.、メモリバ音楽隊、他過去にメモリバに関わった市民等	20 アーカイブ動画視聴回数：1,276回
8/20	「オンライン盆踊り大会」（地域連携）	地域連携の一環として、足立区内の団体「一般社団法人ほしかぜ」が主催した「オンライン盆踊り大会」に参加した（オンライン出演、しゃぼんおどりの歌の紹介）	YouTube Live配信（仲町の家）	音まち学生スタッフ	151 (YouTube Live配信視聴者数：121人、Zoom参加者数30人) アーカイブ動画視聴回数：2,966回
10/18	アーティスト・クロストーク《オンライン》#02「大巻伸嗣×地域アート？『アートなんてわかんねえ！』」	メモリバ作者である大巻伸嗣と、大分県別府市で市民参加型アートプロジェクトを展開する山出淳也、各現場で市民の立場で関わる方々を招いてのオンラインクロストークを行った。	YouTube Live配信（東京藝術大学千住キャンパス）	大巻伸嗣（現代美術家）、山出淳也（BEPPEU PROJECT代表理事）、森司（アーツカウンシル東京）、熊倉純子（東京藝術大学教授）、大巻電機K.K.メンバー、「水郷ひた芸術文化祭2018」市民スタッフ	174 (YouTube Live配信視聴者数) アーカイブ動画視聴回数：1,362回
7月～3月	音まち10年本制作に向けた資料整理とヒアリング実施協力	音まちおよびメモリバ10年目の節目として、メモリバがこれまで作り出してきた「縁」を見直す本を制作するにあたって、10年分の過去の資料整理、関係者のリストアップおよびリサーチ、事業成果や取り組みの可視化や価値化について検討した。関係者のヒアリングの実施や対象との連絡調整についても外部調査者と連携した。	東京藝術大学 千住キャンパス、オンライン（Zoom）ほか	メモリバに関わってきた市民、大巻電機K.K.メンバー、アーティスト、歴代事務局・学生スタッフ等	-

開催日	プログラム名	内容	会場	出演	参加者 (人)
3/14、16、25	メモリバのホームステイ	新たに制作したメモリバのマシンとともに市民の思い出のある場所（「ホーム」）に赴いて、まちと個人の記憶を集めていくプロジェクト。	足立区内5箇所	大巻電機 K.K.	45
3/14	メモリバ工房	シャボン玉の新しい見え方を開発するプロジェクトとして、ものづくりを得意とする大巻電機 K.K.メンバーを中心に展開。	東京藝術大学 千住キャンパス	大巻電機 K.K.	21

## 中止プログラム

開催予定日	会場	プログラム名
4/19	都立舎人公園	Memorial Rebirth 千住 2020 舎人公園

### 2. 野村誠「千住だじゃれ音楽祭」

「千住だじゃれ音楽祭」は、作曲家の野村誠と公募で集まった市民による音楽団体「だじゃれ音楽研究会」が、多様な人々とのコラボレーションを通じて、だじゃれと音楽が結びついた「だじゃれ音楽」を深めていくプロジェクト。1010人の演奏者による大規模まちなかコンサート「千住だじゃれ音楽祭 千住の1010人 in 2020年」はコロナ禍により中止となったが、「千住だじゃれ音楽祭 千住の1010人 from 2020年」とプロジェクトを方針転換し、オンラインの特性を活かした作曲を「だじゃれ音楽研究会」と模索し、オンラインイベントを開催。世界中からゲストや参加者を募り実施した。3月には、それらの記録や音を素材にした映像音楽作品を2作品制作し、音まちYouTubeチャンネルで公開した。

開催日	プログラム名	内容	会場	出演	参加者 (人)
4月～3月 (全22回)	定例活動日 (だじゃれ音楽研究会)	野村誠と、公募で集まり活動を続けているサポーターチーム「だじゃれ音楽研究会」とともに、音楽祭の企画やオンライン音楽についてアイデアや意見を交換したり、新曲を構想・試演したり、ゲストを迎えたセッションを実践するなど、様々な世代が交流しながら文化芸術活動に自ら参加する楽しさや経験を深めた。	オンライン (Zoom)、東京藝術大学 (最終日のみ)	野村誠 (作曲家) ほか	延べ275
4月～3月	映像音楽作品 公開 ①「2020年を作曲する 世界だじゃれ音楽祭」②「千住の1010人 from 2020年 around SUMIDAGAWA」	今年度のオンラインイベントに出演したゲスト・演奏参加者ほか、京成電鉄株式会社、(公財)東京都公園協会水辺ラインと提携して映像音楽作品を制作した。	YouTube Live 配信	野村誠 (作曲家)、甲斐田祐輔 (映像監督) ほか	動画視聴回数 ①759回 ②151回
5/31	第4回 だじゃれ音楽研究大会《オンライン》-「千住の1010人 in 2020年」に向けて-	野村誠と、だじゃれ音楽研究会が中心となり、オンラインならではの音楽・動画制作を紹介したオンラインイベントを行った。	YouTube Live 配信	野村誠 (作曲家)、佐久間新 (ジャワ舞踊家)、アナン・ナルコン (タイ/民族音楽学者)、メメント・チャイルル・スラムット (インドネシア/作曲家)、だじゃれ音楽研究会	237 (YouTube Live 配信 視聴者数) アーカイブ動画視聴回数: 1,016回
8/5	アーティスト・クロストーク《オンライン》#01「ひょうたんから駒が出るようなはなし」	野村誠が、若手気鋭のアーティスト・コレクティブ「Nadegata Instant Party」を迎え、だじゃれ音楽祭の実践や、お互いの表現、作品としての発露を語り合った。	YouTube Live 配信	野村誠、Nadegata Instant Party (アーティスト・コレクティブ)、熊倉純子 (東京藝術大学教授)	410 (YouTube Live 配信 視聴者数) アーカイブ動画視聴回数: 814回

開催日	プログラム名	内容	会場	出演	参加者（人）
①10/31 ②11/28 ③12/19 ④1/24	千住だじゃれ音楽祭 千住の1010人 from 2020年 ①世界だじゃれ音 Line 音楽祭 [Day1] ②世界だじゃれ音 Line 音楽祭 [Day2] ③世界だじゃれ音 Line 音楽祭 [Day3] ④世界だじゃれ音 Line 音楽祭 [Day4]	コロナ禍において社会に欠かせないもの となったオンライン会議システム 「Zoom」の特性を活かした参加型音楽、 作曲方法の開発をオンラインイベントと して開催。画面を介した実験的なパフォー マンスやトークライブを、視聴者・演奏 参加者とともに楽しんだ。	YouTube Live配信	①佐久間新、アナン・ナル コン(タイ)、メメット・ チャイルル・スラムット (インドネシア)、尾引浩 志、池田邦太郎、上田假 奈代、i-dArt(香港)、 大田智美、ジンタラムー タ、Asia Pacific Community Music Network(香港) ②福島青衣子(ハーブ) ③ジョン・リチャーズ(作 曲家) ④安野太郎(作曲家)、宮 田篤(美術家)、Simon Rummel(作曲家、オル ガン奏者)、奥田扇久(創 作ひょうたん楽器奏者)	①1,455 (YouTube Live配 信 視聴者数:1,311 人、ワークショップ 参加者数:144人) アーカイブ動画視聴 回数:2112回 ②226 (YouTube Live配 信 視聴者数:169 人、ワークショップ 参加者数:57人) アーカイブ動画視聴 回数:477回 ③144 (YouTube Live配 信 視聴者数:131 人、ワークショップ 参加者数:13人) アーカイブ動画視聴 回数:373回 ④349 (YouTube Live配 信 視聴者数) アーカイブ動画視聴 回数:6,682回  ダイジェスト 198回(アーカイブ 動画視聴回数)

### 中止プログラム

開催予定日	会場	プログラム名
5/31 (延期後は10/31)	千住まちなか	千住だじゃれ音楽祭 千住の1010人 in 2020年

### (3) イミグレーション・ミュージアム・東京 (IMM)

現代アートの手法を用い、地域に暮らす外国ルーツの人々との交流を通して、ニューカマーの生活様式や文化背景を紹介するとともに、それが日常の中で変容していく諸相を「適応」「保持」「融合」という3つのキーワードから探るプロジェクト。今年度は、コロナ禍により当初予定していたリアルでの展示会を方針転換し、多文化社会へのアプローチとして3つの展示部門(ゲストアーティスト/公募展/活動展示)と、市民メンバーである「IMM ねいばーず」(旧: IMM Project Member)の活動紹介、アンディ館長によるブログ、そして本事業にまつわる情報を集めたライブラリで構成された「オンライン美術館」を期間限定でオープンし、現代日本における多文化社会への視点を発信した。また、足立区内を中心に多文化共生に携わる人材の裾野を広げ、理解を深めていくために「IMMねいばーず(市民メンバー)」と勉強会や対話型鑑賞講座など、様々な形態でオンラインでの交流会を展開した。

開催日	プログラム名	内容	会場	出演	参加者（人）
①4月~3月 (全20回) ②12/5~7	①定例活動日 (IMMねいばーず) ②神戸スタディ	①IMMの企画立案やリサーチ活動などを行う 市民メンバーを公募し、定例ミーティングを実施。 ②IMMねいばーずの有志と事務局メンバー で、神戸で多文化共生にむけて活動する団体等 を数か所訪問。ねいばーずメンバーと学生ス タッフによる報告レポートをオンライン美術館 で連載した。	①オンライン (Zoom) ②全8か所:C.A.P.(芸 術と計画会議)、CBK (関西ブラジル人コ ミュニティ)、移住 ミュージアム、南京 町(フィールドワー ク)、神戸アートビ レッジセンター、た かとりコミュニティ センター、NPO法人 DANCE BOX、長田 地区(フィールドワー ク)	①IMMねいばーず ②IMMねいばーず(有志)	延べ121
公開: 6/12~ 3/14 ※募集期間(前 年度から) 2/22~5/22	「美術館・わた したちはみえてい る—日本に暮らす 海外ルーツの人び と」作品公募展	日本全国に暮らす、海外にルーツを持つ人が普 段の生活の中で感じていることや関心のあるこ とを表現している作品を、プロ・アマ・年齢・ 国籍を問わずに募集した。7か国語で募集案内 を発信し、実際に集まった約100点の作品をオン ラインギャラリー(特設ウェブサイト)にて 一挙に公開した。	オンライン (特設ウェブサイト)	国内の海外ルーツを持つ 人々	49(出展者)

開催日	プログラム名	内容	会場	出演	参加者(人)
12/5~3/14 (100日間)	オンライン美術館 「わたしたちはみえてい るー日本に暮らす海外ルーツ の人びと」	多文化社会へのアプローチとして3つの展示部門(ゲストアーティスト/公募展/活動展示)と、市民メンバーである「IMM ねいばーず」による活動報告、アンディ館長によるブログや公募作品の紹介動画、そして本事業にまつわる情報を集めたライブラリで構成されたオンライン美術館を期間限定で公開。会期中、1~2週間に1回の頻度で新たなコンテンツを更新、現代日本における多文化社会への視点を紹介し、日本に暮らす海外ルーツの人々の“今”に焦点をあて発信した。	オンライン (特設ウェブサイト)	岩井成昭(美術家、IMM主宰) ゲストアーティスト:3人 岩根愛(写真家)、高山明 (アーティスト・演出家)、 李晶玉(美術家)、 公募展:49人(出展者)、 活動団体:12団体(全国 で多文化共生に取り組む NPOや活動団体)	会期中セッション 数:3,847回 ※ページビュー 数:11,532回

## 中止プログラム

開催予定日	会場	プログラム名
8月~9月 (延期後は、12/5~3/14)	足立区内	美術館・わたしたちはみえていーるー日本に暮らす海外ルーツの人びと

### (4) アサダワタル「千住タウンレーベル」／「声の質問19」

今年度は当初、これまで出会えていなかった「高齢者」や、地域で「ユニークな音楽活動」を展開している人材へのリサーチを予定していたが、コロナ禍で構想を変更して実施した。

千住タウンレーベルのディレクター、アサダワタルは、自粛生活中に読んだ『質問』(田中未知著)からヒントを得て、コロナ禍でのコミュニケーションのツールとして「声で伝える」ことを基本とした営みを開始。離れた場所にいる友人、知人に「声」で質問を投げかけ、周辺の生活音とともに「声」で回答を受ける「声の質問」や、コロナ禍での緊急アンケートと銘打った「緊急アンケート《コロナ禍における想像力調査 声の質問19》」を実施した。8月には仲町の家を会場として公開イベントを予定していたが、コロナ禍によりやむを得ず中止した。また、2月には、現代美術家の山川冬樹をむかえたオンライントークを配信した。

日程	プログラム名	内容	会場	アーティスト	参加者(人)
4月~8月	声の質問	離れた場所にいる友人、知人にテキストではなく「声」で質問を投げかけ、「声」で返答してもらい、背景に流れる声以外の生活音なども含めた「表情」を盛り込ませ、時間や空間を超越し、人と人との距離を「近く」に感じられるものとした。	オンライン	アサダワタル(文化活動家・アーティスト)	38
10月~3月 毎月第3週の仲町の家開室日に実施(全21日)	緊急アンケート《コロナ禍における想像力調査 声の質問19》	「声の質問」をきっかけに開始したコミュニケーション様式。コロナ禍という未曾有の日常に関する、私的かつ詩的な「19の声の質問」に対して、同じく「声」で回答してもらう。テキストではなく「声」でのやり取りを通じて、自分と出会いなおす企画とした。	仲町の家	アサダワタル	73
2/11	アーティスト・クロストーク《オンライン》#3「会えない日々と、気配のゆくえ」	アサダワタルと現代美術家でありホームメイ歌手の山川冬樹とのトーク。リモート時代の想像力のありようや、人と人との交通の意味について、両者の実践の数々とともに、仲町の家からオンライン配信を実施した。	YouTube Live 配信 (仲町の家)	アサダワタル、山川冬樹(現代美術家、ホームメイ歌手)、Lana Tran、富山紗球(東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科)	192 (YouTube Live 配信 視聴者数) アーカイブ動画視聴回数:192回

## 中止プログラム

開催予定日	会場	プログラム名
8/7	仲町の家、千住仲町公園、周辺路地等	音まち臨時企画 窓映画館(友政麻理子)・声の質問(アサダワタル)

### (5) 千住・縁レジデンス 友政麻理子

独自の視点で千住地域との新たな縁をつくる若手アーティストを招聘し、千住のまちでの滞在制作を行うプロジェクト。今年度は、足立区千住仲町にある本事業の活動拠点「仲町の家」を拠点に友政麻理子が新たなプログラム「窓映画館」を実施した。8月に予定されていた公開イベントはコロナ禍により中止となったものの、地域でのリサーチや作品制作、映像の試演等は継続して行うことができた。

日程	プログラム名	内容	会場	アーティスト	参加者(人)
①5/21、 6/3、24、 7/6、16 ②9/24、 11/20	①窓映画館 ②窓映画館(遠隔版)	①緊急事態宣言下において、美術家・友政麻理子の新たな活動として展開。仲町の家を中心に千住のまちなかで、通りに面した窓に映像を投影。道行く人々の目に留まった。 ②仲町をの家のほか、遠隔での開催地として新潟、長野の窓でも上映を行った。また、Twitterで#madocinemaを立ち上げ、千住と遠隔地の窓で流れている映像、その場の様子を中継した。	①仲町の家、居酒屋てん、近隣のマンション ②仲町の家、ゆいぽーと(新潟市芸術創造村・国際青少年センター)、awai art center(長野県松本市)	友政麻理子(美術家)	93

## 中止プログラム

開催予定日	会場	プログラム名
8/7	仲町の家、千住仲町公園、周辺路地等	音まち臨時企画 窓映画館(友政麻理子)・声の質問(アサダワタル)

### (6) 仲町の家

平成28(2016)年度より本事業で活用している「仲町の家」では、これまで千住仲町エリアを舞台としたアーティスト滞在プログラムや、各事業のプログラム実施会場、また、アーティストやボランティアスタッフ、地域住民とともに活動の計画や作業、ミーティングを重ねるための場として活用してきた。今年度はじめは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一時臨時閉室。6月より再開し、施設の特性を活かしながらコロナ禍でも人と人が対面で出会う場として継続的に開室。感染防止策を講じながら、地域内の個人やパートナー団体等とのネットワーク構築に着手するための拠点として活用を図る「パイロットプログラム」も再開した。コロナ禍においても「仲町の家」に集う方々同士のコミュニケーションや創造力を誘発し、新たな活動の種が育つ芸術活動創造拠点の形成を目指した。

日程	プログラム名	内容	会場	主催等	参加者(人)
6/13~3/29の 土日月祝(全 121日間) ※6/8まで、新 型コロナウイ ルス感染症拡 大防止の影響で閉 室 ※8/8~17夏 季休業 12/28~1/4 年末年始休業	文化サロン「仲町の家」	社会状況を鑑み、感染対策を講じながら、江戸時代に建てられた趣ある日本家屋を「文化サロン」として毎週定期的に開いた。開室時にはコンシェルジュが常駐し、来場者を迎え入れ交流や出会いの機会を図った。コロナ禍で施設の特性を活かしながらオープンする試みは、再開後、いくつかの新聞やテレビなどで取り上げられ、知名度が上昇。近隣住民を中心に新たな利用者の獲得に繋がった。	仲町の家	-	約2,700
2/11~3/29 (全23日間)	拠点形成・パイ ロットプログラ ム(企画・コー ディネート)	様々な方々や団体とともに家の活用法や可能性を探っていく「パイロットプログラム」は、開室再開後の夏より学生担当と共にコロナ禍でも実施できるプログラムの企画・準備をスタート。社会状況を鑑みつつ2月より仲町をの家の学生担当が企画/主催となり、藝大生の作品や活動を紹介する展示企画「Nakacho Art Series」を実施した。	仲町の家、音まち ミリオン座(茶室)	主催：東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科熊倉純子研究室 協力：NPO法人音まち計画	254 ※上記開室日の人数に含む

## 【参加者の声】

### ●大巻伸嗣「Memorial Rebirth 千住」

#### ■「アーティスト・クロストーク」

- ・大巻さんの考えやプロジェクトへの思いを直接ご本人の言葉で聞けるのは貴重だと思った。(都外/30代/男性)
- ・故郷が千住なのですが、実母が一人暮らしをしているので、時々帰るのですが、ワクワクしています。千住のイメージを良くしてくださるので、どのように変化していくのか、楽しみに参加しようと思いました。(都内/50代/女性)
- ・大巻電機K.K.として参加させてもらっておりますが、色々知り今後の活動を楽しみたいと思いました。(足立区/40代/女性)

### ●野村誠「千住だじゃれ音楽祭」

#### ■「だじゃれ音楽研究大会」

- ・音楽はひとつがつくるもの、ひとつと共にあるもの、そのことを実感できました。特に後半の即興セッションは素敵でした。だじゃれ音楽のくだらなさもまた素敵でした。(都外/40代/男性)
- ・どんなものにも正解をもとめてしまいがちだけど、この活動を見ているとそれがいつも正しいわけではないと思いました。(都外/20歳未満/女性)

## ■「アーティスト・クロストーク」

- ・野村さんもNadegataさんもその場に立ち会わないとわからないプロジェクトを手掛けられるアーティストであるため、このような機会にその全貌の一部でも触れられること自体とても貴重だと感じました。(足立区/20代/女性)
- ・体調が不安定で、ワークショップへの継続参加は悲しいことに難しいため、こういう機会は本当に有り難いです。(都内/40代/女性)

## ●イミグレーション・ミュージアム・東京

- ・オンライン上とはいえ何回も顔を合わせている人でも知らないことがたくさん！ 話してみて初めて知った共通点などもあり、これまでIPMのメンバーということ以外が接点のない他人同士が一気に近づくきっかけになったと思います。(都内/20代/女性)
- ・聞かれないと日頃自分から話すことのない自分自身を見つめ直し、人に自身のストーリーを伝えることのできた貴重な機会となった。メンバーの皆さんが持つておられる知見を蓄積・共有し、活動で活かすことができると素晴らしい。(都内/40代/男性)

## ●アサダワタル「千住タウンレーベル」 / 「声の質問19」

## ■「アーティスト・クロストーク」

- ・とても密度の濃い話だったと思います。お二人の立場からのコミュニケーションのあり方や現在のコロナによる影響や考え方の話題は興味深かったです。また、芸術の根源的な成立のことや音のことなども印象深い話でした。そして、何よりもお二人がそれぞれ相方の話を尊重しながら、絡めてゆく対話進行はとてもわくわくするものでした。(都内/60代/男性)
- ・写真や動画もあってわかりやすかった。異常なことに慣らされていくもどかしさ、怖さというところに共感した。(足立区/60代/男性)

## ●千住・縁レジデンス 友政麻理子

- ・とくに今年に入ってから一人でいるときはほとんど何か読んだり、みたり、聞いたりすることをつづけていたので、音を消して、みえないものを想像する時間がとてもよかったです。風も吹いたし、遠くの音も聞こえたし、ちらちらとした光が視界をよぎったようにも思う。(都外/30代/女性)
- ・知っている新潟の上映作品を思い出しながら、北千住の公園を想像しています 少し高い窓に投影されているかなあ。(都外/30代/女性)

## ●仲町の家 (パイロットプログラム来訪者)

- ・展示面白かったです。また新しい「こころみ」など楽しみにしています。
- ・毎週ギターを弾いてコンシェルジュの方とおしゃべりをして楽しく過ごしています。
- ・コロナ禍で企画にも工夫が必要ななか、場の雰囲気合った素敵な展示でした。
- ・コロナ感染対策もしっかりされていて安心して過ごすことができました。とても心地よい空間でした。
- ・普段アートに触れる機会がなかったのでとても貴重な体験でした。
- ・千住で音を使ってこんなに考えさせられる体験ができるとは思いませんでした。
- ・千住の町でアートが身近になってうれしいです。これからもがんばってください。楽しみにしています。
- ・今日初めてふらっと訪ねてみました。こんなに落ち着いて古き良き家屋にこんな企画があってびっくりしました。またコロナが収束したら友人と訪ねてみようと思いました。

## 36

## HAPPY TURN / 神津島

## 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
会場	神津島村
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人神津島盛り上げ隊
参加者数	1,411人

## 【事業趣旨（目的）】

伊豆諸島のひとつ神津島において、島と関わる人々の島へのシビックプライドを醸成することを目指す事業。島民に加えて、島を離れて暮らす人、島外から移り住む人、一時的に滞在する人、など様々な立場の人々を対象に、島の歴史や生活文化など地域資源について学び合う機会を生み出すことで、島内外の幅広い世代が島と関わるための場づくりや仕組みについて考える。

## 【開催状況】

## 1. 拠点形成プログラム

島内外の多世代が交流し、人の流動性を高めて、多様な人や価値観との出会いにつなげる場づくりを目標とし、「拠点発掘」「拠点育成」の2つを軸に、運用方法の検討や、島内における活動の面的展開の可能性を探る活動を行った。

## (1) 「拠点発掘プログラム」

空き家の庭の草刈りし、その庭を開いていく「島の庭びらき」を行った。建築家チームを招いての空き家リサーチから始め、活動に適した庭を選び、持ち主との交渉を経て、島内の2か所の庭の草刈りをした。普段から拠点に遊びに来る子供たちや、近所の方、観光客らが協働しながら草刈り、掃除を実施。終了後は、広くなった庭でどんなことをしたいか話した後、大人も子供も思い思いに過ごした。様々な立場の人が訪れ、草刈りを通して交流する機会となり、何のためでも、誰のものでもない場所を開くことの可能性を提示した。

開催日	プログラム名	内容	コラボレーター	参加者(人)
8/15	島の庭びらき リサーチ	島内の空き家の調査、図面、ポンチ絵の作成	杉山由香、神崎夏子、樹永恵理子	7
10/24	第1回 島の庭びらき	空き家の庭でのイベント		19
11/28	第2回 島の庭びらき			17

## (2) 「拠点育成プログラム」

平成31（2019）年度より開いている拠点エリア「くると」の活動を充実させた。オープン日には学校帰りの子供たちがつどい、子供たちの自由な居場所として定着した。感染症対策を実施しながら、七夕の短冊作りや、メディアプログラムで制作した「やーい！～島をつなぐビデオレター～」の視聴会場としても使用したほか、週末にはフラダンスを練習しに来る主婦のグループなどもあり、様々な使い方や交流が育まれた。

「コウツのコウズ」では、神津島の特色ある神事や風習をリサーチし、内容をまとめた印刷物や、風習をモチーフにしたスタッフ衣装を制作した。また、新たに拠点を整備し、島の自習室「MANABU」プログラムを開始した。

開催日	プログラム名	内容	参加者(人)
4月～3月	「くると」オープン		1,088
4月～3月	自習室「MANABU」オープン		43
7/2	七夕のたんざくを飾ろう	七夕の短冊を書き簪に飾る ※人数は「くると」オープンに含む	(49) ※
9/16	コウツのコウズ	神津島にかかる橋について話を聞きに行く	5
2/14		花正月ディスプレイ展示 ※イベントを予定していたが緊急事態宣言により展示のみに変更	0
3/4		神津島の風習二十五日様を迎えるために作る餅づくりを見学、リサーチ（事務局スタッフのみ）	10

## 2. 事業発信プログラム

今年度は新たに「やーい！～島をつなぐビデオレター～」 「くると放送室」の2プログラムを開始。新型コロナウ

ウイルス感染拡大により島内外の行き来が難しい状況においても手法を工夫し、活動を周知し、島内外をつなげるためのメディアのあり方を模索し、活動を周知すべく様々なアプローチに取り組んだ。

#### (1) オリジナルメディア「やーい！～島をつなぐビデオレター～」

島内で暮らす人と島外で暮らす人をつなぐためのメディア企画「やーい！～島をつなぐビデオレター～」の第1弾～第3弾を制作した。島にゆかりのある島外に住む人からビデオチャットでメッセージをもらい、テレビ番組風に編集。完成したビデオレターはモニターごとデリバリーして直接相手へ届けるほか、拠点「くると」で島民に向けて公開した。ビデオレターを観た方から出演者に手紙が届いたり連絡があったとの報告もあり、島内の人たちが島外に出た人達を思い出し、コミュニケーションを生むきっかけとなった。

期間：令和2（2020）年6月～令和3（2021）年2月

コラボレーター：小梨久美子（ディレクション・編集）、COINN（オリジナル楽曲「とどけやーい！」制作）

参加者数：出演者19人／視聴人数193人

公開日	概要	視聴方法	視聴数(人)
7/2	第1弾 約12分 出演者4組	拠点	40
		デリバリー（中学校含む）	20
12/17	第2弾 約19分 出演者3組	拠点	25
		デリバリー（小学校含む）	30
2/20	第3弾 約20分 出演者2組 成人式での一言撮影10人	オンライン上映会 2/20 15:00～	7
		オンライン上映会 2/20 19:00～	7
		オンライン上映会 2/27 15:00～	8
		オンライン上映会 2/27 19:00～	4
		YouTube限定公開 2/21～3/21	15
		拠点	10
		デリバリー（中学・高校含む）	27

#### (2) くると放送室

今年度新たに開室した「まんざく」の一角に映像ライブ配信、ビデオ会議、ミニFM等の機能を備えた小さな配信スタジオ「くると放送室」を設置した。設置後には、「放送室」を体験してみるワークショップを開催。子供たちがカメラマンや出演者、スイッチャー、音声等の役割に分かれ、模擬的な番組づくりを体験した。以降、日々の拠点オープン日にも、子供たちが友達へのメッセージを撮影したり、Zoomでの会話を体験したりする場となった。

期間：令和2（2020）年12月～令和3（2021）年3月

コラボレーター：岩沢兄弟（有限会社バッタネイション）デザイン・設計・設営

日付	プログラム名	参加者(人)
3/23	「放送室」を体験してみるワークショップ	10

#### (3) HAPPY TURN／神津島 ウェブサイト

ウェブサイトでは、ニュース、イベント、ブログページ等を運営し、活動を広く周知することを目指した。『HAPPY TURN／神津島 通信』では、インタビュアーを希望する移住者や学生が、島の人にビデオ通話でインタビューして執筆した2本の記事を公開した。ブログは拠点スタッフの自己紹介や日々のできごと、島の庭びらきプロジェクトのレポートや「やーい！～島をつなぐビデオレター～」の制作風景など計9本を更新し、活動を発信した。

期間：令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月

視聴数：12,126回

#### (4) 紙メディア「くるとのおしらせ」

昨年度に引き続き、事業の周知を図るため、島内の全家庭に配られる紙メディア「くるとのおしらせ」を制作。毎月第4金曜日に島内の全家庭に配布し事業の告知や報告をした。

発行回数：11回

発行日・発行部数：6・7号 8月28日 860部

8・9号 8月28日 860部

10号 9月25日 860部

11号 10月30日 860部

12号	11月27日	860部
13号	12月18日	860部
14号	1月29日	860部
15号	2月26日	860部
16号	3月19日	860部

### 【参加者の声・様子】

#### ●拠点「くると」

- ・放課後小学生が「くると集合ね!」と約束をして拠点が開く日は、ほぼ毎日遊びに来ていた。夏には庭でスタッフと一緒に水遊びをしたり、鬼遊びをしたり、黒板に絵を描いたりしていた。
- ・くると放送室では、こどもたちがカメラ係、ミキサー係、出演者、インタビュアーに分かれての、インタビューごっこや、島外へ出てしまうともだちにメッセージを話して録画するなどの遊びが行われていた。
- ・自習室「MANABU」では、中学生や高校生がテスト前に勉強をしに、大人は資格の勉強をしに来たりしていた。中学生が分からないところを大人に教えてもらう様子も見られた。
- ・お母さんたちがフラダンスの練習をしている間、こどもたちが外で自由に遊んでいた。通りがかりの住民の方練習の様子を眺めて「素敵だね」と声をかけていた。

#### ●「島の庭びらき」

- ・参加者はくるとに来るこどもたちが中心だったが、途中から観光客の若者や地域の人も参加し、草刈りが終わった後は、各自持ってきた好きなおやつや飲み物をそれぞれ食べながら、「ここでキャンプしてみたい!」「秘密基地にしたい!」など、楽しくおしゃべりをしていた。
- ・草刈りをして広くなった庭でボール遊びをしたり、壁にチョークで絵を描いたり、シートを引いて寝転んだり、広くなった空間で思い思いに遊んだ。

#### ●「やーい! ~島をつなぐビデオレタ~」視聴アンケートより

- ・元担任の先生が私たちにメッセージを送ってくれて心に残った。(島内 中学生)
- ・今まで島を出た先生や病院の先生はどうしているかな、と思うばかりで元気な姿や声を聞いてほっとした。(島民)
- ・神津を身近に感じる事ができた。コロナで島に帰れずにいるが、Zoomによって神津のみなさんとリアルタイムで繋がる事ができ楽しい時間だった。(島外)
- ・出船で島を離れてから1年があつという間に経ち、懐かしい顔ぶれを見ることができて温かい時間を過ごせた(島外)
- ・テーマ曲が耳に残ってかわいい。子供の合いの手からも島のゆったりした雰囲気を感じられてよかった。(島外)

# 37 500年のcommonを考えるプロジェクト「YATO」

## 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
会場	東京都町田市忠生エリア
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、社会福祉法人東香会
参加者数	245人

## 【事業趣旨（目的）】

谷戸（やと）と呼ばれる地形をもつ地域において、500年続く人が集う場やその仕組みを模索する。地域の専門家を招いた勉強会を通じて、歴史・文化の掘り起こしを行い、それを伝え継いでいくための方法についてのリサーチも並行して行う。関わる人たちが自身の中に500年という時間軸を創造できるようにすること、「500年続くcommon」を形成するための自身の役割を発見できるようにすることを目指す。

## 【開催状況】

### 1. やとっ子同盟プログラム

本事業に集う子供たちを「やとっ子同盟」と呼び、新しい遊びや学びの場を子供と大人がともにつくっていく取り組みとして、子供たちが地域の歴史や文化に出会うきっかけとなることを目指すプログラム。子供たちが地域の年長者やアーティストに出会う場として、ワークショップやイベントを通年で開催。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、オンラインと郵送を組み合わせたワークショップの実施に取り組んだ。

開催日	プログラム名	内容	会場	講師	参加者（人）
7月～9月	デリバリー影絵ワークショップ	YATOが拠点とする、町田市忠生の築田寺に伝わる「龍王ヶ池」の伝説をモチーフにした影絵芝居の人形をつくるワークショップ。 参加者に材料を郵送で送り、参加者はレクチャー動画を見ながら制作。講師に直接質問ができる機会として、オンライン相談会を2回開催した。 人形制作は2回に分けて行い、1回目は龍の人形、2回目は自分自身の人形を制作した。子供たちがつくった人形を使って、9月22日（火・祝）の「YATOの縁日」で川村亘平齋が影絵芝居の無観客上演を行った。	オンライン	川村亘平齋 （影絵師・音楽家）	49
8月～9月	しずむおと（土の楽器で演奏しよう）	子供たちがつくった土の楽器を音楽家とともに演奏し、最後には楽器を土にかえし、土地に伝わる伝説に思いを馳せるプログラム。 参加者に拠点まで材料を取りに来てもらい、参加者はレクチャー動画を見ながらリモートで制作。講師に直接質問ができる機会として、オンライン相談会を1回開催。制作した土器に講師が野焼きを施し、9月19日（土）の演奏会で、子供たちとともに演奏した。	オンライン	小判 （a.k.a. COINN（コイン））	9
11/21	YATOの小さな遠足～山野草を探して～	地域を知り学ぶ取り組みの一つとして、山野草を通じて、子供たちとともに谷戸の自然に触れ親しむワークショップを開催。講師のお話を聞きつつ、気になった山野草についてのメモやイラストを描き留めながら散策を行った。 同日にはイラストレーター、デザイナーにも参加してもらい、その時の記録をもとに後日、成果物としての「山野草マップ」を作成した。	築田寺	齋藤美智子 （築田寺寺族）	10
2/20	いきかよふYATO香	香りを通じて、YATOの地域性に触れてもらうワークショップをオンラインで開催。 講師があらかじめ、築田寺周辺で集めた素材を使ってつくった香水やお香を参加者に郵送。当日はオンライン会議システムで繋ぎ、においの元を当てるゲームや、においから感じた印象の共有を楽しんだ。また、築田寺の境内や池の周りの風景を映し、YATOの活動拠点の雰囲気を感じてもらった。	オンライン	岡田愛里	6

## 2. 拠点形成・集う場の考察と実践

地域の歴史・文化のリサーチで得た知見も踏まえながら、500年続く人が集う場（非日常／日常）を考察し、実際にそのような場の創出を試みる活動。今年度はオンラインも活用しながら「YATOの縁日」や「YATOの年の瀬」を行った。

開催日	プログラム名	内容	会場	出演	参加者（人）
9/22	YATOの縁日2020	新型コロナウイルス感染拡大の状況下において、多くの人が集まる場としての縁日は開催できないが、セレモニーとしての縁日を途切れさせないため、影絵のライブ配信を実施。デリバリー影絵ワークショップで子供たちがつくった影絵人形を使って、川村亘平齋が1人で影絵芝居を上演した。演じる物語は、昨年に引き続き築田寺の裏庭にある龍王ヶ池に伝わる龍の伝説をモチーフにした物語。音楽は昨年に引き続き幸町バグパイプCLUB、会場装飾はspoken words projectが手掛けた。	オンライン	川村亘平齋、幸町バグパイプCLUB、spoken words project	88 ※YouTubeアーカイブ動画視聴回数708回、Instagramアーカイブ動画視聴回数213回（9/23時点）
12/20	YATOの年の瀬2020	坐禅会が主催するお餅つきと日を合わせてTaikuh Jikang 滞空時間によるお餅つきの伴奏ミニライブを開催し、その様子をInstagram Liveで配信しながら、YATOプロジェクトメンバーが今年一年をラジオ番組風に振り返った。	オンライン	Taikuh Jikang 滞空時間	63
3/21	YATO放送局より～YATOの2020年度を振り返る～	コロナの年となった令和2（2020）年度、YATOプロジェクトではどのように活動をつないできたのか、メンバーが語るオンライントークを開催した。	オンライン	YATOプロジェクトメンバー	20 ※YouTubeアーカイブ動画視聴回数52回（3/31時点）

## 3. 地域の歴史・文化のリサーチ（調査・言語化・発信）

定期的な地域住民へのインタビューの場（聞き書き）を通して、地域史や昔話など地域の物語を掘り起こしてゆく活動。また、地域に伝承されてきた祭りや子供たちの遊びを通して受け継がれてきた知恵、忠生地域の周囲の関係性などについてもリサーチし、谷戸や人が集う場について考察を深めるとともに、リサーチで得た知識などをリーフレットやウェブサイト、かわら版を通じて地域にも還元。今年度はかわら版4号、5号を発行。さらに今年度は、これまでの活動の記録や成果を取りまとめ、活動の周知につなげる成果物の制作に着手し、プロトタイプを制作した。

### (1) YATOかわら版

発行日 4号：令和2（2020）年9月／5号：令和3（2021）年2月

編集 森若奈（「雛形」編集部）

デザイン 根岸篤男（Aim Design）

木版制作 坂本大三郎

挿絵・見出し やとっ子同盟、齋藤紘良

### (2) YATOの郷土詩

編集 森若奈、西田さき（「雛形」編集部）

写真 波田野州平（映像アーカイブディレクター）

デザイン 根岸篤男（Aim Design）

## 4. YATOアーカイブ（記録・アーカイブ）

地域にまつわる歴史や風土などに関する知識や、当活動自体を500年先まで伝え継ぐ方法や記録のあり方について検討を重ねるプログラム。活動はテキストやムービーなどで記録し、エスノグラフィー的な手法での解釈・編集を通して非体験者にも伝承できる形式でアーカイブ化。今年度はその一環として、16mmフィルムを使った「YATOの縁日2020」の記録映像制作「記録映像：奉納影絵『YATOの龍女』」を行った。

撮影・編集 波田野州平（映像アーカイブディレクター）

## 【参加者の声】

### ●影絵ワークショップ

- ・レクチャー動画もオンライン説明相談会もつくってくださったので、安心して参加することができました。また2回に分けて影絵人形をつくるのも、時間をかけて取り組むことができて良かったと思います。会えなくても、オンラインで他のお友達の絵も見られて参考になりました。
- ・住んでいる地域のことがしれたことや、幼稚園の時、園長先生から聞いた龍の話をなんとなく思い出したようで、兄弟とも会話が増えて、難しいところは手伝ってもらいながら楽しんでいました。

- ・本来忠生周辺にお住まいのお子さんが対象かと思いますが、オンラインということで少々遠いところから参加ができたことと、親子で話したりじっくり取り組めたことが良かったと思います。ただ本人もやはり直に影絵を観たり体験したかったと話していて、直接参加する形のWSも体験させたいなと思いました。

**【発行物】**

- ・『YATOの山野草 秋／冬』
- ・YATOかわら版4号
- ・YATOかわら版5号

## 38

## Artist Collective Fuchu [ACF]

## 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
会場	府中市
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利活動法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ
参加者数	71人

## 【事業趣旨（目的）】

府中市とその周辺地域を中心に、芸術・美術活動のあらゆる表現を通じて「アーティストにとって住みよいまち」、ひいては市民の自由で活発な「だれもが表現できるまち」を目指す。

## 【開催状況】

## 1. コミュニティサロン事業

Artist Collective Fuchu [ACF]独自の在り方を模索・創造するため、組織運営の在り方、コレクティブ活動の進め方をともに考えるコミュニティサロン運営を行った。事務局だけでなく、ACFに関係する多くの人々を巻き込むことで、それぞれが自発的な活動を行い、互いにそれを尊重しあう土壌をつくることを目指した。

## (1) null - 自由な場所とアートなこと -

府中市内各所の拠点を巡回しながら開催してきたプログラム「null - 自由な場所とアートなこと -」は、コロナ禍に対応し、初のオンライン開催を試みた。新たな参加者もあり、場所の制約が無いnullは新たな可能性を感じた半面、オンライン上での自由なコミュニケーション方法が課題となった。

開催日：令和2（2020）年8月29日（土）

テーマ：「こだわりすぎるくらい好きなモノ（コト）」

オンライン参加者：10名

## 2. 拠点事業

ACFの活動の軸となる拠点づくりを目指し、オンライン・オフラインの両面からリサーチ等の活動を行った。今後の事業展開における対外的な接点づくりを想定し、「ロジックモデル」づくり等を通してチームのコミュニケーションを強化し、ACFの活動全体を伝えるための冊子づくりを開始した。

## (1) まなばあーと（リサーチ活動）

開催日	リサーチ先	内容	会場	参加者（人）
8/21	NPO法人AKITEN	空き家となっているスペースを文化活動に活用している「AKITEN」の活動や、及川賢一が中核になっている活動を紹介いただいた。東京の都心部からの距離を含め、府中市とも近い地域の事例をリサーチし考察を行った。	NPO法人AKITEN (西八王子)	6
9/15	たちかわ創造舎 NPO法人アートネットワーク・ジャパン	廃校になった学校を活用し、地域とつながりながら拠点運営を行うたちかわ創造舎を視察。ディレクター・倉迫康史と陽茂弥にお話をうかがった。アーティストに創作の場を提供したり、映像関係者にロケ地として貸出をしたりと、旧学校施設を拠点として運用する事例をリサーチした。	たちかわ創造舎 (立川市)	7
10/29、 11/26	ACFのロジックモデルをつくる	ファシリテーターに竹丸草子を迎え、プログラムのための利用可能な資源、計画している活動、達成したいと期待する変化や成果の関わりについての考えを体系的に示す「ロジックモデル」の制作を行い、ACFにおける事業を目指す「成果（アウトカム）」を導き出すことを試みた。	IN VINO VERITAS SANTGRIA (府中市)	14
11/19	ゆめたま	築100年ほどの府中市にある古民家で玉川石材が長年管理してきた拠点を視察。現在は1階スペースはカフェとして機能している。土地柄、法事に利用されてきた場所で文化活動の拠点になりうるのかを見学した。日本庭園や庭園内の庵もあり歴史を感じる場を体感した。	ゆめたま（府中市）	4
2/1	NPO法人こども哲学・おとな哲学アーダコーダ	こども哲学、哲学対話の活動を行うアーダコーダの井尻貴子、清水将吾にオンラインで哲学対話とは何か、またアートと哲学対話の可能性を動画を交えて紹介いただいた。	オンライン	8
2/18	石井希代子	レゾエミリア教育の研修や実践に長年携わってきた石井希代子が現地の動画を交えて解説をしてくださった。	オンライン	11
3/16	古屋祥子	素材を核とした芸術教育支援として地域でアートワークショップを行い彫刻のアーティストでもある側面を持つ古屋祥子に、山梨県立大学で実施しているリユース・アート・プロジェクトの活動を現地中継も交えて紹介いただいた。	オンライン	11

### 3. メディアプログラム

府中市内のアーティストや人々の活動を紹介するメディアづくりを行う。取材や記事の紹介を通して、人々や場所と出会いなおすことで、ACFの活動を伝え、地域内のネットワークを拡張し、コミュニティサロンに関わる人材の発掘の場とした。

#### (1) Airtist Collective Fuchu presents 「おとのふね」

コミュニティラジオ・ラジオフューズと連携し、毎月第1火曜日の22時から30分のラジオ番組Airtist Collective Fuchu presents 「おとのふね」を継続的に配信した。コロナ禍に応じてスタジオ収録に限定せず、現地収録も行った。

開催日	ゲスト	視聴数 (人)
4/7	高嶋英男 (美術作家)	752
5/5	宮山香里 (美術作家)	
6/2	和田滋夫 (FLAT STAND 管理人)	
7/7	宮川亜弓 (府中乃森珈琲店店長、ACF事務局、舞台俳優)	
8/4	MAMI (アートワークショップクリエイター、テレジンを語りつく会 府中 代表)	
9/1	陽茂弥 (舞踏団ねむむ主宰、振付家、舞踏家)	
10/6	かざごえみ (学芸員、絵本作家)	
11/3	シーナアキコ&水野さやか (あそびのアトリエズッコロッカ共同主宰)	
12/1	宮崎太貴&佐藤拓也 (アパレルブランド F.F.P. メンバー)	
1/5	小川優紀 (コラージュ作家、grand jete オーナー)	
2/2	加藤希 (シンガーソングライター)	
3/2	渡辺勇士 (ワークショップデザイナー、合同会社デジタルポケット チーフファシリテータ)	

#### (2) ACFかわら版「かみひこうき」

創刊準備号を8月に発行。その後、デザイナーとライター、新メンバーを迎えて創刊号を編集し、3月に見開きのかわら版を発行した。

8月15日発行 「かみひこうき」創刊準備号 2,500部

3月発行 「かみひこうき」創刊号 3,000部

### 【参加者の声・現場レポート】

#### ●「まなばぁーと」リサーチ活動「NPO法人AKITEN」

・地域にアートプロジェクトで「問題提起」をし、まちづくりプロジェクトや行政で「解決する」、という及川さんの視点が印象に残っています。改めて、府中市という地域が持つ特性や、その地域社会と繋がるべきアートについて考えたいと思いました。

#### ●「まなばぁーと」リサーチ活動「ACFのロジックモデルをつくる」

・プロジェクトに途中参加したけど、なにを目指しているのか知れた  
 ・忖度とか予定調和がなくて、面白かった  
 ・いろいろな考えを持っている人がいることがわかったので、これからも混ざり合っていくような活動がしたい

#### ●「null -自由な場所とアートなこと-」

・ひとつに集まる、個別に雑談はなしがそれたりといったことは組み立てづらい部分あり  
 ・オンラインでも余白があるようなそういう組み立てに期待

## 39

ファンタジア！ファンタジア！  
—生き方がかたちになったまち—

## 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
会場	墨田区京島、東向島、吾妻橋
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人うれしい予感
助成	すみだ文化芸術活動助成金
参加者数	599人

## 【事業趣旨（目的）】

東京都墨田区北部（以下：墨東エリア）の文化的な生態系の変化がそれぞれの営みを豊かにする循環を目指すことで、まちをひとつの“学びの場”へと見立てていくプロジェクト。個々人の意思でしなやかに変化する墨東エリアで創造される“学び”が、ともすれば硬直しがちな地域内部の関係性をやわらかくする機会をつくり、次の墨東エリアをかたちづくる萌芽を育てることに繋がることを目指す。

## 【開催状況】

## 1. プラクティス「みじかい間、少しとおくまでの対話」

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて様々な活動が自粛・制限される中でも、地域の人々との関係を活かした非接触型のプログラム「みじかい間、少しとおくまでの対話」を実施。これまで対面でのコミュニケーションを重視して行っていた「WANDERING」および「ファンファンレター」をコロナ禍でも楽しめるように、オンライン上で動画を見ながら自宅で一人で行える『WANDERING：ショートショート』、テイクアウトを行う飲食店で配布した付録付きの『ファンファンレターみじかい間号』として特別版を発行した。

『ファンファンレターみじかい間号』

発行：4回

部数：250部

## 2. プラクティス「超衆芸術スタンドプレー 夜明けから夜明けまで」

昨年度「アーティスト・イン・レジデンス」および「ラーニング・ラボ」に参加したアーティストコレクティブのオル太を引き続き招聘して取り組んだ展覧会を開催。昨年度に引き続き様々な有識者やまちなかで出会った住民の方々から墨田区の歴史について伺った話と、墨田区を舞台にした文学、映画、美術作品を断片的にコラージュしながら制作した映像インスタレーションを展示した。会期中はゲストを招いた「アーティストトーク」も開催した。

日時：令和2（2020）年11月7日（土）～11月29日（日）

会場：北條工務店となり

来場者：377人

助成：すみだ文化芸術活動助成金

## (1) アーティストトーク

日時：令和2（2020）年11月8日（日）

会場：北條工務店となり

登壇者：オル太、青木彬（「ファンタジア！ファンタジア！—生き方がかたちになったまち—」ディレクター）

ゲスト：山本浩貴（文化研究者／アーティスト）

参加費：無料

参加者：22人

## 3. ラーニング・ラボ

アートや教育、農業など“生きること”にまつわるテーマで研究・実践を行う有識者を招いたレクチャー企画。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として参加者とのディスカッションを避けてゲスト2人によるクロストーク形式でオンライン配信を行った。テーマは墨田区に縁のあるセツルメント運動を発端に、手芸、セクシャリティ教育の3本を三週連続で配信。

開催日	プログラム名	会場	登壇者	参加者（人） ※生配信視聴者数
12/8	「文化が寄り添っていた場所：今和次郎とセツルメント運動」	オンライン	黒石いずみ（青山学院大学総合文化政策学部教授）、 萱村竜馬（社会福祉法人興望館事務局主任補）	35
12/15	「手芸の在り処：手仕事から見る家庭と労働」	オンライン	碓井ゆい（アーティスト）、伊藤亜紗（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院准教授）	77
12/22	「私とあなたの『当たり前』を解きほぐす：隣にある当事者性を考える」	オンライン	渡辺大輔（埼玉大学基盤教育研究センター准教授）、 木村奈緒（フリーランス）	31

#### 4. ファンファンレター

各プログラムを通じて得た地域の情報や、プロジェクトの活動を地域へ広報する媒体として継続して「ファンファンレター」を制作。新型コロナウイルスにより対面での制作が難しい時期はビデオチャットツールを活用してオンライン上での制作を行うことで、継続的な発行を行うことができた。配布はこれまでと同様に墨東エリアのカフェに設置をするほか、Facebook ページにも投稿を行った。

制作回数：19回（うち4号は「(1) プラクティス」プログラムを含む）

作成部数：各号 約200部

#### 5. ファンファン倶楽部

これまではオープンスタジオ形式で行っていた「ファンファン倶楽部」を、部員を募集する形式で実施。参加者それぞれの関心ごとをテーマにしたディスカッションやワークショップ、「ファンファンレター」の制作などを行った。新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として実施時期の状況を考慮しながら第1期は対面とオンラインの併用、第2期は全回オンラインで開催した。

開催期間	プログラム名	会場	参加者（人）
10月～12月（全11回）	第1期	sheepstudio、曳舟文化センター ※オンラインも併用	延べ33
2月～3月（全6回）	第2期	オンライン	延べ24

#### 6. 『ファンファン2020ドキュメント』／『その時、ファンファンは！？』

令和2（2020）年度の活動をまとめるドキュメントを制作。実施したプログラムの記録をまとめた『ファンタジア！ファンタジア！ドキュメントブック2020』と、プログラムを企画運営する事務局が、プログラムの裏側でどんなことを考えていたかをまとめた『その時、ファンファンは！？』を発行した。

作成部数：700部

デザイン：高良真剣

寄稿者：佐原滋元（向島百花園）、飯岡陸（キュレーター）

#### 7. 公式ウェブサイト等運営状況

##### (1) 公式ウェブサイト

掲載コンテンツ：ラーニング・ラボの記録動画2本、プラクティスブログ5本

##### (2) Facebook

ページフォロワー：543人

### 【参加者の声】

#### ●プラクティス

- ・墨田区で大変意義深い活動をしている。下町や江戸情緒はこうした形で再構成されることで継承されると思う。(40代/男性/区内在住)
- ・これまで墨田区の歴史をここまで取り上げることができたアーティストはいなかったと思う。こうした歴史を取り上げてくれたことは地元住民としても嬉しい。(70代/男性/区内在住)
- ・時代を超えて語られるまちの姿にあらためて地域の姿を知った気がする。(40代/男性/区内在住)

## 40

## 移動する中心 | GAYA

## 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
会場	オンライン
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、公益財団法人せたがや文化財団 生活工房、特定非営利活動法人記録とメディアと表現のための組織 [remo]
参加者数	38人

## 【事業趣旨（目的）】

昭和の世田谷をうつした8ミリフィルムのデジタルデータを活用し、映像を介して、それぞれの記憶や想像を持ち寄り語り合うことのできる交流の場を創出するコミュニティ・アーカイブプロジェクトを実施する。市井の人々の記録である映像の再生をきっかけに紡がれる個々の語りを拾い上げ、プロジェクトとともに動かす担い手づくりを目指す。それによりローカルな記録や記憶を地域全体で共有するための持続可能な仕組みづくりを行う。

## 【開催状況】

プログラム構成：

## 1. 声を拾う仕組みづくり（人材育成）

サンデー・インタビューアーズが、8ミリフィルムの映像から語りを引き出すための「問い（気づきや疑問）」を、映像から発見的に見出す方法をさぐり、「みる、はなす、きく」の3ステップとしてまとめた。ワークショップでは、とくに「みる、はなす」を重点的に試行した。なお、新型コロナウイルス対策のため、今年度は実地でのインタビューは参加者の自主的な判断と身近な範囲に限定するにとどめた。

## 2. アーカイブセンターの設計（環境整備）

平成31（2019）年度に募集したサンデー・インタビューアーズの継続参加者を募り、4人の参加を受け付けた。参加者が集う機会として、6月から3月にかけて定期的にオンライン・ワークショップを開催。新型コロナウイルス感染症対策のため、オンライン会議サービス（Zoom）とチャットツール（Slack）を用いてオンライン上で活動が完結する環境を整備した。

開催日	会場	プログラム名	内容	参加者（人）
6/14	オンライン	オンライン・ワークショップ第1回	ガイダンスと自己紹介（コロナをきっかけに始めたこと／やめたことなど）	3
7/5	オンライン	オンライン・ワークショップ第2回	「仕事」をテーマに世田谷クロニクルを見直してみる	3
7/19	オンライン	オンライン・ワークショップ第3回	「〇〇」をテーマに世田谷クロニクルを見直してみよう	3
8/2	オンライン	オンライン・ワークショップ第4回	活動の記録の伝え方を考える	4
8/16	オンライン	オンライン・ワークショップ第5回	『あこがれの犬島へ』をみんなで見てみよう	2
8/30	オンライン	オンライン・ワークショップ第6回	『あこがれの犬島へ』をもういちどひとりでみる	3
9/13	オンライン	オンライン・ワークショップ第7回	『ボロ市パレード』をみてタイムコードを作成してみよう	4
9/27	オンライン	オンライン・ワークショップ第8回	『勝、1年、誕生日』をみてタイムコードを作成してみよう	3
11/3	オンライン	オンライン・ワークショップ第9回	3ステップのオリエンテーション（みる、はなす、きく）	2
12/6	オンライン	オンライン・ワークショップ第10回	『節分など』をみて、気になったシーンについてはなす	2
12/20	オンライン	オンライン・ワークショップ第11回	『東京転勤』をみてはなす	2
1/24	オンライン	オンライン・ワークショップ第12回	『東京転勤』できく、『初春日記』をみてはなす	2
2/28	オンライン	オンライン・ワークショップ第13回	『初春日記』できく、『正月から3月』をみてはなす	3
3/28	オンライン	オンライン・ワークショップ第14回	『正月から3月』できく、『春休み動物園』をみてはなす	2

## 3. メディア制作等

事業の情報発信や事業で開発した手法を広く伝えるため、サンデー・インタビューアーズのウェブサイト（<https://aha.ne.jp/si/>）やnote（[https://note.com/gaya\\_2020/](https://note.com/gaya_2020/)）のアカウントを開設した。

## 【参加者の声】

## ●サンデー・インタビューアーズ

・気になったことを話す、または書き込むと他の方が補足してくださったり、別の部分を見ていたり、連想した話が出てきたり、自分が思ったことと逆だったり、視点が広がるおもしろさがあった。他の方の語りを聴きながら映像を流していたら、映像との親和性が高くて驚いた。その土地にゆかりがあるから語れること、それが時間をつな

ぐようなことがありそう。パーツがタイムラインをまた作っていく感じがした。

- ・ やって気づいたこと。無声8ミリだと音は聞こえないけれど、撮影中は撮影者と被写体は会話をしていたんだろうなど。どんな話をしていたんだろうと、世田谷クロニクルの被写体の眼差しからより妄想が膨らみます。
- ・ (『ボロ市パレード』を見て) 面白かったのは、パートナーがこんな曲だった、と口ずさんでくれたメロディーと実際の曲が全然違ったことです。当事者が語ったことが事実とは限らない、記憶と事実の食い違いを感じました。今回は卒業アルバムという検証できる記録が残っていたからわかりましたが、当事者が語ること=事実、と思いこんでしまうことって起こりそうですね。

## 41

## 東京で(国)境をこえる

## 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
会場	世田谷区経堂
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、一般社団法人shelf
参加者数	391人

## 【事業趣旨（目的）】

多くの在留外国人や海外にルーツを持つ人々が生活する東京で、「東京には見えないことにされている様々な壁がある」という仮説をもとに、その「見えない(国)境、壁」について考察するアートプロジェクト。

東京に生きる人々、特に外国にルーツを持つ人々が感じる個人と他者／社会／世界との境界と、それにまつわる問題を探りながら、日常的に出会う場を生み出す拠点（コミュニティ）の形成を目指す。

## 【開催状況】

## 1. プロジェクト準備会

9月から開催する『kyodo 20\_30』で『東京で(国)境をこえる』の事業趣旨を達成するためのプログラム開発を、プロジェクトメンバーと事務局で行った。

開催期間 4月～8月

会場 オンラインおよび品川区旧東海道（7/26）、アーツ千代田3331（8/30）

参加者 157人（うちオンライン参加137人）

開催日	内容	参加者(人)
5/3	緊急事態宣言という稀な状況でお互いの近況を話し合う。	11
5/17	会えない状況を「見えない壁」と見立て、如何にこの状況が記録できるか検討した。	10
5/31	『kyodo 20_30』を始めるにあたり、プロジェクトメンバーで共有できる知見を持ち寄る。	13
6/7	映画『HAFU』の感想会と、プロジェクトに反映できるものをプレストした。	11
6/14	『kyodo 20_30』で行うワークショップのアイデアを出した。	9
6/21	プロジェクトのテーマを細分化し、分科会にて議論を行った。	13
6/28	前回の話し合いを継続して行った。	8
7/5	前回、前々回のプロセスをプロジェクトメンバー全体にフィードバックを行った。	10
7/12	『kyodo 20_30』のプログラム詳細について構成会議を話し合った。	9
7/19	『kyodo 20_30』で行うワークショップのリハーサルを行った。	9
7/26	オフラインにて、品川区旧東海道のフィールドリサーチを行った。	※6
8/2	7/12回の続きとして構成会議の2回目を行った。	11
8/9	ゲストに多文化保育イニシアティブ代表の山田拓路を招いて、多文化コミュニティにおける留意点を伺った。	13
8/23	『kyodo 20_30』参加者募集の説明会について打ち合わせを行った。	10
8/30	オフラインにて『kyodo 20_30』参加者募集説明会のリハーサルをアーツ千代田3331で行った。	※14

※オフラインによる参加者

## 2. kyodo 20\_30

10年後の2030年に社会を担う20歳から30歳の若い人たちと、国籍・言語・文化などにとらわれずに展開する。「東京で(国)境をこえる」のテーマである「見えない(国)境、壁」を意識しながら、様々なクリエイションを行い、議論や理解を深めるプロセスを重ねた。

開催期間 9月～3月

会場 経堂アトリエおよびアーツ千代田3331（9/6）オンライン（1/17、1/23、2/13）

参加者 234人（うちオンライン参加86人）

開催日	内容	参加者(人)	オンライン参加者(人)
9/6	オンライン『kyodo 20_30』参加者募集説明会をアーツ千代田3331で行った。(延べYouTube視聴回数595回)	14	—
9/27	『kyodo 20_30』のプログラムがスタート。(以下#に通し番号) 綾田将一によるワークショップを行う。	17	—
10/10	『kyodo 20_30』#2を実施。参加者の自己紹介を行う。	16	3
10/24	『kyodo 20_30』#3を実施。経堂の街を歩く。	22	—
11/7	『kyodo 20_30』#4を実施。「見えない壁や境界」について話し合う。	23	1
11/21	『kyodo 20_30』#5を実施。引き続き「見えない壁や境界」について話し合う。	13	12
12/5	『kyodo 20_30』#6を実施。野村プリシラさゆりによるワークショップを行う。	22	4

開催日	内容	参加者(人)	オンライン参加者(人)
12/19	『kyodo 20_30』 #7を実施。テーマごとの分科会となり、4つのグループにわかれる。	21	3
1/17	『kyodo 20_30』 #8をオンライン実施。ゲストに大阪市立大学都市文化研究センター研究員のケイン樹里安を招き、ハーブについてのレクチャー&ディスカッションを行った。	—	19
1/23	『kyodo 20_30』 #9をオンライン実施。成果発表のアクションに向けて準備する。	—	21
2/13	『kyodo 20_30』 #10をオンライン実施。『経堂万(国)博覧会』の代わりとなる成果発表を「アクションを準備したプロセスの冊子制作」とし、そのためのレクチャーを行う。	—	23

## 【『kyodo 20\_30』の成果物】

### 1. 冊子集の制作

『kyodo 20\_30』の成果発表のため、令和3（2021）年2月に「経堂万(国)博覧会」の開催を目指したが、コロナ禍においてその開催は困難なものとなる。その代わりとなる成果発表を、参加者が4つのグループに分かれて各々の視点から活動のプロセスを記録した制作ノートをそれぞれに制作、それを冊子集とし発行した。

### 2. YouTubeでの成果発表

1. と同様に「経堂万(国)博覧会」の代わりとなる成果物を、YouTubeにて公開。kyodo 20\_30参加者の遊佐みどりによる音声作品「Prejudice」に、プロジェクトメンバーの寺門信が作品解説を寄稿した。

<外部機関による調査・研究対象としての「東京で(国)境をこえる」>

#### 1. 在留外国人との共生を目指した文化政策-日韓星比較を通して-

○KAKEN（科学研究費助成事業）による調査・研究。

○日本、韓国、シンガポールにおける在留外国人を対象とした文化政策やアートプロジェクト（社会的課題の解決のためのアートによる市民プロジェクト）を比較分析し、日本の課題を明らかにすることを目的とする。

#### 2. 「協働的な創作プロセスにおける複数性——アートプロジェクト『東京で(国)境をこえる』を事例に」

○楊淳婷（東京藝術大学国際芸術創造科特任助教）による調査・研究。

○芸術団体による多文化社会への関心・活動の多くが「国際交流」にあるなかで、『東京で(国)境をこえる』による多様な人々による「芸術創造の仕組み」について検討している点が、興味、研究対象と重なった。shelfが国際共同制作を行いつつ、地域の多様性にも目を向け、ひとりひとりの多様性を活かした芸術創造にチャレンジしている部分も評価をいただいている。

## 【参加者の声】

- ・対話の大切さ。出会えることの貴重さ。人って面白い。ことを、改めて感じました。
- ・芸術との関わり方、趣味として以外の距離感をみつけようとより能動的になりました。
- ・具体的には、ファシリテーションスキル、イベントを運営する際の身体感覚など。抽象的には、気持ち的なところでたくさん助けられました。特に昨年の4月から夏までのコロナ禍では、リアルな生活に知り合いもおらず、友達が全員東京にいて会えない中で、このプロジェクトが唯一、気を使わずに本音で人と話せる場所でした。
- ・分科会によってできたグループのテーマが合っていたこともあると思いますが、日常の中でアートを考える場面が増えたことは自分にとって大きな収穫でした。
- ・ファシリテーションとクリエーションが、より密接に一体化した感がある。アートとライフも、よりつながった。特にチームのメンバーと、会う回数や頻度も少なかったのに、リモートだったのに、その感覚を共有できたのは何よりの支えであり収穫だった。

## 【発行物】

- ・『東京で(国)境をこえる 2020年度活動記録』
- ・『Beyond Invisible Borders kyodo20\_30/2020（4冊セット 01：記号化／共感、02：感情、03：呪い、04：環境）』

# 42 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業 Art Support Tohoku-Tokyo

## 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
会場	岩手県、宮城県、福島県の各所
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 【宮城】つながる湾プロジェクト運営委員会 【岩手】特定非営利活動法人いわて連携復興センター 【福島】いわき市、一般社団法人Teco
協力	【宮城】ビルドフルーガス、一般社団法人チガノウラカゼコミュニティ 【岩手】社会福祉法人愛泉会 かまいしこども園、釜石まちづくり株式会社、こよみのよぶね実行委員会・宝来館、一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校、一般社団法人チームスマイル、NPO法人@リアスNPOサポートセンター 【福島】下神白団地自治会、永崎団地自治会
参加者数	約2,826人

## 【事業趣旨（目的）】

東日本大震災により甚大な被害を受けた地域に、東京や被災地の芸術文化を活用し、被災地のアートNPO等と連携して、地域コミュニティを再興するため、様々な人々との交流プロセスを重視したアートプログラムや、その実施を支える仕組みづくりを支援する。

## 【開催状況】

### 1. つながる湾プロジェクト

海からの視点で宮城県松島湾を囲む地域の文化を再発見し、味わい、共有し、表現することを通して、現代では当たり前になっている「陸の視点」とは異なった見方で地域や人・時間のつながりを捉え直す試みを行った。

日 時：令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月

参加者数：約150人

出演者・講師：佐藤啓一（漁師）、鈴木孝行（公務員／多賀城市役所）、須田聡宏（陶芸家／アトリエ陶の泉）

### （1）湾をめぐるパスポート（宮城）

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業内容を変更修正しながら実施となった。アクティビティの体験などで人が集まる内容を見直し、コレクションラリーとして個人でも実施できる形式としたことで、イベントの実施日程に左右されない、湾域の文化を日常生活の中に溶け込ませていく目的に合致したものとなった。パスポートに関連したアクティビティの発信等は外部団体の連携しながら継続して行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施が困難だったものもあったが、社会状況を見ながら協力者とともに実施した。

開催日	実施内容	実施場所
9/25	ハゼの数珠釣り	七ヶ浜町内
12/5	ハゼの焼き干しづくり	漁師作業場（七ヶ浜町）
9/28、29	ハゼの数珠釣り	塩竈市内
10/20	多賀城古代米を知ろう	多賀城市内
12/8	ハゼの焼き干しづくり	太田興八郎商店（塩釜市）

### （2）文化交流市場（宮城）

新型コロナウイルス感染症の影響により、1か所での集客イベントではなく、出前ワークショップ形式として実施した。文化交流市場はこの土地の文化を知り、その価値を認め合うという目的に沿い、ワークショップでは湾を囲む自治体ごとに別の市町エリアの文化体験ができる様にワークショップの内容を変えて実施した。また、家庭でも文化体験を楽しめるキット「仙台白菜のタネづくり」「牡蠣殻から肥料づくり」を制作し、それぞれ参考となる動画もYouTubeに公開した。

開催日	実施内容	実施場所
9/6	牡蠣殻から肥料づくり	イオンモール利府（利府市）
3/8	梨灰釉をつかってうつわをつくろう	清水沢東こどもカフェ（塩竈市）
3/9、20	多賀城瓦クッキー型でブローチをつくろう	埋蔵文化財調査センター体験館 多賀城史遊館（多賀城市）
3/15	梨灰釉をつかってうつわをつくろう	清水沢東こどもカフェ（塩竈市）

### (3) 「松島湾の大図鑑」制作（宮城）

平成28（2016）年度から制作しているシリーズの第5弾。これまで制作した4冊の内容に新章を追加して「松島湾の大図鑑」として1冊にまとめた。松島湾沿岸の自治体の教育委員会を通して、小学校に寄贈を進めた。

### (4) チームwan勉強会

松島湾沿岸部の文化や歴史について学ぶ勉強会を実施した。地域の歴史に詳しいゲストを招き、オンラインで行った。

開催日	実施内容	実施場所
11/17	「石器時代にも稲あり～弥生稲作を証明した多賀城市大代樹形囲貝塚出土土器～」	しおがまパノラマ（塩竈市）
11/19	「古代都市多賀城から出土の製塩土器～内陸から出土する製塩土器とは～」	しおがまパノラマ（塩竈市）

### (5) 海底タイムカプセル引き上げ

4年4か月の期間、海中に沈めていた「海底タイムカプセル」2個を引き上げ、開封した。一部浸水はあったものの、カプセル内に入っていた手紙はすべて書き込まれた届け先へ郵送することができた。

開催日	実施内容	実施場所
11/15	海底タイムカプセル引き上げ	くろしお北浜マリナーズ（塩竈市）
12/14	カプセル開封	しおがまパノラマ（塩竈市）

### (6) 記録アーカイブ・発信

ウェブサイトではアーカイブページ「つながる湾の軌跡」にこれまで活動に参加していただいた参加者のインタビューを7人分公開した。また、イベントの告知やレポートも行った。プロジェクトの活動を伝えるフリーペーパー「うみねこ通信」は1回発行し、市内文化施設等で配布した。

## 2. ラジオ下神白—あのとときあのみちの音楽からいまここへ（福島）

「ラジオ下神白」というローカルラジオ番組を福島県復興公営住宅・下神白団地の住民と招聘アーティストのアサダワタルが協同制作する。アサダワタルは、プロジェクトの全体ディレクション、住民とのコミュニケーションを基盤とした取材対応、音源制作編集を行った。

令和2（2020）年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、都道府県をまたいだ移動が制限される中、7枚目となるラジオCDを制作した。また、ビデオ会議ツールを活用してアサダと団地住民とが交流する「オンライン訪問」、住民の思い出の曲のバック演奏を行う「伴奏型支援バンド（BSB）」の活動を定期的に実施。そのなかで、住民の歌声やBSBの演奏等を重ねた音源制作、それらに思い出の写真や訪問の様子などを重ねたミュージックビデオの制作等を行った。

日 時：令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月

場 所：いわき市小名浜下神白団地・永崎団地内

参加者数：282人

アーティスト：アサダワタル（文化活動家／アーティスト）

## 3. ぐるぐるミックス in 釜石（岩手）

「ぐるぐるミックス」は一般社団法人谷中のおかってと、アーティストのきむらとしろうじんじんが共同開発した子供創作教室。本プログラムのエッセンスをこども園の日常の保育業務に接続するための試みとして、園の先生方と活動の価値観の共有や言語化を行うための「ぐるぐるの会」、こども園の先生が主体となり、自ら考案したプログラムを実施する「プチぐる」、アーティストがファシリテートするプログラム「ぐるぐるミックス」を実施してきた。今年度は、コロナ禍により、当初計画していたかたちでの活動は叶わなかったが、Zoomなどを活用して先生方とこ

コミュニケーションをとり、初の試みとしてリモートでのぐるぐるミックスを実施した。

また、「ほやほや通信」(全3号)を発行し、こども園での活動の様子を地域内外に発信するとともに、ASTT事業としてきむらとしろうじんじんの「野点」をスタートした平成24(2012)年から現在までの繋がりを紹介し、9年間のプロジェクトのまとめとした。

日 時：令和2(2020)年4月～令和3(2021)年3月

場 所：社会福祉法人愛泉会 かまいしこども園

参加人数：178人

講師等：きむらとしろうじんじん(美術作家)、大西健太郎(ダンサー)、富塚絵美(アートディレクター/パフォーマー)、渡邊梨恵子(一般社団法人 谷中のおかって 代表)

開催日	プログラム名	会場
7/28	ぐるぐるの会①	かまいしこども園
8/18	プチぐるの実施	
8/21	プチぐるの実施	
9/18	プチぐるの実施	
11/13	プチぐるの実施	
11/18	プチぐるの実施	
11/25	プチぐるの実施	
12/4	ぐるぐるの会②	
2/24~26	リモート版ぐるぐるミックス	

#### 4. とうほくのこよみのよぶね(岩手)

例年、3月11日に鎮魂の祈りをこめてつくった「3.11」の数字のかたちをした行燈型の船に光を灯し、海の上に浮かべる活動を行ってきた。本年度事業については、新型コロナウイルス対策をしたうえで、海上に船を浮かべることを行った。

日 時：令和3(2021)年3月10日、11日

場 所：釜石市鶴住居町根浜「宝来館」

参加人数：約200人

講師等：日比野克彦(アーティスト)

#### 5. Art Support Tohoku-Tokyo2011→2020

事業開始から10年目かつ事業最終年度となる節目に、10年という時間のなかで育まれてきた、様々な経験や技術を振り返り、未来に受け渡すための企画を、オンラインをベースに実施した。

日 時：令和2(2020)年4月～令和3(2021)年3月

参加人数：2,016人

##### (1) 10年目の手記

東日本大震災にまつわる「忘れられない」「忘れたくない」「覚えていたい」出来事を綴った手記を募集した。募集のあった手記は、「10年目をきくラジオ モノノーク」での朗読(月1本程度)や、ウェブサイト『Art Support Tohoku-Tokyo 2011→2021』(月8本程度)への掲載を行った。また、水戸芸術館への事業協力として企画展「3.11とアーティスト：10年目の想像」内で公募した手記をウェブサイトに掲載した。

「10年目の手記」プロジェクトメンバー：瀬尾夏美(アーティスト/一般社団法人NOOK)、中村大地(作家、演出家/屋根裏ハイツ主宰)、高森順子(社会心理学者/阪神大震災を記録しつづける会)、特別選考委員：小野和子(民話探訪者/みやぎ民話の会)

##### (2) 10年目をきくラジオ モノノーク

震災後に生まれた知恵や技術などが“声”となって交差するオンラインのラジオプログラムを配信。朗読や音楽、ゲストへのインタビュー、視聴者からのお便りなどを通して、震災から“10年目のいま”に耳をすませた。

日時：6/27、7/25、8/15、8/29、9/12、10/10、11/14、11/28、12/26、1/23、2/13、2/27、3/13

制作チーム等：瀬尾夏美（アーティスト／NOOK）、桃生和成（Granny Rideto）、中村大地（作家、演出家／屋根裏ハイツ主宰）、佐竹真紀子（美術作家）、小森はるか（映像作家）、福原悠介（映像作家）、濱田直樹（株式会社KUNK）、Nami Sato（サウンドアーティスト）、佐藤豊（グラフィックデザイナー）

### （3）ウェブサイト『Art Support Tohoku-Tokyo2011→2020』

Art Support Tohoku-Tokyoの公式ウェブサイトを『Art Support Tohoku-Tokyo 2011→2021』にリニューアル。「10年目の手記」の掲載や「10年目をきくラジオ モノノク」のアーカイブ配信に加え、寄稿やリレー日記など、様々なコンテンツを掲載した。

寄稿者等：宮地尚子（精神科医師）、榎木野衣（美術批評家）、畠山直哉（写真家）、関口涼子（著述家／翻訳家）ほか

### 【参加者の声】

#### ●ラジオ下神白

- ・新型コロナウイルスにより団地内イベントが減り人と会う機会が減った中、ラジオCDを通じて団地内の人に自分の存在を知ってもらえる機会が出来て嬉しい。
- ・ラジオCDに参加した事で、団地内外で住民の方に話しかけられる機会が増えた。顔見知りが増え孤独感が減った。
- ・オンラインという新しい方法で、変わらず人と交流出来る事が驚きと共にとっても嬉しい。
- ・オンライン(テレビ電話)は初めての体験で最初は緊張により敬遠していたが、参加してみると一対一でじっくりお話が出来いつもより饒舌に話をしている自分がいた。大勢の中だと一歩引いてしまうため、このような体制で行うのも良いと思った。

### 【発行物】

- ・『松島湾の大図鑑』
- ・『ほやほや通信』第1号～第3号
- ・『FIELD RECORDING vol.05 特集：自分のことを話す』

# 43

## タレンツ・トーキョー2020

### 【事業概要】

開催日時	令和2（2020）年11月2日（月）～7日（土）
開催場所	オンライン
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）
助成	国際交流基金アジアセンター
提携	ベルリナーレ・タレンツ（ベルリン国際映画祭）
協力	ゲーテ・インスティトゥート東京
参加人数	タレンツ15人、エキスパート（講師）11人

### 【事業趣旨（目的）】

映画分野における東京からの文化の創造・発信を強化するため、「次世代の巨匠」になる可能性を秘めた「才能（＝Talents、タレンツ）」を育成することを目的に、映画作家やプロデューサーを目指すアジアの若者を東京に集めて実施。世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供する。

### 【開催状況】

新型コロナウイルスの世界的感染拡大に伴い、初のオンライン開催となった。国際的に活躍するプロフェッショナルをエキスパート（Main Experts、Master Class Experts、Other Experts）として迎え、レクチャーや企画合評会を実施。第一線で活動する専門家の視線に晒されることにより、強烈なインスパイアを受ける体験の場となり、タレンツ同士や修了生との交流も生まれ、参加者それぞれのネットワークを国際的に広げる機会を提供することができた。

<参加者>

監督：

LIAO Zihao（中国）

Shae XU（中国）

林俊作（日本）

北川未来（日本）

中井ノエミ（日本）

CHIA Chee Sum（マレーシア）

Okkar（ミャンマー）

Hector Barretto CALMA（フィリピン）

Nelicia LOW（シンガポール）

WENG Yu-Tong（台湾）

Puangsoi AKSORNSAWANG（タイ）

プロデューサー：

Nick CALPAKDJIAN（インドネシア）

Yulia Evina Bhara（インドネシア）

Achinette VILLAMOR（フィリピン）

Geoderic LOMUNTAD（フィリピン）

メイン・エキスパート

PARK Kiyong（監督）

Bianca BALBUENA（プロデューサー）

Sebastien CHESNEAU（ワールドセールス）

Florian WEGHORN（ベルリナーレ・タレンツ）

マスター・クラス・エキスパート  
是枝裕和（監督）  
黒沢清（監督）  
篠崎誠（監督）

アザー・エキスパート  
Alyx Ayn ARUMPAC（監督）  
Armi Rae CACANINDIN（プロデューサー）  
Kathi BILDHAUER（ベルリン国際映画祭 タレンツ・プロジェクト・マーケット担当）  
Vincenzo BUGNO（ベルリン国際映画祭 ワールド・シネマ・ファンド担当）

### 【参加者の声】

- ・様々な背景を持つタレンツの話聴いて勉強できたことに感謝します。皆のプロジェクトの制作過程や一緒に勉強していくプロセスに感銘を受けました。エキスパートやタレンツ・トーキョー・チームもとても協力的でした。
- ・エキスパートは（映画企画の）プレゼンテーションについて、具体的な提案をしてくれました。他にも各自の専門分野についてかけがえない知識を分けてくれました。
- ・各エキスパートの得意分野が多岐にわたっていたことがよかったです。タレンツ・トーキョー全体としてよい構成だったと思います。
- ・若手監督として、是枝監督の作品へのアプローチはとても勉強になりました。また、アリックスの作品作りへの信念に心打たれました。彼らが語ったことは私の記憶に長く残っていくでしょう。
- ・講義の後に話し合えたりふざけ合ったりできる環境を作ってくれたのがうれしかったです。オンライン・パーティーや何気ない会話、他のタレンツのプロジェクトを詳しく聴くなどできたのがとてもよかったです。たくさんの友達ことができました。

# 44

## アーツアカデミー

### 【事業概要】

開催期間	令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月
開催場所	オンライン、東京芸術劇場、他劇場
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
参加者数	計25人（アーツカウンシル東京：20人、東京芸術劇場：OJT研修生5人）

### 【事業趣旨（目的）】

芸術文化の創造・発信を担う人材を育成するプログラムを実施する。

#### ■アーツカウンシル東京 芸術創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座

社会における芸術文化の役割について深い知見と広い視野をもって思考、実践するキャパシティビルディングの支援。様々な分野・属性の実務経験のある担い手を対象とした講座を実施。

#### ■東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

劇場やフェスティバル等での活躍を目指す若手人材に対し、プロデューサーやコーディネーターとしての資質の向上、舞台芸術分野へのキャリアチェンジに資する研修事業や幅広い対象層向けの公開講座を実施。

### 【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	講師	内容	料金	参加者(人)
10/5～2/24 全8回	オンライン	芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座	アドバイザー／ファシリテーター：小川智紀、若林朋子 ゲスト講師：深田晃司、山元圭太、源由理子、近藤ヒデノリ、片山正夫、大澤寅雄	座学と各受講生の活動の課題解決のための調査研究によって持続可能な創造活動のあり方について学び、芸術文化支援と創造現場とをつなぐ将来の芸術創造活動の担い手の育成を目的とした講座の実施。全回オンライン開催。	無料	20
通年	オンライン／東京芸術劇場、他劇場	アーツアカデミー東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修	ゼミ講師：東京芸術劇場職員、若林朋子、横堀応彦、山口佳子、柏木俊彦、村上理恵、庭山由佳、鈴木浩子、楊淳婷、安藤綾乃、風間勇助 ほか	東京芸術劇場でのOJT型研修を通じた、劇場や芸術団体のプロデューサー・コーディネーターの育成および舞台芸術に関する研修事業の実施。座学はオンラインも駆使し、現場での制作研修と両方を開催。	有償制度	5

### 中止プログラム

開催予定日	会場	プログラム名
通年	東京芸術劇場	東京芸術劇場公開レクチャー
通年	東京芸術劇場	東京芸術劇場シアターコーディネーター養成講座

### 【参加者の声】

#### ●アーツカウンシル東京 芸術文化創造活動の担い手のためのキャパシティビルディング講座

受講生アンケートでは、講座の満足度が回を重ねるごとに高まり、最終回は「とてもよかった」「よかった」の割合が約95%を占めた。

- ・この講座では講師の話だけでなく、通訳の介在により自分自身の言語（手話・文字）で皆さんとお話できるのが嬉しく、講座の時間が毎回楽しみでした。このアーツアカデミーで一番面白かったのは、全国各地の受講仲間との“ミーム”を確認できたことです。オンラインならではの良さが十分に発揮された講座だったと思います。
- ・毎回工夫を凝らした講座と講師陣の幅広い知識による指導から、新たな視野と思考プロセスを学ぶことができました。また、様々な地域から距離を超えて、多分野で活動する人たちと一緒に受講でき、個性豊かな経験と知識を織り交ぜたディスカッションを重ねる時間はとても貴重な機会になりました。
- ・毎回、画面の前でワクワクしながら有意義で刺激的な時間を過ごさせていただきました。ファシリテーターのお二人による場の作り方も非常に勉強になりました。
- ・自分自身もややと問題視しているものが改めてクリアになり、行動に移すことができました。
- ・グループワークはいつも時間が足りなくなるくらい、白熱していました。講師、ファシリテーターの話は新鮮で興味深く、運営の方々を含めたチームワークやスムーズな段取りにも唸られました。様々な受講生からも刺激を受け、合宿に参加していたような濃密な時間が思い起こされます。

## ●東京芸術劇場プロフェッショナル人材養成研修

- ・ゼミでは、文化芸術に国がどう関わって動いているのかについて知ることができました。今まで考えてもいなかったフィールドなので、非常に興味深く、視野を広げるきっかけとなりました。
- ・どの研修も非常に勉強になりましたが、職員のみなさんのお話を聞くことで創作現場への理解が深まり、今後の活動への良い刺激となりました。
- ・新型コロナウイルスの影響下での研修となりましたが、この非常時に芸術の担い手が何を考え、何を選択するのか、その動きを間近で見つめることができました。現場研修では、多くのアーティストやアートマネージャーの方と出会い、多様な考え方に日々刺激を受けながら学びを深めることができました。
- ・2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの事業運営が出来ない中、どのように事業を再開できるかを考えるよいきっかけになったように思います。特に障害者アーツ事業においては、感染リスクが高いとされる障害のある人と安全に事業を行うために、どのような取り組みができるのかを考えるプロセスから携わらせていただいたのは非常に良い学びとなりました。障害のある人との芸術活動については、各都道府県で基本計画を作成している最中で、各公共劇場の事例においても十分であるとは言えません。この実務研修で学んだことを参考にしながら、障害のある人との事業に取り組んでまいりたいと思います。

# 45

## Tokyo Art Research Lab (TARL)

### 【事業概要】

開催期間 令和2（2020）年4月～令和3（2021）年3月  
 会場 アーツカウンシル東京ROOM302 ほか  
 主催 公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
 参加者数 1,021人

### 【事業趣旨（目的）】

アートプロジェクトの現場の課題に対応したスキルの提供や開発、人材の育成を行い、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指す。

### 【開催状況】

プログラム構成：

#### 1. 思考と技術と対話の学校

アートプロジェクトの担い手の育成を目指し、実践的な学びの場「スタディ」、手話をとおしてアートプロジェクトの可能性を広げる「レクチャー」、プロジェクトを行う上で新たなヒントを探る「ディスカッション」の3つのプログラムを展開した。これからの社会に向き合うプロジェクトや思考をともに作りあげていく人材の育成を目指し、アートプロジェクトに必要とされるスキルや視座を獲得すること、参加者が学び合いながら知見を深めることを重視して実施した。

開催期間 4月～3月  
 参加者数 510人

#### (1) 東京プロジェクトスタディ

“東京で何かを「つくる」としたら”という投げかけのもと、3組のナビゲーターそれぞれが参加者とともにチームをつくり、リサーチや実験を繰り返しながらそのプロジェクトの核をつくる試み。開催期間中、複数のプロジェクト“スタディ”（勉強、調査、研究、試作）を展開した。

ナビゲーターは、アーティスト、ディレクターなど、関心や属性の異なる「つくり手」が担当した。さらに、それぞれのスタディには、アーツカウンシル東京のプログラムオフィサーが伴走し学びをサポートした。

開催期間 8月～3月  
 会場 アーツカウンシル東京ROOM302 ほか  
 参加費 一般30,000円、学生20,000円  
 紹介動画視聴数 304回  
 プログラム参加者数 30人

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者（人）
8/23～	スタディ1   共存する身体と思考を巡ってー東京で他者と出会うために	ナビゲーター：加藤甫（写真家）、南雲麻衣（パフォーマー、アーティスト）、和田夏実（インタープリター）、スタディマネージャー：嘉原妙（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	7
9/2～	スタディ2   トーキョー・スカルプチャー・プロジェクトー2027年ミュージスターへの旅	ナビゲーター：佐藤慎也（建築家）、居間theater [東彩織、稲継美保、宮武亜季、山崎朋]、スタディマネージャー：大内伸輔、村上愛佳（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	14
8/22～	スタディ3   Cross Way Tokyoー自己変容を通して、背景が異なる他者と関わる	ナビゲーター：阿部航太（デザイナー／文化人類学専攻）、スタディマネージャー：上地里佳（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	9

#### (2) レクチャー

視覚身体言語である「手話」の基礎を学ぶことを通して、伝える、伝わるの違いを知り、全身をつかって表現することを体験する講座をオンラインで開催した。アートプロジェクトの現場で活用できる手話を身につけることを目指すとともに、アートプロジェクトにおけるコミュニケーションやアクセシビリティに関する課題についても考える企画とした。

開催日程 ①7月1日、②7月8日、③7月15日、④7月22日、⑤7月29日、⑥8月5日、

会場	⑦8月26日、⑧9月9日、⑨9月16日、⑩9月23日、⑪9月30日、⑫10月7日 オンライン配信
ゲスト、登壇者など	河合祐三子（俳優／キャスター／手話・身体表現ワークショップ講師）、瀬戸口裕子（手話通訳士）、嘉原妙（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）
参加費	10,000円
参加者数	10人

第1回～3回 【手話の基礎表現】

自己紹介、日時・曜日、1日のスケジュールなどについて伝える

第4回～6回 【自己表現してみよう】

天候や趣味、交通についての表現を知る

第7回～9回 【コミュニケーションに必要な表現を学ぼう】

手話での質疑応答、ろう者とのコミュニケーションを体験する、CL表現を学ぶ

第10回～12回 【コミュニケーションしよう。実際にやってみよう】

- ・オノマトペのCL表現を学ぶ、ロールシフトを学ぶ
- ・アート／アートプロジェクトや好きなものについてのミニプレゼンテーション
- ・ろう者の参加を想定したプロジェクト運営のポイント、注意点についてなど

(3) ディスカッション

これからの実践を立ち上げるための新たな視座を獲得する対話シリーズ。プログラムオフィサーがナビゲーターとなり、独自の切り口で、表現を介した様々な実践に取り組むゲストを招き、対談の様子をオンラインで配信した。現在の社会を、どうとらえ、どのような手法で向き合っているのか、ゲストの実践を共有し、対話を通して今後の取り組みの課題や可能性を探った。

会場 オンライン配信

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	参加者（人） ※生配信視聴者数
11/10	ディスカッション1   場所をひらくことは何を生み出す？	ゲスト：田中伸弥（社会福祉法人ライフの学校理事長）、富永美保 + 林恭正（tomito architecture）、モデレーター：上地里佳（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	216
11/17	ディスカッション2   私たちの移動の経験はどう変わる？	ゲスト：小田井真美（AIR環境・事業設計／ざっぽろ天神山アートスタジオAIRディレクター）、大橋香奈（映像エスノグラファー／東京経済大学コミュニケーション学部専任講師）、モデレーター：上地里佳（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	108
11/19	ディスカッション3   暮らしに「間」をどうつくる？	ゲスト：大谷悠（まちづくり活動家・博士（環境学）／尾道「迷宮堂」共同創設者・ライブツイヒ「日本の家」共同創設者）、茂原奈保子（awai art center 主宰）、モデレーター：上地里佳（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	146

2. 研究・開発

専門家や実践者との協働により、専門的な知見や課題の整理と発信をするための手法の検討やコンテンツ制作、ネットワークづくり等を行った。

(1) リサーチ・アSEMBル

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	内容	参加者（人）
①9/22 ②12/27 ③2/23	アSEMBル1   オンライン報奏会（ほうそうかい）2020	アサダワタル（文化活動家）、鈴木詩織（一般社団法人Teco 地域復興コーディネーター）、小森はるか（映像作家）、川村庸子（編集者）、伴奏型支援バンド（BSB）、一般社団法人Teco、佐藤李青、岡野恵未子（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）	福島県の県営復興団地で行われているプロジェクト「ラジオ下神白 あのときあのまちの音楽からいまここへ」の報告イベント。音楽をかけながらラジオ風トークを軸に、記録映像の上映、またBSBによる演奏、住民との中継コーナーなどを実施した。	①83 ②120 ③126 ※配信視聴者数

開催日	プログラム名	ゲスト、登壇者など	内容	参加者（人）
9月～3月	アセンブル2   つどつど会	蟻川小百合（みずつち市民サポーターズ事務局）、大政愛（社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館 学芸員）、岡田千絵（公益財団法人墨田区文化振興財団 地域文化支援課 / BLOOMING EAST コーディネーター）、月田尚子（NPO法人 BEPPU PROJECT）、三富章恵（NPO法人アーツセンターあさた 事務局長）、大内伸輔、佐藤李青、岡野恵未子（アーツカウンシル東京 プログラムオフィサー）、ゲスト：山出淳也（NPO法人 BEPPU PROJECT 代表理事 / アーティスト）	Tokyo Art Research Labのプログラムへの過去参加者を中心とした、全国各地で文化事業に関わるメンバーとともに、各地域の文化事業が置かれた状況や取組、課題や知見を共有する場。月1回、オンラインで集う場をとおして、地域間でのアートマネージャーのネットワーク構築を試み、これからの中間支援事業に必要とされる視点や仕組みづくりを検証した。	5
10月～12月	アセンブル3   アート・アーカイブ・オンライン	企画運営：NPO法人 アート＆ソサイエティ研究センター	オンライン対応の必要性が高まった現在において、アートプロジェクトのアーカイブにおける課題や現状についてのアンケート調査を実施。また、アーカイブのノウハウや活用方法をまとめた映像コンテンツの開発にも取り組んだ。	294 ※動画視聴回数
1月～3月	アセンブル4   伝える・わかるを考える Interpret ○▲□	和田夏実（インタープリター）	東京プロジェクトスタディ1「共存する身体と思考を巡ってー東京で他者と出会うために」のオフライン／オンライン実施における手話通訳環境設定の取り組みを通して、通訳環境の新たな手法開発を試みた。 さらに、手話通訳者や当事者へのヒアリング調査を実施し、アートプロジェクトへのアクセシビリティや情報保障の在り方の可能性について考察を深め、今後のアートプロジェクトの運営にとって必要な視点等の抽出を試みた。	—

## (2) ジムジム会

東京都内各地でアートプロジェクトを実施する「東京アートポイント計画」に参加する9つのプロジェクト事務局とともに、プロジェクト運営事務局に必要なテーマを学び合うネットワーキング型の勉強会「ジムジム会（事務局による事務局のためのジムのよう勉強会）」をオンラインで実施した。また、5月～9月のプログラム実施後、プロジェクト事務局が自主的にホスト役をつとめる「続・ジムジム会」も行った。

開催日	プログラム名	参加者（人）
5/13	ジムジム会   #01 集えない状況でどう集う？ お互いの状況を共有しよう	30
6/17	ジムジム会   #02 これからの活動のありかたを考える	21
7/20	ジムジム会   #03 これからの活動のありかたを考える その2	25
8/19	ジムジム会   #04 三十人寄れば文殊の知恵	23
9/23	ジムジム会   #05 お互いに聞いてみる！	18
11/19	続・ジムジム会   #01 ジムキョクの当たり前を解きほぐす	25
1/29	続・ジムジム会   #02 聞いて！アートプロジェクトに関わる人！	19
3/18	続・ジムジム会   #03 ジムジムボディビル大会2021	16

## 3. STUDIO302の開設

これまで「Tokyo Art Research Lab」や「東京アートポイント計画」の拠点として運営してきたレクチャー＋アーカイブルーム「ROOM302」（3331 Arts Chiyoda 3階）を改装し、オンラインでの収録・配信ができるスタジオを開設した。コロナ状況下のアートプロジェクトにおける新しい形の活動拠点として、各プログラムで活用を行った。

## 4. アーカイブセンター資料整理

地域・社会に関わる各地のアートプロジェクトの収蔵・寄贈資料を整理した。

## 【参加者の声】

### ●レクチャー

- ・手話というのが特別なことではなく、自分の日常の先、伝えたいという想いがあれば誰でも試みることができるものなのだと感じました。なので、新たな取り組みというよりは、気負わずにいろいろな方とコミュニケーションしていけたらいいなと感じています。
- ・言葉とコミュニケーションについて考えるようになりました。言葉や身体を使う表現（アートやパフォーマンス）についても意識は広がっていて、また見方が変わってきたように感じます。共にアートや文化芸術に携わる方々とも、長期に渡って同じ目標をもつメンバーとして関わられたことは資産です。どこかでまた皆さんと会えたらいいなと思います。

●ディスカッション

- ・建築を勉強しておりますが、やはり建築家とそうでない人の対話というのは勉強になりました。「開く」とか「余白」というのは建築学生が課題でやりがちな提案ですが、その解をみせていただいたような気になりました。ただつくる、ではなく、ひとつひとつに意味がありひとつひとつの可能性を残しているようなお話とても勉強になりました。
- ・心に残る言葉がたくさん出てきました。コロナにより移動が制限され、自由や可能性が制限されたように思っていますが、「もどかしさ」を何かに繋げようとする、移動そのものについて考えてみる、こと、「定点観測」と思ってみること、などなどこれからの世の中を生きる上で大切なヒントをもらったような気持ちです。

●アSEMBL1 | オンライン報奏会（ほうそうかい）2020

- ・素晴らしい試み、寄り添い方も発信の仕方も良い！

●アSEMBL2 | つどつど会

- ・組織を超えて同じような活動をされている方とお話すること、とても貴重な時間でした。
- ・組織運営、スタッフのモチベーション維持・育成、仕事のボリューム、アーカイブの方法などは規模は違えど同じ課題を抱えていたので、とても共感できました。

**【発行物】**

『事務局による事務局のためのジムのような勉強会 ジムジム会のひらきかた』

『外国ルーツの若者と歩いた10年』

『谷中流アートマネジメント —非合理で過剰—』

『TERATOTERA 2010→2020 ボランティアが創ったアートプロジェクト』

『震災後、地図を片手に歩きはじめる』

# 46

## アーツカウンシル・フォーラム

- ① 『#THE FUTURE IS ART 明日を拓くマネジメント』  
 ② 『#THE FUTURE IS ART 明日を拓くパートナーシップの力』

### 【事業概要】

開催日時	①令和2（2020）年12月9日（水）17：00～18：30 ②令和3（2021）年3月9日（火）18：00～20：00
会場	動画配信プラットフォーム上によるオンライン配信（ライブ配信） （※配信会場として、3331 Arts Chiyoda内 Studio 302を使用）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
動画再生回数	①6,561回（ライブ配信視聴者数 201人） ②19,702回（ライブ配信視聴者数 193人）
参加料	無料（事前申込制）
言語	②についてはライブ配信時日英逐次通訳付 また、①、②ともにアーカイブ動画は英語字幕付

### 【事業趣旨（目的）】

海外の芸術文化団体や文化施設とのネットワークを構築し、様々な共同プログラムの開発や国際都市東京の芸術活動の発信力を高めていく。

### 【開催状況】

芸術文化分野において今日的かつ重要なテーマを取り上げるフォーラムをオンラインで2回開催。様々な分野の有識者と、国際都市としての芸術文化施策のあり方をめぐる議論の場の創出を目指して実施している。ライブ配信後、英語字幕を付してアーカイブで公開中。

#### ① 『#THE FUTURE IS ART 明日を拓くマネジメント』

「芸術文化に携わるプロデューサー」に焦点を当てた。「賃金」「人」「場所」「時間」という課題をマネージし、アイデアを目に見える形として実現するプロデューサーとして、激変する社会状況の中で、最前線で活躍する彼ら・彼女らの視点から新型コロナウイルス感染拡大の影響で浮き彫りになった根源的な課題と、それ以降のあり方、新しい課題への取り組みや展望などにつき議論を交わした。

スピーカー（順不同・敬称略、肩書は開催時のもの）

- ・宇川直宏（現在美術家／ライブストリーミングスタジオ兼チャンネル「DOMMUNE」主宰）  
※リモート（Zoom）参加
- ・勝山康晴（コンドルズ プロデューサー兼 ROCKSTAR 有限会社代表取締役）
- ・須藤美沙（ライブハウス四谷天窓 制作・ブッキング・エンジニア）
- ・太下義之（文化政策研究者）

構成：

- 第1部 プレゼンテーション
- 第2部 パネルディスカッション＋質疑  
4人のスピーカーによる討論

## ②『#THE FUTURE IS ART 明日を拓くパートナーシップの力』

「芸術文化におけるパートナーシップ」に焦点を当てた。これまでも連携・戦略的パートナーシップを推し進めるための模索が続けられてきたが、コロナ禍においては、その連携強化の努力が事業継続や再開において強靱性の基盤となっている。激変する社会状況の中で、芸術文化においても必然となった連携・連帯について、浮き彫りになった課題や意義、繋がっていくための普遍的なノウハウ、新しい取り組みや展望などにつき議論を交わした。

スピーカー（順不同・敬称略、肩書は開催時のもの）

- ・ Jason Bruges（マルチ・ディシプリナリー（分野横断）アーティスト&デザイナー、  
Jason Bruges Studio代表）  
※イギリス・ロンドンより、リモート（Zoom）参加
- ・ 丸岡ひろみ（PARC-国際舞台芸術交流センター 理事長、  
TPAM-国際舞台芸術ミーティング in 横浜 ディレクター）
- ・ 吉本光宏（株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事、芸術文化プロジェクト室長）

構成：

- 第1部 プレゼンテーション
- 第2部 パネルディスカッション+質疑  
3人のスピーカーによる討論

## 【参加者の声】

オンライン視聴者アンケート集計結果（①12月9日実施時）：回答数27件

- ・ イベント満足度について  
→ 「期待に沿うものであった」と回答した人が71%であった。
- ・ 参加して得た学びや気づきの有無について  
→ 「新たな学びや気づきがあった」と回答とした人が71%であった。

## 47

## アート&amp;メディア・ダイアログ

## 【事業概要】

開催期間	令和3（2021）年3月6日（土）、7日（日）
主催	公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
会場	オンライン
料金	無料（要事前申込）
通訳	同時通訳（日本語／英語）
視聴数	第1回：70人、第2回：56人

第1回「アジア型カルチュラル・レジスタンス」3月6日（土）18:00~21:00

ゲストスピーカー：エリック・シウ、アーティスト・スリヤウォンクン

ゲスト：清水知子

第2回「地球規模のエコロジーから再考する人間社会」3月7日（日）18:00~21:00

ゲストスピーカー：マーティン・ギナール＝テリン、ピーター・ステフェンセン

ゲスト：長谷川愛、川崎和也、砂山太一

企画・モデレーター：山峰潤也、塚田有那

企画協力：清恵子

グラフィックレコーダー：清水淳子

## 【事業趣旨（目的）】

昨年度の「ポスト・オープンデータ時代のカルチュラル・レジスタンス」に続く形で、テクノロジーの進化と社会の変化に呼応し、デジタル技術を用いて現代社会の課題に向き合うアーティストやキュレーター、編集者をゲストスピーカーに迎えて話を聞くとともに、ダイアログには日本のゲストも加わり、私たちひとりひとりがこれからの社会をつくる自覚的な実践者となる方法を探った。また、その議論をグラフィックレコーダーで視覚化した。

## 【開催状況】

開催日	会場	プログラム名	登壇者等	内容	料金	視聴数（人）
3/6、7	オンライン	アート&メディア・ダイアログ	ゲストスピーカー：エリック・シウ、アーティスト・スリヤウォンクン、マーティン・ギナール＝テリン、ピーター・ステフェンセン ゲスト：清水知子、長谷川愛、川崎和也、砂山太一 企画・モデレーター：山峰潤也、塚田有那 企画協力：清恵子 グラフィックレコーダー：清水淳子	第1回、第2回ともに前半部分はゲストスピーカーのプレゼンテーションで、海外の刺激的な事例を知る貴重な機会となり、後半のダイアログでは日本からのゲストも加わり、プレゼンテーションを受けてさまざまな対話の場が生まれた。	無料	第1回：70 第2回：56

## 【参加者の声】

- ・香港、タイを中心に民主化運動のただ中の方々の口から活動を紹介していただき、質疑もあり良かった。
- ・グラフィックレコーディングによる議論の逐次視覚化、モデレーターの適切な進行が良かった。
- ・多様な立場やエリアの人たちの考えに触れることや、状況を知ることができた。
- ・現在進行中の現場となっている香港とタイ、そして台湾の当事者たちが相談や議論で連携する場に居合わせる体験はどんな報道にも勝る体験だった。

## 48

## 広報活動

## 【概要・事業趣旨（目的）】

芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しているアーツカウンシル東京の組織の取組や役割を発信することにより、認知度やプレゼンスの向上を図っている。

公式ウェブサイト、SNS、メールニュース等独自媒体でコンスタントに情報発信するとともに、プレスリリースの配信等メディアへの働きかけによるパブリシティの獲得や、効果的なターゲットに向けたSNS広告を展開。

また、プログラムのアーカイブ化（映像制作）にも取り組んだ。

## 1. 公式ウェブサイト（日本語・英語対応）

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/ja/>

<https://www.artscouncil-tokyo.jp/en/>

新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた令和2（2020）年度は、トップページに新型コロナウイルス感染症によるイベント等の中止一覧を掲載し、正確で迅速な情報を発信することができた。また、コロナ禍に関連したコラム等の読み物を充実させ、ユーザーニーズに対応したタイムリーな情報を発信できた。コロナ禍での助成ニーズの高まりもあり、ウェブサイトの助成ページへのアクセスが増加し、アーツカウンシル東京の認知向上の傾向がうかがえた。

【ユニークユーザー】187,101

【ページビュー】536,022

※年間集計

## 2. SNS（Facebook、Twitter、YouTube）

アーツカウンシル東京の公式FacebookページおよびTwitterから、様々な情報を写真も交えて随時発信した。コラムや映像等に誘導する発信も効果的に実施。インタビュームービー公開時には各SNS（主にTwitter、Facebook）で告知展開し、多くの再生回数とYouTubeのチャンネル登録者を獲得することができた。

【Facebook（フォロワー）】14,844

【Twitter（フォロワー）】9,850

【YouTube（登録者）】1,849

※令和3（2021）年3月31日現在

## 3. メールニュース

アーツカウンシル東京が主催・共催するイベントや公募等の最新情報やニュースを定期的にお知らせするため、月2回メールニュース（日英バイリンガル）を配信した。

【登録者数】2,682人

※令和3（2021）年3月31日現在

## 4. アーカイブ用動画撮影

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの事業が中止や変更を余儀なくされた中で、当初の撮影予定が変更となり、各ジャンルを代表する5人のアーティストによる、コロナ禍における芸術文化の意義を伝えるインタビュームービーを制作した。また、事業映像では、コロナ禍において感染防止対策を講じて開催されたプレミアムコンサートで、コロナ禍で変化した芸術文化の状況を伝えることができた。東京都交響楽団のコンサートマスターや芸術主幹、お客様のインタビューにより、コロナ禍だからこそその芸術文化の必要性が伝わる映像となった。

（1）インタビュームービー：2本+未公開クリップ動画14本

出演者：野村萬斎（狂言師）、

いとうせいこう（小説家・ラッパー・クリエイター）、

近藤良平（振付家・ダンサー）、

のん（俳優・創作あーちすと）、

日比野克彦（アーティスト）

再生回数：ロングバージョン4,043回／ショートバージョン77,485回

（2）事業アーカイブ「プレミアムコンサート～未来へのハーモニー～武蔵野公演」：1事業2本

演奏：東京都交響楽団

再生回数：ロング・バージョン 228回／ショート・バージョン102回

※令和3（2021）年3月31日現在

### 5. PR 活動

メディア対応の他、各事業で制作される広報物についての校正を行い、効果的な露出を狙うための情報管理を行った。「年間ラインアップ発表」等、各事業／組織全体合わせて、計61本のプレスリリースを発信した。また、東京都や東京都歴史文化財団のメディアと連携し、効果的かつ幅広い情報発信を行った。

### 6. 出広告実績

インタビュームービー公開のタイミングでFacebook、Twitter、YouTube、InstagramでSNS広告を展開した。本編とは異なる、5人のアーティストそれぞれの未公開映像を活用し、各ジャンルに特化した、的確なターゲット層にリーチすることができた。SNSからの誘導により、ロング・ショート2バージョン合計8万回以上の再生回数を記録した。

## 新型コロナウイルス感染症をめぐる動き

### 令和2（2020）年

- 1月30日 WHO「国際的な緊急事態」を宣言
- 2月16日 第1回新型コロナウイルス感染症対策専門家会議開催
- 2月28日 都：2/29～3/15の間の文化施設の休館、文化事業の中止発表<sup>※</sup>
- 3月3日 都：3/6～3/15の間の文化事業を休止、中止または延期発表<sup>※</sup>
- 3月13日 都：3/13～3/31の間の文化施設の休館、文化事業の中止発表<sup>※</sup>
- 3月24日 東京2020大会の1年程度の延期が決定
- 3月27日 都：4/12までの間、文化事業を休止または中止発表<sup>※</sup>
- 4月7日 東京・埼玉・千葉・神奈川・大阪・兵庫・福岡の7都府県に緊急事態宣言
- 4月16日 緊急事態宣言の対象を全国に拡大
- 5月1日 都：当面の間、都立文化施設休館の継続、文化事業の休止、中止または延期発表<sup>※</sup>
- 5月4日 緊急事態宣言を5/31まで延長
- 5月25日 緊急事態宣言 全国で解除
- 5月27日 都：6/1以降、都立文化施設（美術館・博物館）の再開発表<sup>※</sup>
- 12月24日 都：年末年始における文化施設の休館、文化事業の休止発表<sup>※</sup>

### 令和3（2021）年

- 1月7日 東京・埼玉・千葉・神奈川の1都3県に緊急事態宣言
- 1月8日 都：緊急事態宣言を踏まえた都立文化施設の一部展覧会休止発表<sup>※</sup>
- 1月13日 大阪・京都など7府県にも緊急事態宣言。11都府県に拡大
- 2月2日 栃木を除いた10都府県で緊急事態宣言を3/7まで延長
- 2月28日 1都3県を除く府県の緊急事態宣言解除
- 3月21日 1都3県の緊急事態宣言解除

※は東京都の報道発表資料より

※オンラインによる視聴数は、2020年4月1日から2021年3月31日のものです。

編集／発行…公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
制作／印刷…株式会社丸井工文社

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北4-1-28 九段ファーストプレイス8階  
TEL：03-6256-8430  
FAX：03-6256-8827  
E-MAIL：info@artscouncil-tokyo.jp  
URL：www.artscouncil-tokyo.jp



